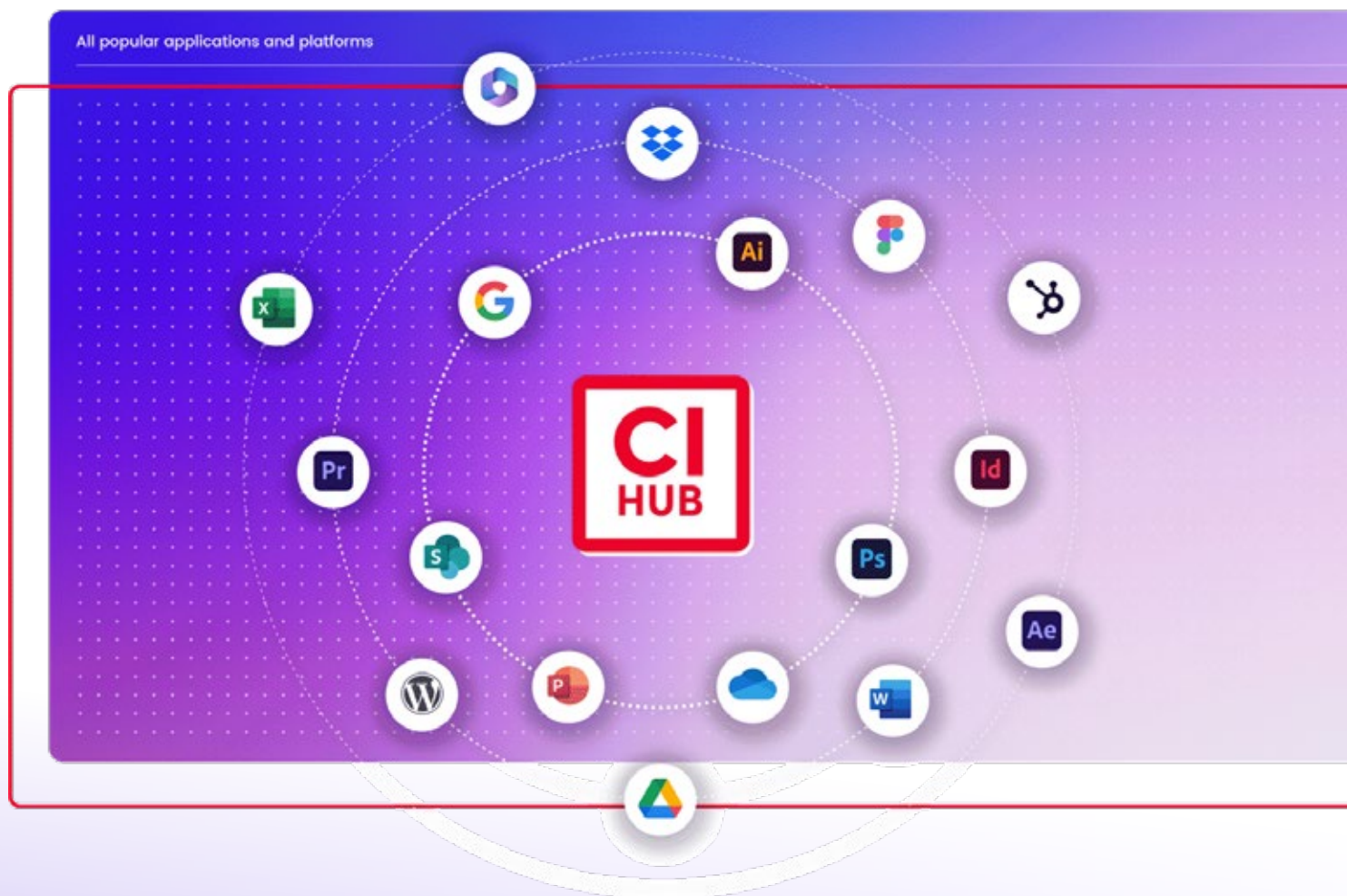




# CI HUB コネクタ

ユーザーガイド



# 目 次

1. はじめに .....	4
2. サービスの接続 .....	10
3. ナビゲーションと検索.....	14
4. フィルタと結果.....	18
5. ExCoPについて .....	24
6. アセットの扱い方.....	31
7. Adobe Creative Cloudの設定 .....	39
8. Adobe Expressの設定.....	43
9. FigmaとSketchの設定 .....	48
10. WordPressの設定 .....	55
11. SharePointの設定 .....	67
12. CI HUB コネクタのワークシート比較 .....	71
13. CI HUB コネクタ Pro Microsoft PowerPoint.....	74
14. CI HUB ドライブ .....	84

# ご購入前・体験デモ版のお問い合わせ

Webフォームよりお問い合わせください。

<https://www.swtoo.com/ci-hub/contact/>

お問い合わせの前に[サポートページ](#)に解決方法が掲載されていないかをご確認ください。

## ご購入後のお問い合わせ

テクニカルサポートセンターの窓口は、ソフトウェア・トゥーから販売されている製品をご購入いただいた方のみご利用いただけます。

お問い合わせの前に[サポートページ](#)に解決方法が掲載されていないかをご確認ください。

ご購入後のお問い合わせは以下のフォームよりお客様情報およびお問い合わせ内容をご入力の上、送信ボタンをクリックしてください。

ご購入後のお問い合わせはこちら

[https://www.swtoo.com/special/cihub\\_support/](https://www.swtoo.com/special/cihub_support/)

サポート対応時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00（土日祝日休み）

CI HUB コネクタのサポートメニューの「サポート」からメーカーへ直接お問い合わせいただくことも可能です。（英語でのお問い合わせとなります。）



# チャプター 1

## はじめに

# はじめに

## CI HUB コネクタとは？

CI HUB コネクタは、同名の会社によるプラグインです。

好みのデジタルアセット管理システム (DAM) やDropbox、Google Drive、OneDriveなどのクラウドサービスとのシームレスな統合を提供します。

現在、Adobe Creative Cloud、Microsoft、Google Workspace Marketplace、WordPress、Figma、Sketch、Asana、Workfrontでダウンロード可能です。

このプラグインは、Adobe InDesignやMicrosoft Wordのようなコンテンツ作成ツールを毎日使っているアセットリポジトリに接続します。アセットデータベースとの同期を維持し、すべてのブランドアセットの使用において一貫性を保ちながら、チームがクリエイティブプロセスを合理化するのに役立ちます。

CI HUB コネクタは、多くのコンテンツをより速く、より正確に制作することができます。

このプラグインは、費用をかけずに強力なアセット管理システムを構築したい企業に最適です。CI HUB コネクタを使用すると、アセットを接続、ナビゲート、検索、フィルタリングすることができ、リビジョンを管理することで、アセットの履歴を常に把握することができます。

## CI HUB コネクタは、どこで入手できますか？

適切なストアでプラグインを見つけ、そこからインストールすることができます。

Adobe Creative Cloudでは、**Creative Cloud デスクトップアプリ**でCI HUB コネクタを入手できます。

1. 「Stock とマーケットプレイス」 をクリック
2. 「プラグイン」 を選択
3. 「CI HUB Connector」 を検索

マーケットプレイスには2つのプラグインがあります。1つはすべてのアプリケーションに統合されたプラグイン、もう1つはPhotoshop専用で設計されたプラグインで、Appleシリコン (Mチップ) 上でネイティブに動作します。

## CI HUB コネクタ アカデミー

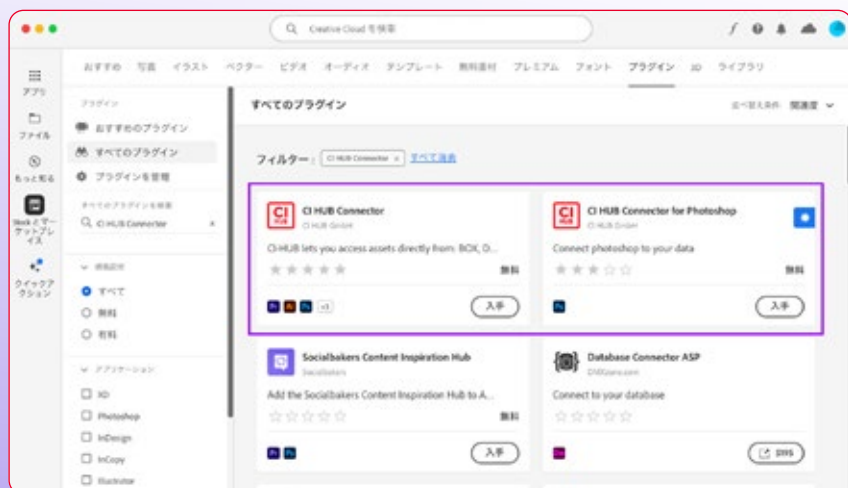
アカデミー



CI HUB コネクタは、多くの教育ビデオを提供しています。

WebサイトとYouTubeチャンネルには、様々なアプリケーションの目的に合ったチュートリアルとウェビナーがあります。

新しく追加されたアカデミーでは、より具体的な詳細を確認することができます。このドキュメントではQRコードで参照します。





Webサイト (<https://ci-hub.com>) からプラグインを検索しインストールすることもできます。

**Microsoft Office 365**のコネクタをインストールする場合は、以下Webサイトにアクセスし「CI HUB Connector」で検索します。

<https://appsource.microsoft.com/ja/>



プラグインをダウンロードするには、コネクタが必要なアプリを選択します。その後、Webサイトが対応するプログラムを開くように要求します。このリクエストに同意すると、プラグインがインストールされます。例えば、MS Wordであれば、挿入メニュー / アドインを取得を選択します。 **アドインを取得**

**Google Workspace Marketplace**で、CI HUB コネクタを入手することもできます。

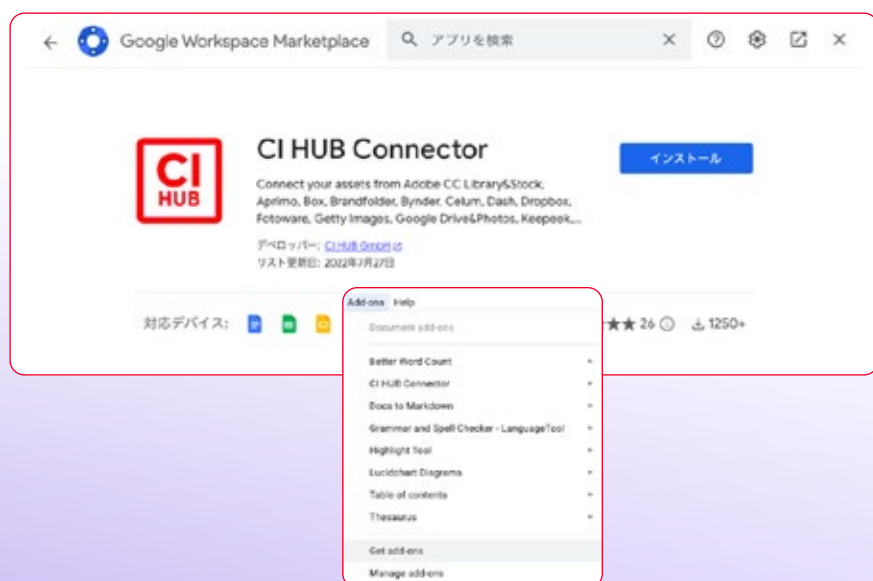
Google Sheets、Docs、Slides用のコネクタがあります。

インストールはとても簡単です。

新しいドキュメントを作成し、拡張機能メニュー / アドオン / アドオンを取得を選択しMarketplaceを開きます。

CI HUB Connectorを検索し、自分のユーザー、またはドメインの管理者であればドメインの全ユーザーにインストールします。

これで、拡張機能メニュー / CI HUB Connector / Openで起動することができます。



## Microsoft Office 365

Microsoft Office 365の場合は、2つのCI HUB コネクタがあることを知っておくことが重要です。

Excel、PowerPoint、Word用ともう1つはOutlook用です。


また、WindowsのみPowerPoint用のProプラグインもあります。



MS Office 365 では、2つのコネクタが表示されます。1つは Outlook 用、もう1つは他の Microsoft アプリ用です。



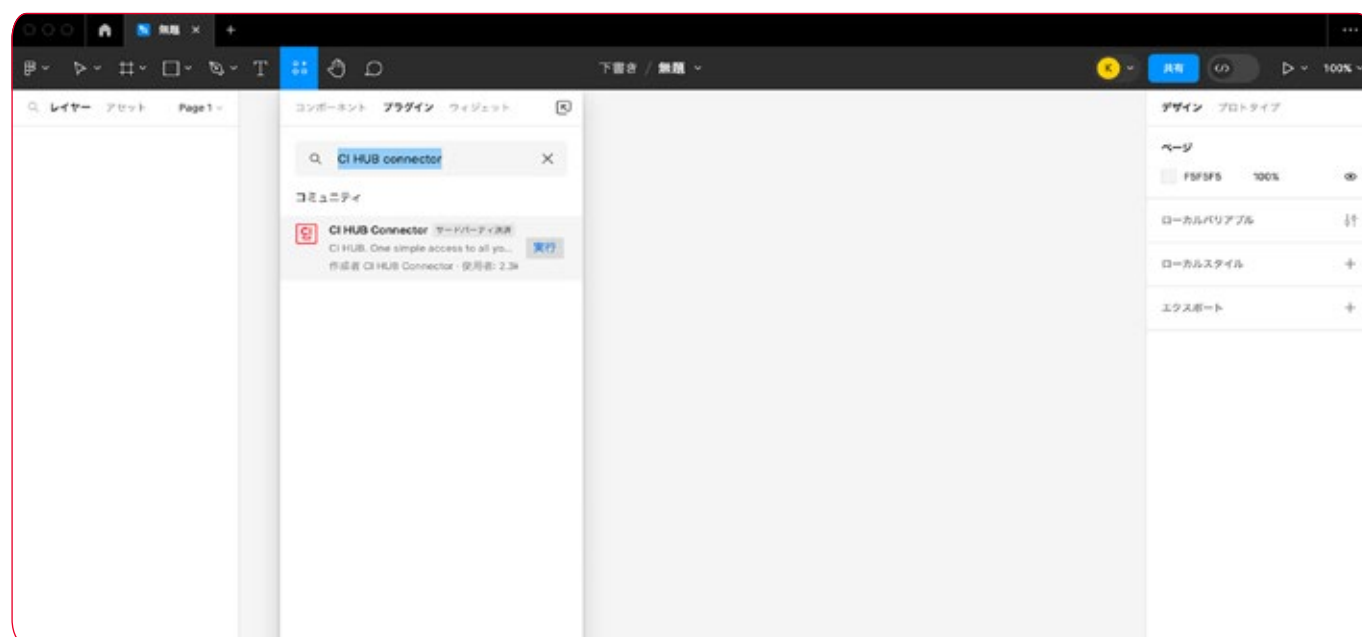
**Figma**でも、CI HUB コネクタは問題なく使用できます。

まずアカウントにログインし、左上のリソース  をクリックします。

そこで、「CI HUB Connector」と検索します。プラグインが見つかったら、CI HUB Connectorをクリックしログインします。詳細は、9ページの「**CI HUB コネクタにログインする**」をご覧ください。



「CI HUB Connector」と検索します。

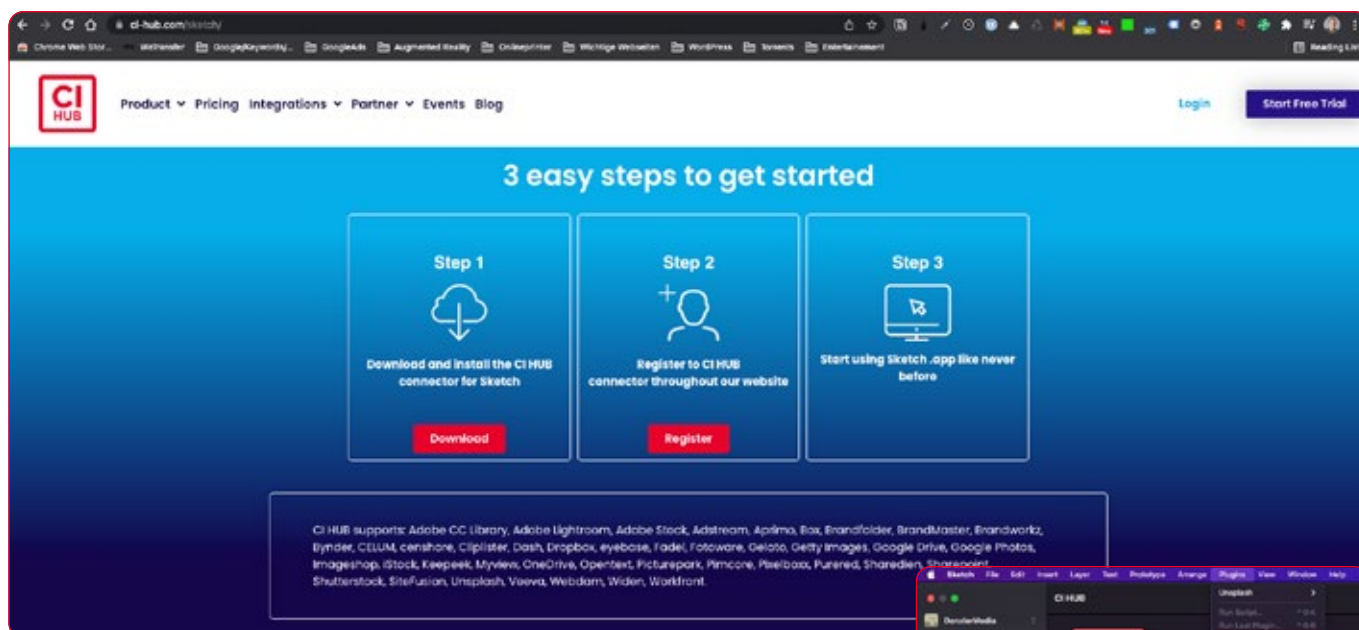


インストール後、プラグインの中にCI HUB コネクタが追加されます。

もうひとつの人気デザインツールは**Sketch**です。

ここでもCI HUB コネクタを入手することができ、生産性を向上させることができます。

CI HUB コネクタをインストールするには、まずCI HUBのWebサイト ([ci-hub.com/sketch](https://ci-hub.com/sketch)) からプラグインをダウンロードします。



次にSketchアプリを起動します。メニューバーからPlugins / Manage plugins...を選択します。

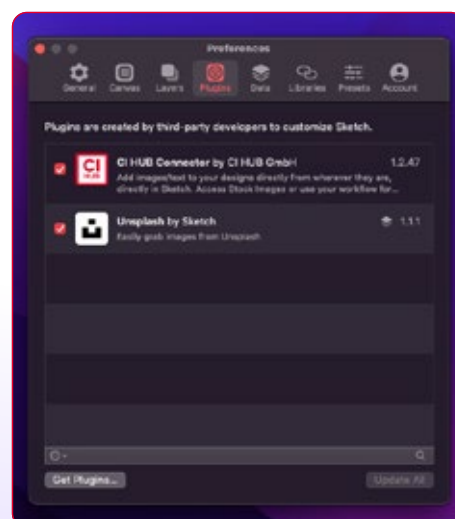
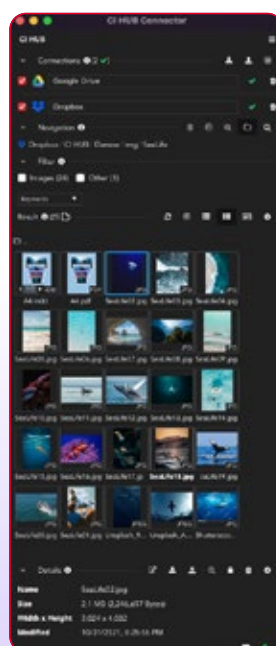
プラグインのZIPアーカイブを解凍し、プラグインウィンドウにドラッグします。これでプラグインがインストールされ、有効になります。

ZIPファイルをダブルクリックすることもできます。

これで、メニューバーのPlugins / CI HUB Connectorでプラグインを見つけることができます。



メニューバーで、プラグインを管理できます。



Preference / Plugins でプラグインを管理できます。



# CI HUB コネクタにログインする

プラグインのダウンロードとインストールが完了したら、プラグインを起動します。CI HUB コネクタの起動画面が表示され、登録またはログインを選択することができます。

## 初回ログイン

既に登録済みの場合は、「ログイン」ボタンをクリックしCI HUBのWebサイトへ移動します。ここでユーザー名とパスワードを入力してログインします。「サインイン」ボタンをクリック後、Webサイトでログイン成功のページが表示されます。ウィンドウを閉じてプラグインに戻ります。


## CI HUB コネクタを使い始める

ログインに成功すると、プラグインのユーザーインターフェイスが表示されます。現時点では、まだ接続が設定されていない為、比較的基本的なものに見えます。

利用可能なオプションを見てみましょう。

### 1 接続

このエリアには、設定したすべての接続が表示されます。

 アイコンを使って接続を追加できます。接続の設定方法は後ほど説明します。

### 2 フィルタ

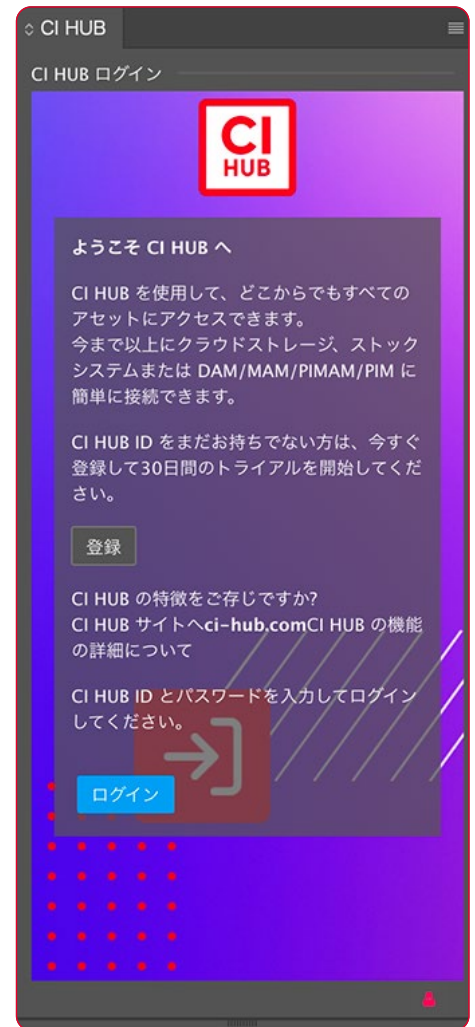
CI HUB コネクタでは、画像、テキスト、その他のアイテムを検索することができます。

### 3 オプションメニュー

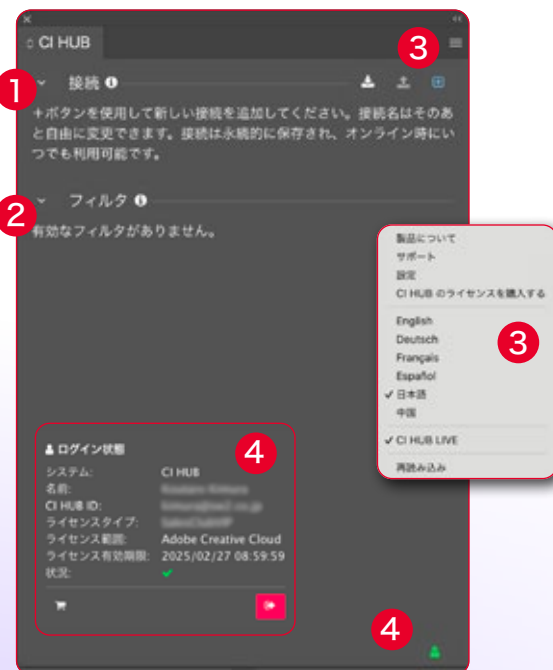
InDesignのオプションパネルを呼び出すには、右上のハンバーгамメニューを使用します。CI HUB コネクタの場合、利用可能な言語の変更と、プラグインの再起動、さらに詳しい情報を得るための機能です。

### 4 ログイン状態

緑色のユーザーアイコンをクリックすると、ログイン状態の確認やログアウト、アカウント情報を確認することができます。



プラグインの登録とログイン画面



ログインすると CI HUB コネクタのページに移動します。

チャプター 2

# サービスの接続

# サービスの接続

CI HUB コネクタのセットアップとログインが完了しましたら、サービスのセットアップを開始します。

CI HUB コネクタは、同時に設定できる様々なアセットデータベースとクラウドストレージを提供します。

CI HUB コネクタは、現在4種類のデータベースへの接続を提供しており、定期的に新しいデータベースが追加されます。



## DAMとの接続

CI HUB コネクタを使用すると、様々なデジタルアセット管理ツールに接続することができます。

Adstream、Aprimo、Brandfolder、Celum、Widen、censhareへの接続が可能です。

詳しいリストは、CI HUB コネクタのWebサイトをご覧ください。

## PIMとの接続

商品情報管理システムをご使用の場合は、CI HUB コネクタ経由で以下のプロバイダーに接続できます。

Pimcore、myView xom

## クラウドとの接続

CI HUB コネクタは、接続されている全てのクラウドストレージプロバイダーへのアクセスを1つのパネルに統合します。

現在、以下のサービスにアクセスできます。

Box、Dropbox、Google Drive、OneDrive、SharePoint、Google Photos

## ストックとの接続

ストックイメージプロバイダーをご使用の場合は、CI HUB コネクタでそれらの多くを接続することもできます。

現在、以下のサービスに接続できます。


Adobe Stock、Shutterstock、Getty Images、iStock、Unsplash

## サービスとの接続

CI HUB コネクタは、FigmaやSketch以外にAdobe Creative Cloud、Microsoft Office、Google Workspaceアプリケーションから直接、最高のサービスシステムに接続するために構築されています。

現時点では、Fadel Rights Cloudに接続できます。

## 接続の開始

各サービスへの接続の手順は同じです。ここでは、Google Driveへの接続で説明します。まず、 アイコンをクリックすると、利用可能な接続のリストが表示されます。まだサービスを追加していない場合、「+」が青く点滅します。<sup>①</sup>

特定のサービスがある場合は、検索することができます。<sup>②</sup>

「Favorite」や「DAM」でフィルタリングすることもできます。<sup>③</sup>



「+」をクリックしてGoogleドライブを選択すると、「Googleでログイン」ページに移動します。<sup>④</sup>


次にGoogleアカウント情報を入力し、CI HUB コネクタプラグインがあなたのGoogleアカウントにアクセスすることを許可します。


その後、インテグレーションはCI HUB コネクタに追加されます。

全く同じ手順で、他のものを追加することもできます。例えばDropboxやUnsplashのアカウントです。

サービスの情報は「+」の横<sup>⑤</sup>に表示され、星印を使ってお気に入りにすることができます。<sup>⑥</sup>


CI HUB コネクタパネルでは、接続トグルの下に新しく追加されたサービスが表示されます。<sup>⑦</sup>

名前フィールドの後ろにある緑色のチェックマークは、接続が正常に確立されたことを示します。接続が不要になった場合は、ゴミ箱  のアイコンをクリックし削除してください。

白の矢印  アイコンは、表示されている情報を折りたたむことができます。これでスペースが節約できます。これは、特に多くの接続を設定した場合に便利です。

## 接続先の保存と読み込み

すべてのローカル接続を設定したら、それらを保存して簡単に呼び出すことができます。

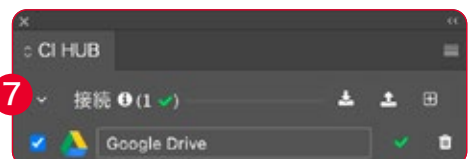
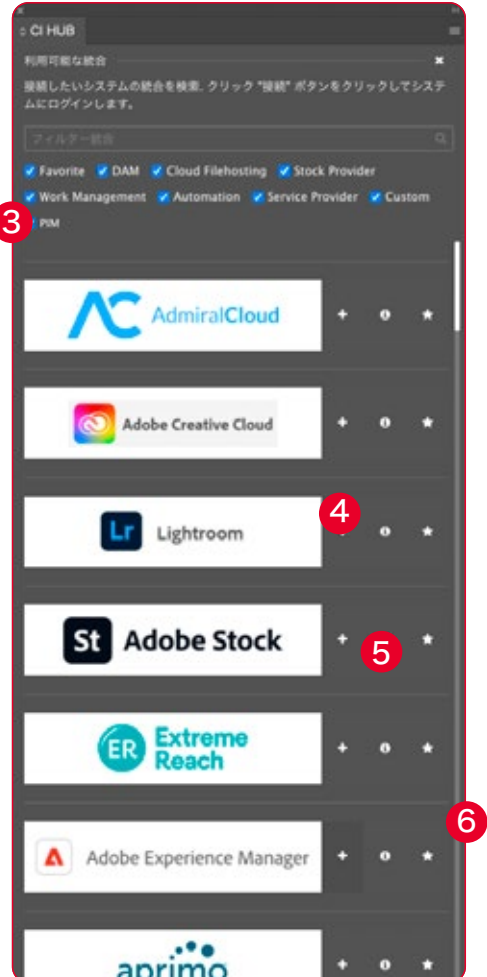
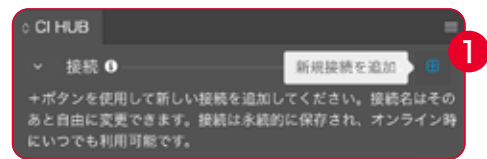
これを行うには、接続メニューの「接続を保存」アイコン  をクリックします。

ダイアログボックスが開き、パスワードを選択できます。

パスワードは、6文字以上でなければなりません。希望のパスワードを入力し、「保存」をクリックします。<sup>⑧</sup>

CI HUB コネクタに  
ローカル接続を保存  
することができます。


まだサービスを追加していない場合は「+」が青く点滅します。



CI HUB コネクタパネルに新しい接続が表示されます。



ローカル接続を再度呼び出したい場合は、「プロフィールを読み込む」

 アイコンをクリックします。 **9**

その後、選択したパスワードを入力して接続を復元します。 **10**

これは何に役立つのでしょうか？

Adobe InDesignで、すべての連携を接続しMicrosoft PowerPointに切り替える必要があるとします。

接続を保存しておけば、PowerPointや他のOfficeアプリケーションでクリックするだけで接続を追加できます。



▲  
万が一紛失した場合は再び復元します。



パスワードを入力すると、保存されているすべての接続が表示されます。



## チャプター 3

# ナビゲーションと検索

# CI HUB コネクタ ナビゲーション

サービスの接続について学んだところで、CI HUB コネクタのナビゲーションを見てみましょう。「接続」トグルの下に、接続されているアセットデータベースがあります。青いチェックボックスを使用して、接続を有効または無効にすることができます。多くの異なるデータベースが接続されている場合、仕事に本当に必要なものだけをアクティブにすることは理にかなっているかもしれません。

CI HUB コネクタのナビゲーションは非常にシンプルです。

ナビゲーションのトグルを開くと、最初の接続が表示されます。① クリックするとその内容にアクセスできます。名前の上にカーソルを置くと、すべてのアクティブなサービスが表示され、それらを切り替えることができます。

CI HUB コネクタは、いつでもフォルダ階層のどこにいるかを確認することができます。接続されているデータベースと同じ行にパスが表示されます。これがフォルダナビゲーションです。

プラグインは、個々のフォルダレベルをフォワードスラッシュ (/) で区切ります。このようにナビゲーション構造を表示することをパンくずと呼びます。

 Google Drive  / My Drive / CI HUB / リンク


特定のフォルダにカーソルを合わせるとCI HUB コネクタは、その中の全てのフォルダを表示し、必要なフォルダを素早く選択して開くことができます。


## ナビゲーションボタンの説明


ナビゲーショントグルの右側にナビゲーションボタンがあります。

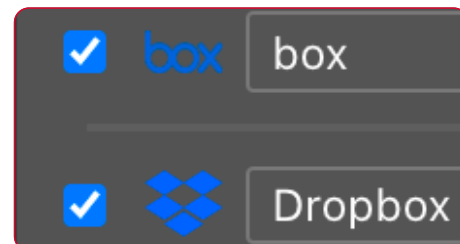
これらは、このエリアで使用可能な機能を制御します。

CI HUB コネクタには以下のオプションがあります。

 **フォルダを削除**：現在入っているフォルダを削除します。フォルダが空の場合のみ機能します。


 **フォルダを追加**：ディレクトリに新規フォルダを作成します。


 **類似検索**：接続されたストックシステム (Adobe Stockなど) で、選択したアセットの類似コンテンツを持つ画像を検索します。




▲ 接続を有効または無効にします。




 **リンク**:ここでは、ドキュメントにリンクされているすべてのアセットの概要と現在のステータスを見ることができます。

 **フォルダナビゲーション**:フォルダナビゲーションが表示されない場合は、このボタンでいつでも戻ることができます。

 **検索**:アセット検索やUnsplash、Adobe Stockのようなストックイメージプロバイダーから特定の画像を検索するのに役立ちます。


## CI HUB コネクタによるアセット検索

CI HUB コネクタで有効にしたアセットデータベースや他の接続されたアセットデータベースを検索したい場合は、検索  アイコンを使用して行うことができます。

クリックすると検索が有効になります。



私たちは、あなたが得ることができる広範な機能を実証するために別のサービスを追加しました。


白い下向き矢印  をクリックすると、接続をすばやく切り替え、対応するデータベースを検索できます。

検索機能は、様々な検索方法を提供します。

検索を開始すると、常にアセットのすべての側面にわたって全文検索されます。最も簡単な方法は、キーワードの文字列を追加することです。例えば、猫と犬を検索したい場合は、「猫 犬」と入力するか、「猫と犬」という文字列を使用します。どちらの方法でも、猫や犬が写っている画像はもちろん、両方が写っている画像も検索できますが、必ずしも同じ結果になるとは限りません。

**重要**:この文字列検索は、接続されているソースシステムが全文検索やブーリアン演算子 (AND、NOTなど) をサポートしている場合にのみ機能します。

### 詳細情報

CI HUB コネクタの様々な要素の背後に  を見ることができます。

ナビゲーション検索フィールドの情報ボタンの場合、ツールチップは、現在のサービスが検索オプションのために何を提供しているかを示しています。

特定のプロバイダについては、「i」をクリックすると、そのプロバイダのサポートページに移動します。




すべての接続を簡単に切り替えることができます。

検索フィールドの右にある下向きの小さな白い矢印にカーソルを合わせると、ドロップダウンが開き、②のように表示されます。  
現在開いている文書と、その下に最近の検索項目が表示されます。  
CI HUB コネクタはそれらを記憶しているので、再度使用することができます。

保存した検索フレーズが不要になった場合は、赤い背景の白い「x」をクリックして、以前の検索フレーズを削除することができます。

## 類似検索

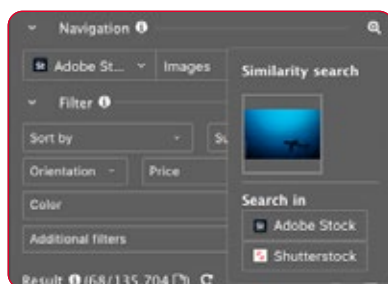
特に注目すべき機能は「類似検索」です。この機能は、同様の機能を提供しているシステム (UnsplashやAdobe Stockなど) でしか利用できません。この機能が利用可能な場合、アセットを選択し、対応するアイコンを使用して、類似した外観を持つシステム内のアセットを検索し検索結果エリアに表示します。この機能は2つの場所に存在することを理解しておくことが重要です。

ひとつは「ナビゲーションの下」、もうひとつは「詳細の下」です。どちらも若干動作が異なります。

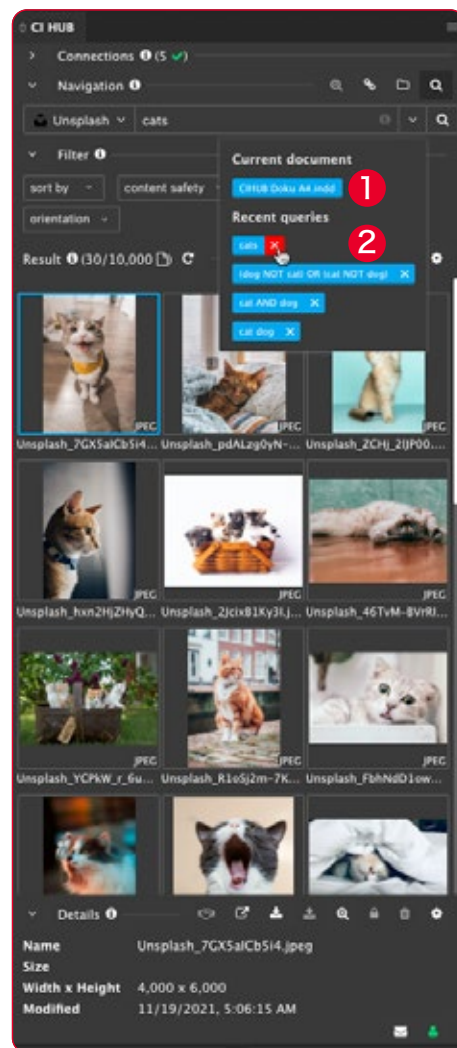
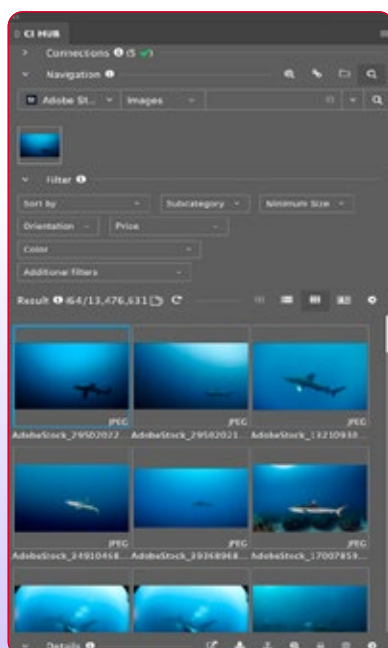
「ナビゲーションの下」での検索は、InDesignドキュメントの選択カーソルで選択したアセットに基づき、アクティブな接続で同様のアセットを検索します。

詳細の下での検索は、「結果」の下にあるCI HUB コネクタで直接選択したアセットに基づいています。

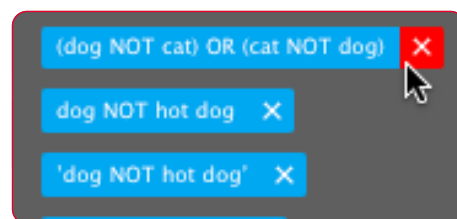
CI HUB コネクタを使ったアセットの検索は素早く簡単です。  
次にフィルタオプションの使い方を学びます。



CI HUB コネクタで  
「類似」画像を検索する。



CI HUB コネクタは最近の検索を保存します。



不要になった検索を削除できます。

## チャプター 4

# フィルタと結果

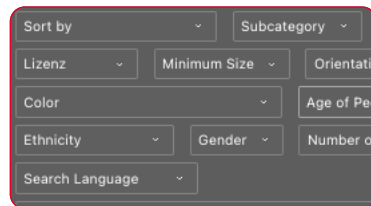
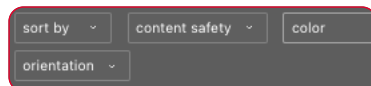


# CI HUB コネクタで アセットをフィルタリングする

CI HUB コネクタによるアセットの検索は驚くほど簡単です。

しかし、アセットデータベースの奥深くまでもう少し掘り下げる必要がある場合はどうでしょうか？

CI HUB コネクタがコンテキストに沿って機能することを理解することが重要です。つまり、データベースプロバイダが提供するオプションのみを表示します。メタデータはフィルタ設定で、どのオプションが得られるかを示します。サービスプロバイダによって、得られるオプションは多くなったり少なくなったりします。



Unsplash (左) は、Shutterstock (右) よりフィルタオプションが少ないです。

メタデータがない、あるいは使っているサービスがメタデータに対応していない場合は、画像に付加されたキーワードを使ってフィルタリングすることができます。

Google Driveでは対応していない為、Dropboxに切り替えてみます。「SeaLife」というフォルダには、様々な画像が保存されています。

キーワード付きの画像を含むフォルダを開くとすぐに、「フィルタ」トグルの下に対応するドロップダウンが表示されます。このドロップダウンには、利用可能なキーワードがすべて表示され、フィルタリングしてアセットを掘り下げていくことができます。

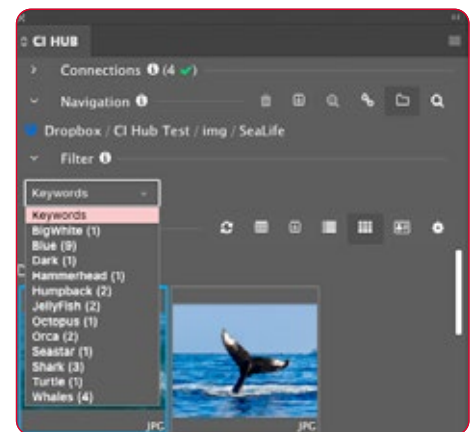
この例では、「Humpback」と「Blue」というキーワードで検索を絞り込みました。赤い「x」をクリックすると、選択したキーワードを削除することができます。



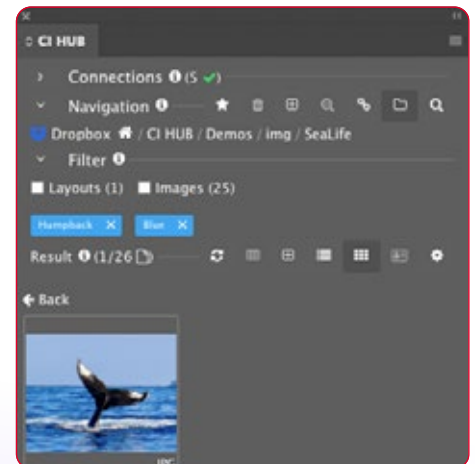
## お客様のシステムに合わせて カスタマイズ

CI HUB コネクタは、DAM、PIM、クラウドシステムで実行できることすべてをあなたの選択したアプリケーションにもたらしめます。

Adobe、Microsoft、Googleなど作成ソフトウェアから離れることなく、フルパワーを発揮できます。



Dropboxはキーワードでフィルタリングできます。



ここで選んだキーワードは、検索を1枚の画像まで絞り込みました。

# 結果ウィンドウ

フォルダナビゲーションにいるとき、または検索を実行した際、結果はすぐに下の結果ウィンドウに表示されます。

コンテンツを表示するには、3つの表示から選択できます。

## ① タイル表示

CI HUB コネクタのデフォルト表示です。タイル表示は、フォルダをリスト表示のまま、ドキュメントや画像のようなアセットをライトテーブルのように表示します。タイル表示は、プレビューサイズ (SからXXL) を変更できる唯一の表示です。

右側の歯車ホイールをクリックすると、設定が見つかります。

一度に多くのアセットを表示するか、アセット数は少なく詳細を表示するかを選択できます。

アセットを選択すると、下部に詳細トグルが表示され、名前、サイズ、幅・高さ、変更日などのメタデータを見ることができます。

リスト表示と同様に、フォルダやヒントの設定も可能です。



**フォルダ設定:** フォルダの表示/非表示を設定できます。

**タイル設定:** アセットの下に表示される画像名の表示/非表示を設定できます。また、画像名と画像タイトルのどちらを表示するかも設定できます。

**ヒント設定:** ここで変換メモのオン/オフを切り替えます。チェックを入れると、緑色のドキュメントアイコン

が2つ表示されます。カーソルを合わせると、画像がオリジナルとして配置されたのか、それとも低解像度の画像として配置されたのかなど確認できます。

**プレビューサイズ:** アセットの表示サイズを定義します。

## ④ リスト表示

アセットをリストで表示します。これはディレクトリに多くの要素がある場合、特に便利です。リスト表示では、カラムにいくつかのメタデータが表示されます。

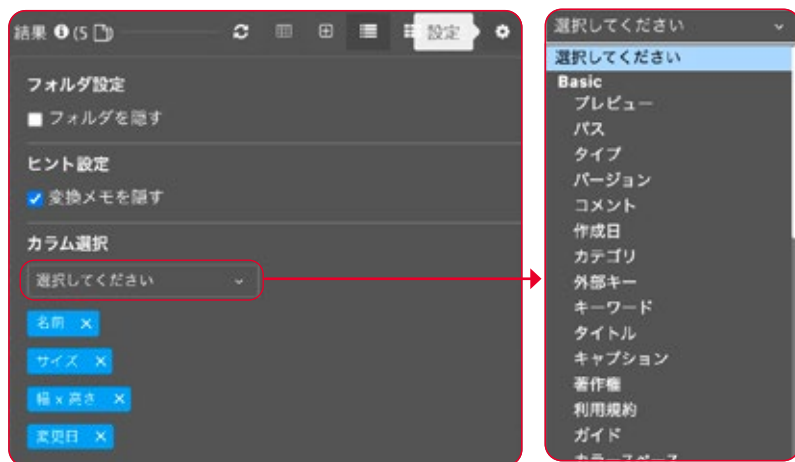


「キャプションのソース」を使用し、画像名と画像タイトルのどちらを表示させるか定義します。

**フォルダ設定**: フォルダの表示／非表示を設定できます。ディレクトリに多くのフォルダやアセットがある場合、これは概要に役立ちます。

**ヒント設定**: タイル表示で見れる設定と同じです。

**カラム選択**: 表示したい情報を正確に定義することができます。例えば、アセットの名前とサイズだけを表示するように定義します。さらにカラムの追加や「x」で削除することができます。



**カラムの並べ替えと再配置**: 並べ替えたいカラムのタイトルをクリックして、リスト内のアセットを昇順または降順に並べ替えます。ソート順は矢印で示されます。カラムを並べ替えたい場合は、上のスクリーンショットのように、設定の「カラム選択」で選択した列をドラッグ&ドロップするだけです。

## ⑤ 詳細表示

詳細表示を選択すると、アセットの大きなプレビューが表示され、そのすぐ下に「Basic (ベーシック)」というトグルボタンが表示されます。この表示では、ほとんどのメタデータを見ることができます。ベーシックに加え、さらに多くのメタデータを表示するXMPとEXIFトグルもあります。

アセットをダブルクリックすると、詳細表示に切り替わります。ここでは、利用可能なすべてのメタデータを個別に一覧表示できます。

リスト表示、タイル表示、詳細表示の他に3つのアイコンがあります。

**フォルダを再読み込み**: フォルダの内容を更新します。パフォーマンス上の理由からCI HUB コネクタは、結果をキャッシュします。フォルダに新しいアセットなどがある場合は、ボタンをクリックしてください。

**CSV書き出し**: 1つまたは複数のアセットを選択し、すべてのメタデータをCSVファイルに書き出します。



ダウンロードオプションをいくつか選択すると、CI HUB コネクタがアセットをローカルに保存するために選択した場所にファイルが保存されます。

CSV書き出しは、メタデータフィールドだけでなく、画像へのパスも含んでいます。データマージで作業する場合は非常に重要です。

現在、CSV書き出しは、Dropbox、CELUM、Sharedienでのみ利用可能です。



**📁 ファイルを追加**: このボタンを使用すると最新バージョンのファイルをアセットデータベースにアップロードできます。また、任意のファイルをDAMシステムにアップロードすることもできます。

例えば:

- 完全な複合文書のアップロード  
(.indd、word、ai、ps、pptx)
- ドキュメント内の単一アセットのアップロード
- ローカルディスクからのアップロード
- PDFオプションでのアップロード

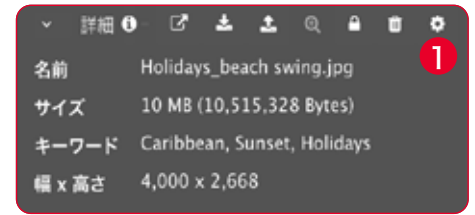
ファイルを追加機能は、実際には常にアプリケーションに依存します。FigmaやSketchでは、この機能は、選択したアイテムを指定したファイル形式 (PNGやSVGなど) に変換するために使用できます。




# 詳細ウィンドウ


アセットを選択すると、下部に詳細ウィンドウが開き、名前、ファイルサイズ、キーワード、寸法（幅×高さ）が表示されます。①


右側のギアホイール（設定）を使って、確認したい情報を設定することができます。ここでは、ドラッグ&ドロップで情報の順序を変更することもできます。このエリアにもメニューがあり、そこから様々なことをナビゲートできます：





「詳細」ウィンドウでは、メタデータの概要が表示されます。

 **ブラウザで開く**：システムメーカーが提供するWebブラウザでアセットを開きます。

 **ファイルを使用**：選択したアセットをレイアウトに使用します。

 **ファイルを更新**：現在のアセットを接続されたDAMやストレージに再度アップロードします。

 **類似検索**：接続されているDAMやストレージのデータベース内の類似アセットを検索します。これを行うにはCI HUB コネクタで目的のアセットを選択し、検索を開始します。

 **アセットをロック**：このアイコンは、アセットの現在のステータスを「ロック」します。ロックされたアセットの取り扱いは、接続されているシステムの権限に基づいています。そのため、接続しているシステムのドキュメントをご確認ください。

 **アセット削除**：選択したアセットを削除します。



## チャプター 5

# ExCoPについて

(External Content Panel - 外部コンテンツパネル)

# ExCoPとは

ExCoPを使用すると、すべてのAdobeアプリケーションでアセットを完全にコントロールできます。しかし、「完全にコントロール」とはどういう意味でしょうか？ExCoPとは、以下のような側面を指します：

- アセットのリンク
- 接続されたシステムからアセットを検索
- ソースシステム間でアセットを移動
- ローカルハードディスクから接続システムにアセットをアップロード
- 組み込みアセットを接続システムに移動
- 高解像度ファイルと低解像度ファイルの切り替え
- タイムスタンプを含む、配置されたアセットのバージョン確認
- 新しいバージョンのアセットが利用可能な場合は警告を表示
- ローカルで利用可能かどうかの情報を取得
- アセットが埋め込まれているかどうかの情報を取得
- ソースシステムに関するビジュアルコントロール
- チェック、再リンク、アップロードのバッチ操作
- ページへのリンクを含む、ドキュメント内の位置に関する情報の取得
- ローカルパスの取得更新日時の取得
- ファイルサイズの取得
- リモートID（ソースシステムのファイルID）に関する情報の取得
- 配置されたアセットのレンディションに関する情報の取得
- 見つからないファイルに関する情報の取得
- アセットに十分な解像度がない場合の確認
- FADELが接続されている場合（デジタル画像著作権管理）
- すべての権利に関する情報を取得
- 新しいバージョンのアセットが利用可能な場合は警告を表示
- アセットがローカルで変更された場合に警告を表示




## パネルコントロール

ナビゲーションメニューのリンクアイコンをクリックしてExCoP機能にアクセスします。①

下部にリンクの概要が表示されます。

ここでは、どのシステムからリンクをチェックしているのか ②（例ではDropboxが有効になっています）、アセットがどのシステムから読み込まれているのかを確認できます。③

ExCoPは、まずInDesignドキュメントを表示します。このファイルもアセットとみなされます。④

アクティブなシステムにアセットを「追加」 し、新しいバージョンがあれば「更新」 し、アセットの「ステータスをチェック」 することができます。

青い色は、アセットのチェックがまだ行われていないことを示します。

アカデミー



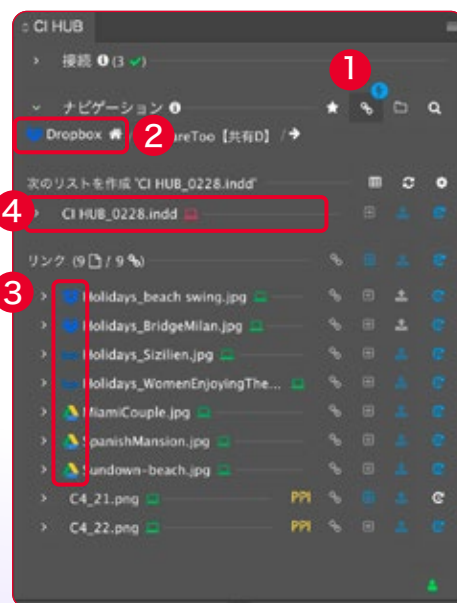
## タイムスタンプCI HUB コネクタとDAMシステムの比較

CI HUB コネクタの各アセットの詳細に表示される日時は、常に現地時間に変更されます。


これはローカルマシンのオペレーティングシステムのタイムゾーン設定に依存することに注意してください。

この変換は、接続されたインテグレーションがAPIを介してCI HUB コネクタに引き渡す情報に依存します。


これは、あなたの場所に関係なく、常に正しい時刻が反映されることを保証します。

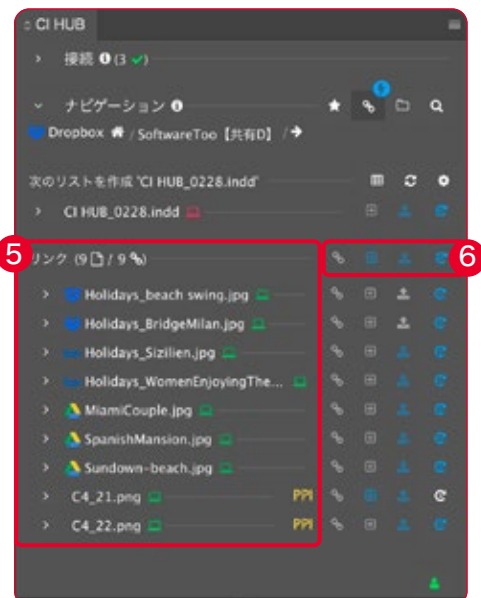


▲アセットが一目でわかります。

⑤ は、InDesignでリンクされたアセットです。上記のオプションは、CI HUB コネクタによってアセット  を配置されたシステムにリンクさせることと同様に、ここでも見つけることができます。⑥ アセットの左側にある白い矢印をクリックすると、全てのメタデータが表示されます。CI HUB コネクタのおかげで、異なるシステムからのアセットをドキュメントで使用することができます。

## あるシステムから別のシステムへファイルを転送

ドキュメント内に異なるシステムのアセットがある場合、アイコンが青く表示されます。追加アイコンが青い  場合は、アセットがCI HUBコネクタによって現在アクティブなシステムで見つからなかった場合にのみ表示されます。アセットがあるシステムにいる場合、「+」はグレーのままです。



### ウェビナー



## Fadel Rights Cloudによるシンプルな著作権管理

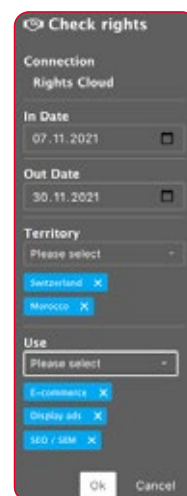
CI HUB コネクタにFadel Rights Cloudが統合されたことで、デジタルアセットに対する完全な権利チェックシステムをすぐに利用できるようになりました。ファデルはクラウド自体を次のように説明しています。

Rights Cloud™ by FADEL®は、コンテンツの権利をリアルタイムでチェックし、クリエイティブ、配信、またはアセット/コンテンツ管理プラットフォームから直接、利用規約を一目で把握できるようにします。クリエイティブから配信まで、Rights Cloudはオンデマンドで「権利」の回答を提供します。

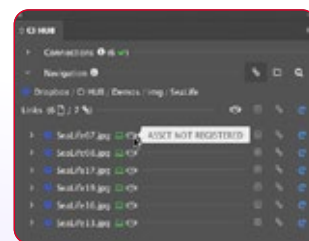
CI HUBコネクタのおかげで、アセットがFADEL Rights Cloudに登録されている場合、ワンクリックで配置されたアセットの権利をチェックすることができます。

これにより、膨大な時間を節約し、使用するアセットの法的コンプライアンスを得ることができます。

Rights Cloudは、画像だけに限定されません。例えば、ビデオや音楽も含まれます。選択した画像をRights Cloudにアップロードすることもできます。ワークフローがトリガーされ、専用の権利が設定されます。




◀ アセットのデジタル著作権を確認したい場合、ほとんどの著作権は期間限定で購入されるため、期間を定義する必要があります。また、アセットを使用する地域やキャンペーンを限定することもできます。



▶ トラフィックライトシステムは、あなたがアセットに対してどのような権利を持っているかを表示します。また、ExCoPでステータスを確認することもできます (右の画像)。

青い「+」<sup>①</sup>をクリックして、アセットを新しいシステムに割り当てます。これで、移動先のフォルダと、それに応じて追加されるアセットの概要が表示されます。<sup>②</sup>

その後、アセットが選択したフォルダにアップロードされます。これで、すべてのアセットが同じシステムで利用できるようになります。<sup>③</sup>

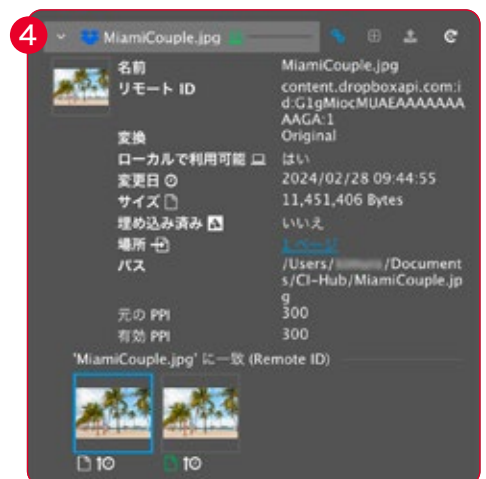
アセット名の前にDropboxのアイコンが表示されます。接続されているシステムで利用可能なアセットとそうでないアセットを確認するには、 アイコンをクリックしてアセットチェックを開始します。



## アセット詳細ビュー

アセットの左にある小さな白い矢印をクリックすると、詳細ビューが開きます。<sup>④</sup>

ここでは、アセットに関する詳細な情報を得ることができます。アセットの名前と保存場所、最終変更日、ファイルサイズ、ドキュメントへの埋め込みの有無、アセットがどのページにあるかなどを確認できます。ページのリンクをクリックすると対応するページに移動できます。



## ローカルフォルダの設定

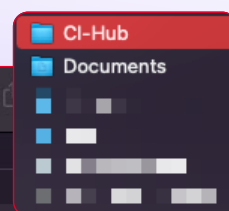
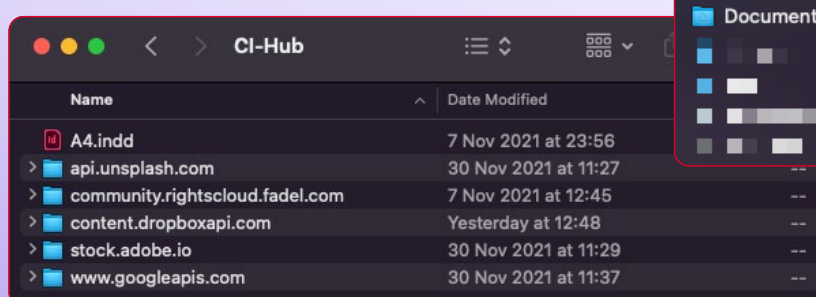
CI HUB コネクタでアセットを扱うには、ローカルフォルダを作成する必要があります。これは、Adobe InDesignのようなプログラムが印刷用PDFの書き出し等のタスクを実行できるようローカルに保存されたデータにアクセスする必要があるためです。従って、CI HUB コネクタは、配置されたアセットのローカルコピーをコンピュータに保存します。フォルダは、macOS: [Macintosh HD/ユーザー名/Documents/CI-Hub](#)

Windows: [C:/Users/username/Documents/CI-Hub](#)に作成されます。

アセットは、このフォルダに保存されます。

フォルダ内のアセットを削除すると、CI HUB コネクタにローカルで利用できなくなったと表示されます。DAMシステムから再ロードすると、ファイルはハードディスクに再び作成されます。

サービスのサブフォルダが複数存在する理由については、[29ページ](#)で説明します。



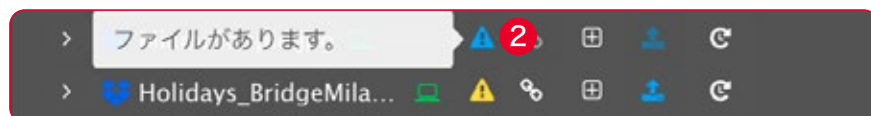
◀ CI HUB コネクタは、Adobe InDesignのようなプログラムが正しく動作するように、アセットをローカルに保存します。



## バージョン管理

アセット詳細ビューのもう一つの特徴は、バージョンの表示です。画像データベースやDAM、Google Driveのようなクラウドストレージでは、何か変更があった場合、アセットのバージョンが作成されます。CI HUB コネクタを使用すると、アセットをチェックし、新しいバージョンの画像を表示することができます。①

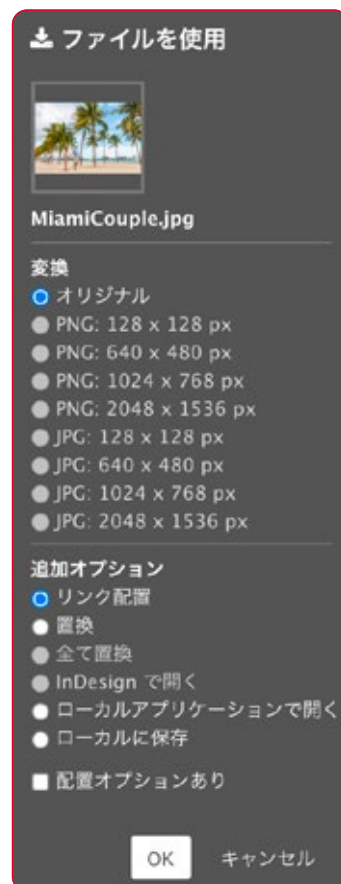
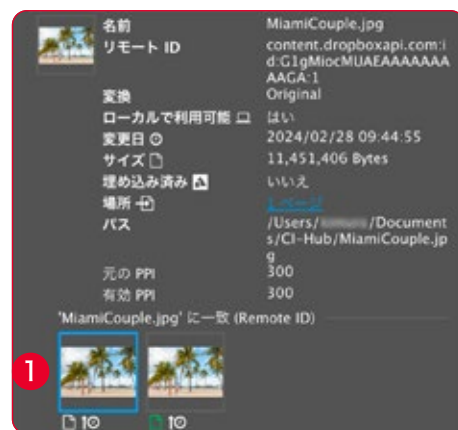
三角形は、どのアセットに注意する必要があるかを示しています。②  
アイコンにカーソルを合わせると情報が表示されます。



この場合、複数のファイルがあることがわかります。最新のアセットを選択し、ドキュメントに再リンクすることができます。こうすることで、常に最新バージョンのアセットを使用することができます。

## レンディションを使う

画像アセットを配置する際、アセットのオリジナルとレンディションのどちらを配置するか指定できます。レンディションは、オフセット印刷やデジタル印刷ではなく、WebやFigmaやSketchなどのプロトタイピングツールで作業する場合に便利です。レンディションを使用すると、アセットのデータ量を減らすことができ、Office、WordPress、Sketch、Figmaにベクターグラフィックスを配置することもできます。PNGとJPEGのフォーマット、様々なピクセル寸法を選択できます。



## オリジナル、PNGとJPEG

CI HUB コネクタでは、オリジナルファイルまたはレンディションとしてドキュメントに画像を配置することができます。

オリジナルファイル、PNG、JPEG形式の様々なサイズを選択できます。オリジナルファイルでは、DAMシステムから高解像度のアセットを配置します。データベースシステムで扱える形式であれば、AI、EPS、PSD、TIFFなど、どのような形式でも構いません。

より小さなレンディションを配置したい場合、PNGかJPEGのどちらかを選択できます。

PNGは、特にロゴのような詳細の少ないベクターグラフィックや背景が透明なファイルに適しています。JPEGは、主にピクセル数の多い詳細な画像に使用されます。透明な画像はJPEGでは表現できません。



◀ CI HUBロゴのようなベクターグラフィックは、PNGで配置するのが最適です。





◀ ディテールの多いピクセル画像は、通常JPEGの方が綺麗に見えます。



## アセットの再リンク方法

DAMシステムのアセットを使って作業し、最終的に使用可能な印刷用PDFを作成する為には、アセットがローカルで利用可能でなければなりません。特にInDesignでは、それが重要です。

作業したことがないドキュメントの場合、画像がローカルに保存されていない為、リンクが見つからないという問題が発生します。①

ここで、CI HUB コネクタのもう一つの強みが発揮されます。フォルダナビゲーションの左側にあるアイコン  からExCoPにアクセスします。プラグインパネルでは、アセットがローカルで利用可能か、不足しているかが一目でわかります 。②

アセットのステータスをチェックするには、青い「ステータスを確認」アイコンをクリックします。アセットがローカルにない場合、アセット後のラップトップが赤くなります。青いリンクアイコンは、CI HUB コネクタがDropboxなどでアセットを見つけたことを示します。アセット名の前にある左の白い矢印をクリックすると、画像のメタデータを表示できます。CI HUB コネクタがアセットの複数のバージョンを検出した場合、そのバージョンも表示されます。プレビュー画像の下には、小さな時計が表示されます。その上にマウスポインタを移動すると、作成日がポップアップ表示されます。③

緑色のアイコンは、ファイルサイズまたは、更新日がドキュメント内のアセットと一致していることを示します。④

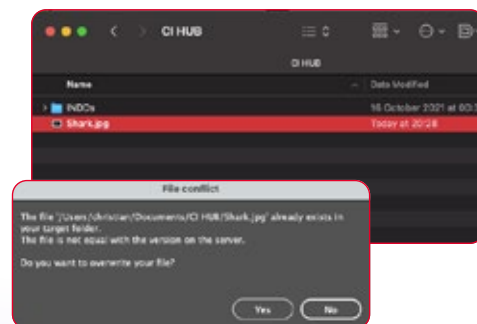
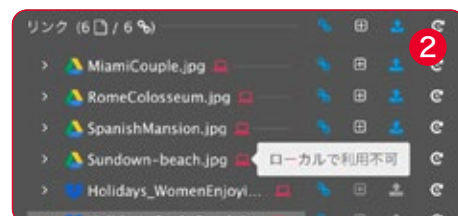
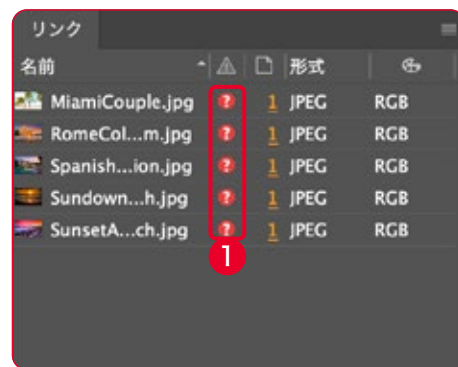
また、最新のアセットは、変更日アイコン（時計アイコン）の左側に矢印で表示されます。⑤

青いリンクアイコンをクリックして、アセットをリンクします。オリジナルをリンクするか、PNG形式またはJPEG形式の縮小版をリンクするかを選択できます。これは逆も可能です。誰が低解像度のファイルを配置したか分からない場合は、「オリジナル」を選択するだけで、配置されたすべての低解像度ファイルが高解像度（オリジナル）ファイルに置き換えられます。

## 同名アセットの扱い方

DAMシステムを使っている方でしたら、同じ名前で複数のアセットを保存できることをご存知かと思います。システムは、個々のメタデータエントリによってアセットを区別します。DAMシステム内にとどまる限り、問題はありません。しかし、ドキュメントにアセットを配置し、そこから印刷用PDFを作成したい場合はどうでしょうか？

例えば、InDesignはハードディスク上のローカルにアセットを必要とします。同じ名前のファイルを同じ場所に複数保存しようとする、互いに上書きされたり、ファイル名の末尾に (1) や (2) などが追加されたりします。それは予期せぬ出力につながる可能性があります。

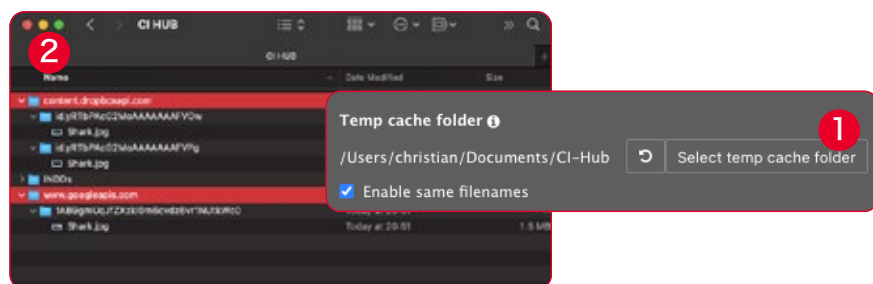


「Enable same filenames」機能を使用せずにアセットを配置した場合、CI HUB コネクタはフォルダ構造なしでアセットを配置します。これは、プラグインが常にアセットを上書きしようとする為、競合につながります。

CI HUB コネクタは、このような心配がないように便利な機能を内蔵しています。右上のオプションメニュー（3つのバー）から「設定」を選択し、「同じファイル名を許可」にチェックを入れてください。

「キャッシュフォルダ」の下にチェックボックスがあります。①

CI HUB コネクタは、自動的に動的なフォルダ構造 ② を作成し、同じ名前前のアセットだけでなく、異なるソースからのアセットも配置できるようにします。これにより、最初に名前を変更することなく、DAMやクラウドシステムから同じ名前前のアセットを配置することができます。



## 一目でわかる最も重要なアイコン

- アセットを追加
- アセットのステータスを確認
- アセットの再リンク
- アセットがローカルで利用可能
- アセットがローカルで利用不可
- アセットの更新
- PPIが設定された数値未満
- アセットが埋め込み
- 警告
- アセットがローカルまたはシステム上に存在しない

## 緑、青、赤？

CI HUB コネクタでは、一般的に以下の意味になります。

緑色は「OK」または「すべてOK」を意味します。つまり、次に進むために必要なことです。アイコンが赤くなった場合は、意図的な介入が必要な明らかなエラーです。

## ドキュメントサマリー

CI HUB コネクタは、全てのシステムとアセットを接続するだけでなく、ExCoPと連動し、アセットに関する貴重な情報を提供してくれます。その大部分は既に説明したとおりです。

ドキュメントサマリーは、非常に便利

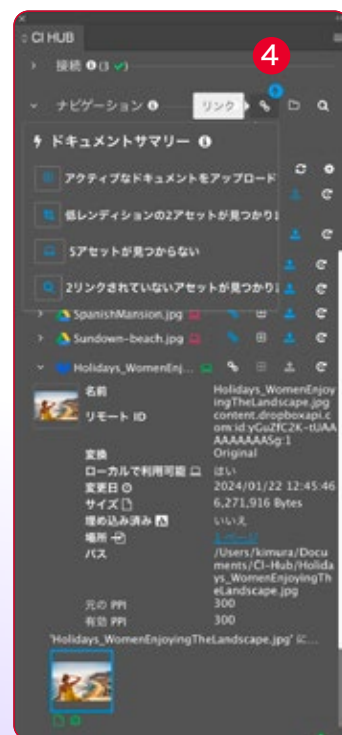
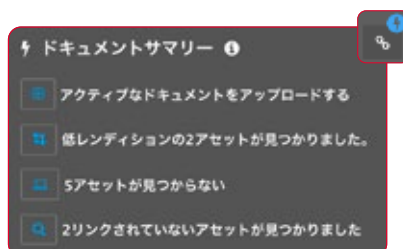
な機能です。この機能は、CI HUB コネクタを5分～120分間隔でファイルをスキャンし、ドキュメントを改善するための提案を提供します。

右上のオプションメニュー（3つのバー）の「設定」では、自動ステータスチェックの設定をすることができます。ここでは、チェックのオン

とオフ、チェックの頻度を設定できます。③

CI HUB コネクタを起動すると、最初のチェックは10秒以内に実行されます。その後のチェックは、デフォルトの設定に従って実行されます。

ステータスチェックが有効になると、右側のExCoPアイコンの上に青い稲妻が表示されます。その上にマウスを置くと、推奨アクションを見ることができます。サジェストの横にあるアイコンをクリックすると、どのアセットに影響するかを確認できます。対応するアセットが拡大され、青い輪郭で表示されます。④



## チャプター 6

# アセットの扱い方

# テキストとメタデータの使い方

この章では、テキストとメタデータの操作について3つの側面に焦点を当てます。

1. アセットに基づくメタデータ
2. 関係性に基づくメタデータ
3. メタデータに基づくシリーズ制作

最も簡単な部分から始めましょう。

## 1. アセットに基づくメタデータ

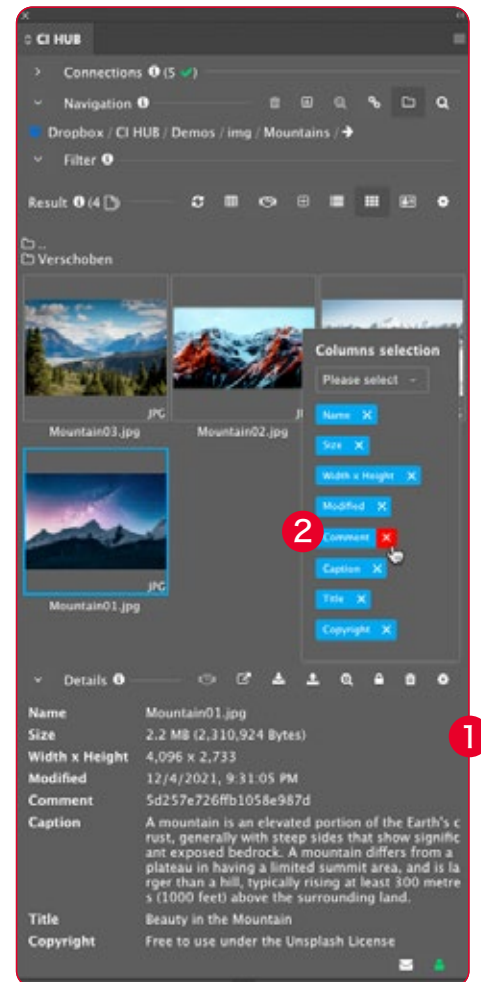
CI HUB コネクタは、DAMシステムが提供する全ての情報とIPTC、XMPまたはExifメタデータとしてアセットと共に保存された全ての情報（タイトル、説明、著作権など）を提供します。①

右側の歯車のアイコンをクリックすると、メタデータフィールドの表示と非表示を切り替えることができます。②

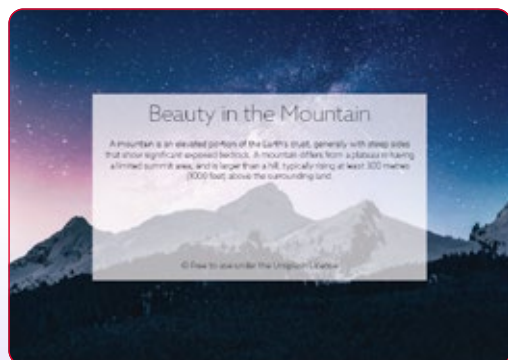
用意されたInDesignテンプレートがあれば、そこに画像アセットなどを入れることができます。CI HUB コネクタから、この為に用意された画像ボックスに画像をドラッグします。③

次にカーソルを目的のメタデータフィールドに合わせ、ドラッグ&ドロップで対応するテキストフィールドに割り当てます。④

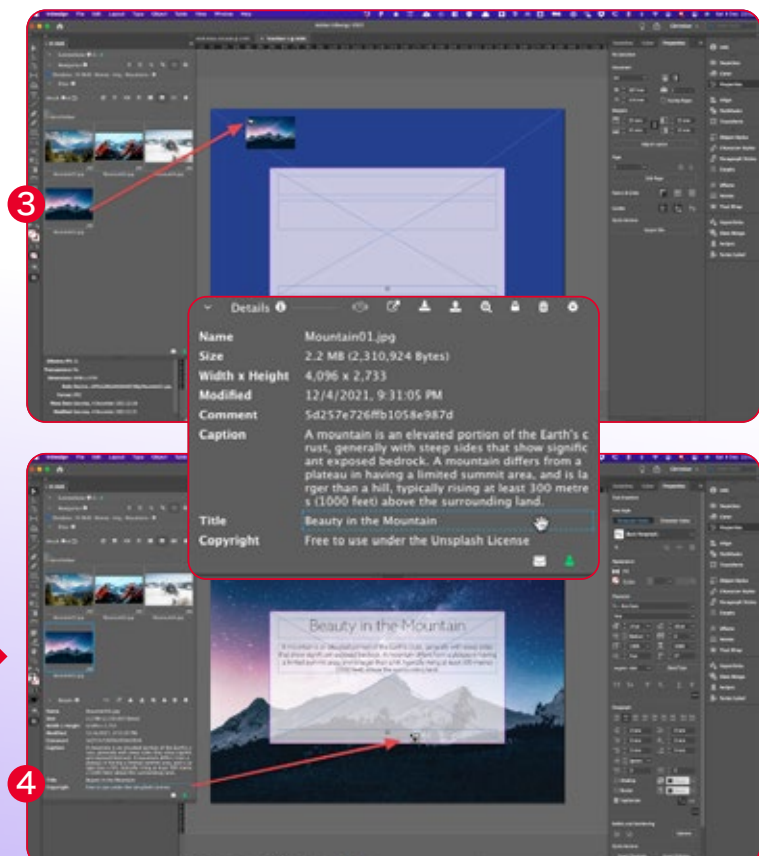
テキストボックスにすでに段落スタイルが定義されている場合、テキスト書式は即座に適用されます。



詳細には、アセットのメタデータが表示されます。



メタテキストをレイアウトに適用します。▶





## メタデータとは？

メタデータは、アセットに関する追加情報を提供しますが、メッセージのテキストや実際の画像など、コンテンツを直接説明するものではありません。例えば、メタデータには様々な種類があります。

### 説明用メタデータ

リソースを説明し、識別のために使用されます。

### 管理用メタデータ

リソースを管理する為の情報。例えば、タイプ、権限、作成日など。

### 法的メタデータ

リソースの作成者、著作権者、パブリックライセンスに関する情報です。CI HUB コネクタでは、以下の3つの標準を使用します。  
IPTC、XMP、Exif

## IPTC

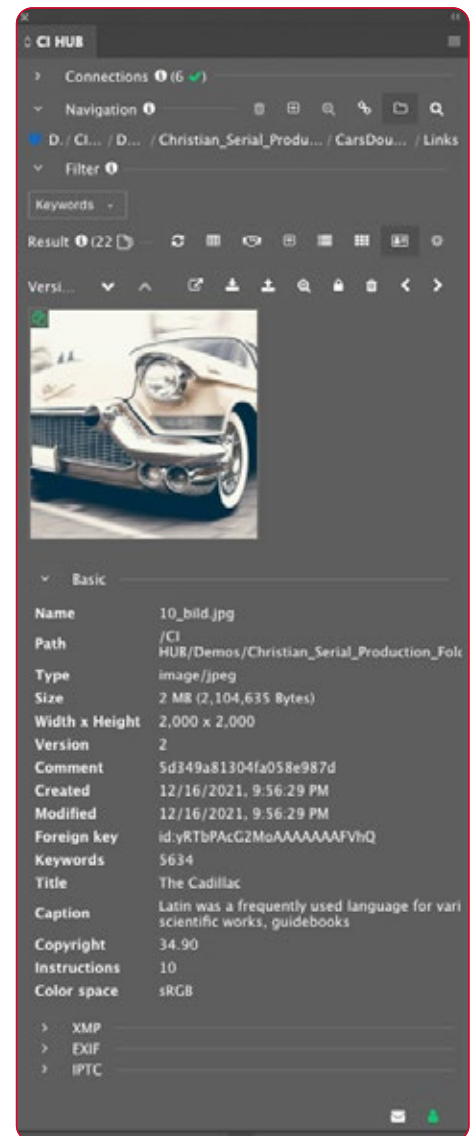
IPTC (International Press Telecommunications Council) は、業界における写真のメタデータの標準を設定します。画像に関する管理情報、説明情報、著作権情報に使用されます。

## XMP

XMP (Extensible Metadata Platform) は、ISO規格のひとつで、元々はAdobeシステムズ社によって作成されました。これは、デジタルアセットの標準化されたメタデータおよびカスタマイズされたメタデータの作成、処理および交換のために使用されます。

## Exif (Exchangeable image file format)

Exifは、デジタルカメラ（スマートフォンを含む）、スキャナ、その他デジタルカメラで記録された画像ファイルや音声ファイルを扱うシステムで使用される画像、音声、補助タグのフォーマットを規定する標準規格です。



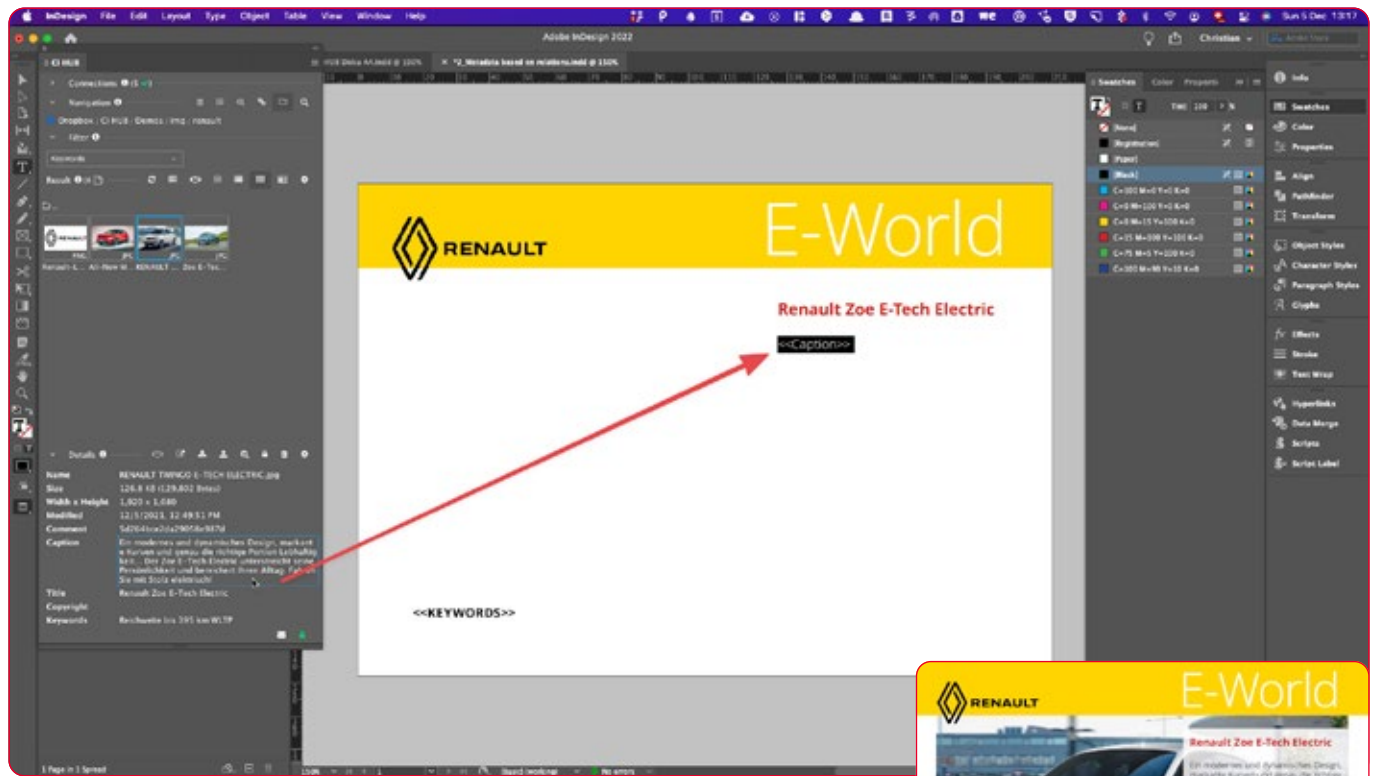
▲ CI HUB コネクタのメタデータ



## 2. 関係に基づくメタデータ

DAMシステムがPIMシステムに接続されている場合、PIMシステムから出力される関連メタデータフィールドを表示して使用することができます。これにより、接続されているPIMからのテキストをレイアウトに配置することができます。

情報をドラッグ&ドロップし、製品を作成することができます。



これは、異なるメタデータを使用するファクトシートやチラシを作成していて、DAMシステムに保存されている関連情報で複数のプレースホルダーを埋めたい場合に便利です。

詳細ウィンドウを開いて利用可能な全てのメタデータを確認し、プレースホルダーに情報をドラッグ&ドロップするだけです。

重要：最初にプレースホルダーテキストを削除する必要があります。次に、すべての定義済み変数をあなたのデータで埋めてください。とても簡単ですが、項目がたくさんある場合、それらをひとつずつドラッグするのはとても面倒です。



### InDesignでのデータマージ

InDesignのデータマージは、Wordのメールマージに似ています。CSVファイルを使用して、ドキュメント内の定義済みのプレースホルダーを埋めます。例えば、1つのデータソースでメールマガジンやファクトシートを作成できます。

Windows/ユーティリティ/データマージでパネルを見つけることができます。チュートリアルで、このツールとCI HUB コネクタの操作方法を学ぶことができます。

チュートリアル



## よりスマートに仕事をしたいですか？

CI HUB コネクタで作業するとき、より速く、簡単にスマートに作業する方法が見つかります。これはここでも同様です。

CI HUB コネクタは、アセットのメタデータをCSVファイルとしてダウンロードするオプションを提供します。これを行うには、Shiftキーを押しながら、CSVファイルに書き出ししたい複数のアセットを選択します。

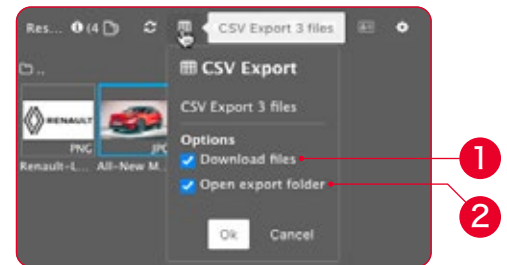


その後、上部メニューのCSV書き出しアイコンをクリックして、メタデータをダウンロードします。ダイアログが開き、書き出しの詳細を定義できます。アセットをローカルにダウンロードします。①

ダウンロードフォルダを後で直接開くかどうかを指定します。②

ダウンロードが完了すると、InDesignのデータ結合に使用できるCSVファイルが送られてきます。試しにいくつかのプレースホルダーを埋めたファイルを用意しました。このドキュメントでは、画像、タイトル、コンテンツ、キーワードを入力します。InDesignのデータ結合パネルのオプションメニューからCSVファイルを読み込みます。データ結合パネルの左下にあるプレビューを有効にします。問題がなければ、データ結合を開始できます。

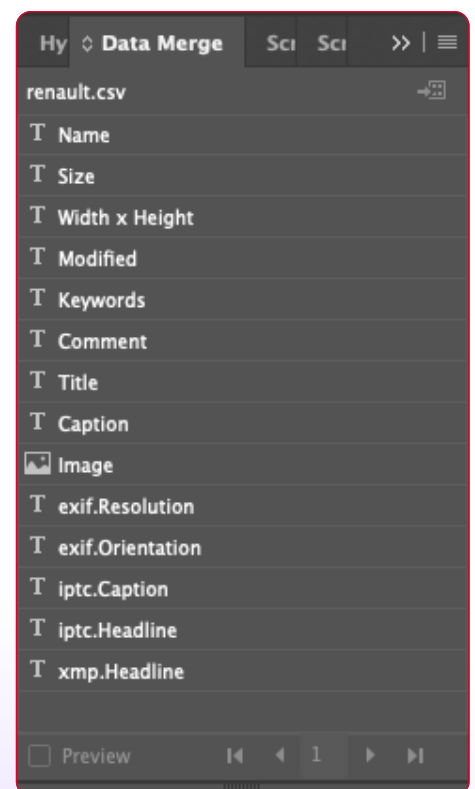
プレビューを使用して、マージが正しく機能するかどうかを確認します。



書き出しのオプションを定義します。



このシートをデータで埋めてみます。



CSVファイルをデータ統合パネルにインポートすると、すべてのアクティブ変数が表示されます。

### 3. メタデータに基づくシリーズ制作

また、CI HUB コネクタとInDesignのデータ統合機能を使用して、一緒にシリーズ制作を行うオプションもあります。ここで重要なのは、このために必要なすべてのメタデータが記入されたアセットを持っていることです。この例では、InDesignテンプレートがあり、その中にすでにフォーマット済みの商品フィールドがあります。

CI HUB コネクタでアセットを呼び出すと、それらを選択することができます。これを行うには、Shiftキーを押しながらカーソルをアセットの上に置きます。アセットが青い枠でマークされていれば選択されています。エクスポートアイコンをクリックしてCSVファイルをエクスポートします。ファイルはすべてのローカルアセットと同じフォルダに保存されます。

#### データ統合を使ってシリーズ生産を開始する

データ統合ウィンドウを開き、CSVファイルをインポートすると、ファイルの全てのメタデータフィールドが表示されます。必要なフィールドをテキストフレームに挿入することができます。この例では、テンプレート全体がすでに準備されています。

「データ結合」パネルの左下にある「プレビュー」にチェックを入れるとプレビューを表示できます。①

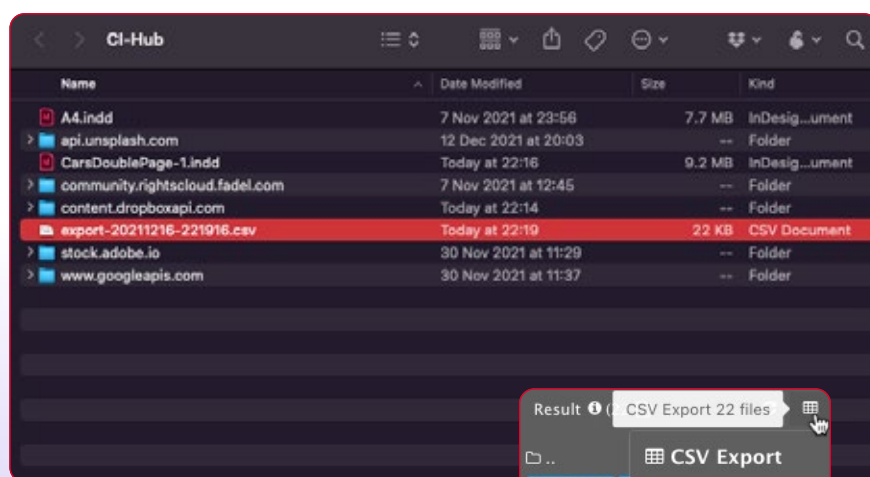
これで、最初のエントリーがプレビューとして表示され、対応する矢印でレコードをクリックすることができます。



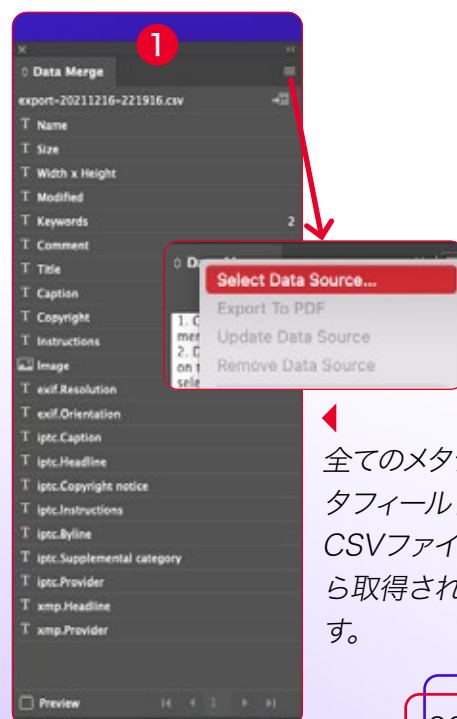
▲ テンプレートに商品フィールドをレイアウトする。



▲ Shiftキーを押しながらアセットを選択します。

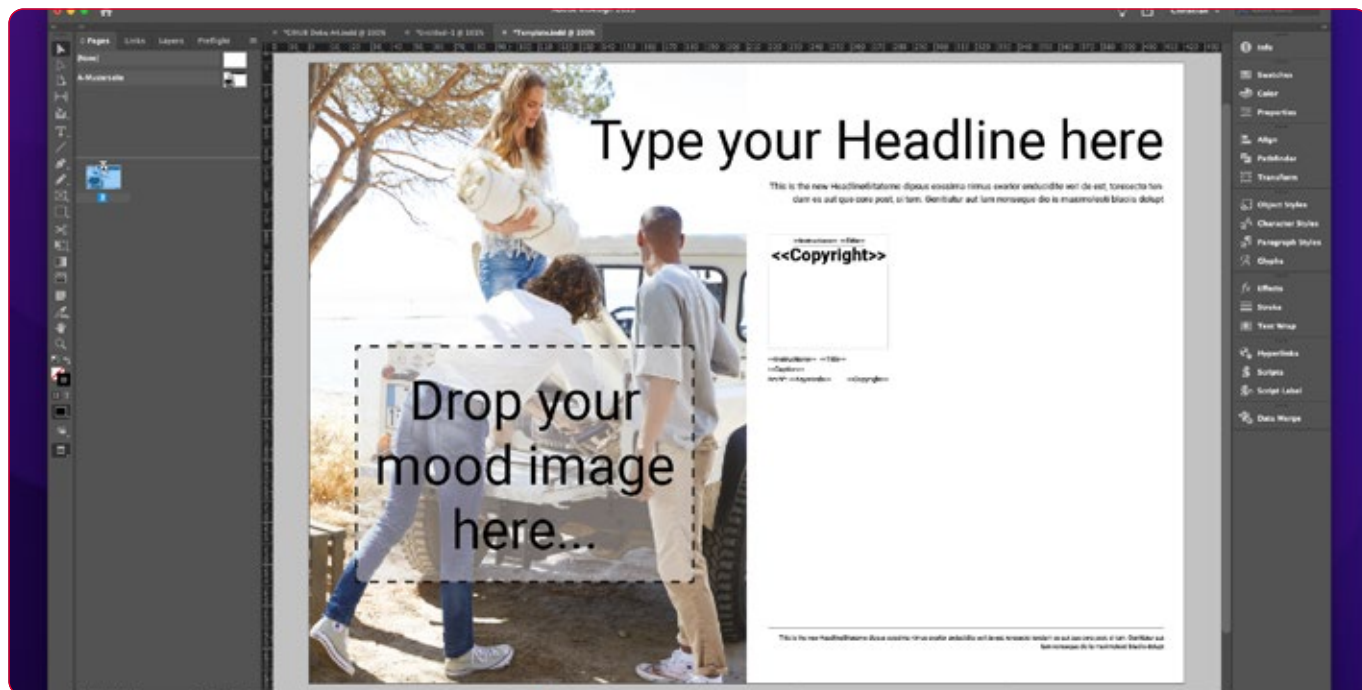


▲ 書き出しオプションで「書き出し先のフォルダを表示」を選択すると、書き出し後に対応するディレクトリが開きます。



▲ 全てのメタデータフィールドはCSVファイルから取得されます。





プレビューでは、最初のレコード **1** が表示され、それを使用して全てのレコードをクリックすることができます。 **2**



シリーズプロダクションを開始するには、ウィンドウの右上にある「結合ドキュメントを作成」 をクリックします。

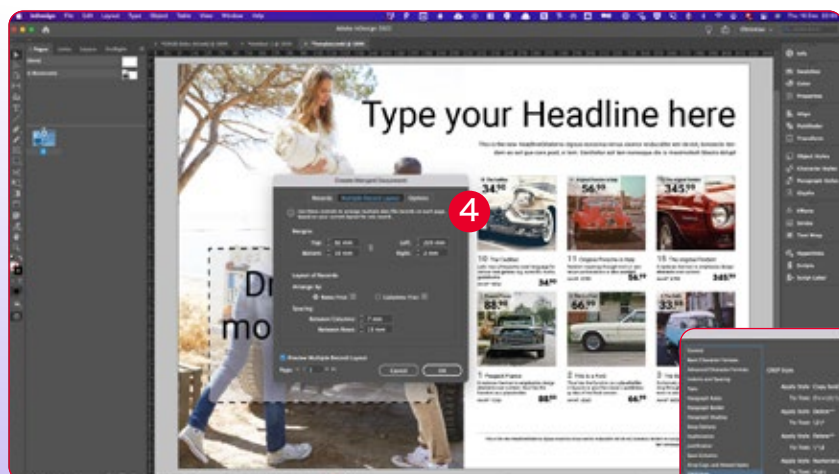
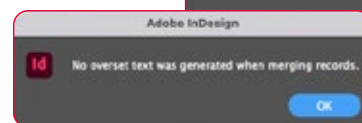
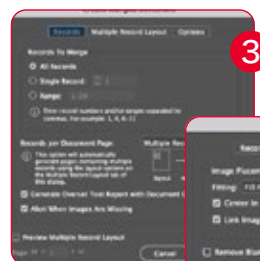
ダイアログフィールドが開き、さらなる設定を行うことができます。

最初のタブ **3** では、どのレコードを表示するかを定義します。

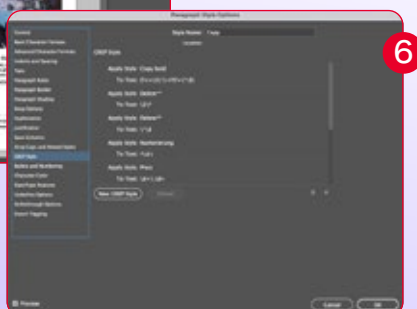
私たちの場合はもちろん全てです。2番目のタブ **4** では、必要な余白と、列と行の間のスペースを指定できます。

「OK」 **5** をクリックすれば、自動的にドキュメントが作成されます。

GREPスタイルで、組版を自動化することもできます。 **6**



オーバーセットテキストが作成されていない場合、結合は正常に完了します。



## オブジェクトに基づくメタデータ

ソースシステムがオブジェクトをサポートしている場合、1つのレコードに複数の画像をエクスポートすることができます。これにより、「n」個の画像を持つ1つのレコードをレイアウトに自動的に配置することができます。これは主に、1つのレコードに商品の異なるビューを持たせるために使用します。



## チャプター 7

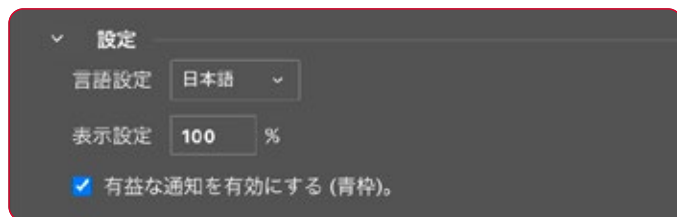
# Adobe Creative Cloudの 設定

設定パネルは、CI HUBパネルとその機能に影響する様々なオプションを提供します。パネル右上のオプションメニューから「設定」にアクセスできます。

「設定」をクリックすると以下のオプションがあります。

## ユーザーインターフェース

「設定」オプションでは、パネルの表示を拡大または縮小や言語を変更することができます。値はパーセンテージで入力します。デフォルトでは100%です。



次のチェックボックス ① では、青いヒントボックスのオンとオフを切り替えることができます。

## ExCoP (外部コンテンツパネル) の設定

ExCoPは、コンテンツを完全にコントロールできます。パネルの動作は設定で調整できます。設定では、PPIチェックの確認方法、パネルがアセットをチェックする頻度、ローカルで変更されたアセットに関する警告を表示するかどうかを設定できます。

第5章では、ExCoPについて詳しく説明しています。

### 効果的なPPIチェック

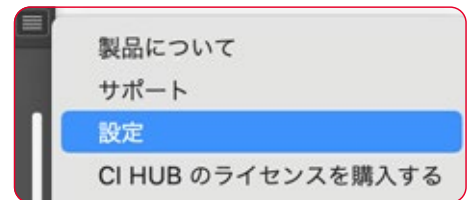
「最小限のPPI確認を有効にする」では、CI HUB コネクタが画像解像度の警告を出すタイミングを定義できます。

なぜそれが重要かと言うとソースシステムからInDesignに画像を配置する場合、配置後の画像の有効解像度を確認すると便利です。画像の有効解像度は、ドキュメントにアセットを100%で配置した場合のみ、実際の画像の解像度と1:1に対応します。

**例えば:** InDesignで解像度300ppiの画像を50%に拡大すると、有効PPIは倍の600ppiになります。同じ画像を200%に配置すると、有効なピクセル数は半分になります。画像に使用できるピクセル数が増えるわけではありませんが、2倍の大きさで表示されるからです。

もちろん、InDesignのネイティブリンクパネルにこの情報を表示することもできます。しかし、有効PPI解像度が事前に定義された値よりも小さい場合、CI HUB コネクタがExCoPで直接通知してくれる方がシンプルで便利です。

この方法では、通常通りCI HUB コネクタで作業し、最後にドキュメント内に解像度が低すぎるアセットがある場合、ExCoPで通知されます。ExCoPのアセットの後ろに赤 **PPI** で警告が表示されます。



ユーザーインターフェースを拡大または縮小できます。



ブルーボックスは、設定でオン・オフが可能です。



## 自動ステータスチェックを有効にする ①

ExCoPがアセットチェックを実行する頻度を決めることができます。最短は5分、最長は120分です。

## ExCoPのローカルで変更された可能性のあるファイルに対する警告を有効にする ②

アセットがローカルで変更された場合、パネルに警告を表示することができます。⚠

## InDesignの推奨設定

オプションの「InDesignの推奨設定」を使用すると、CI HUB コネクタが提案するデフォルトのInDesign設定をオンまたはオフに切り替えることができます。

## リンクチェックを無効にする ③

この機能を選択するとInDesignドキュメントを開くときにリンクチェックが行われません。これにより、ドキュメントの読み込みが速くなります。

## 複数ページサムネイルのサポート ④

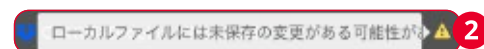
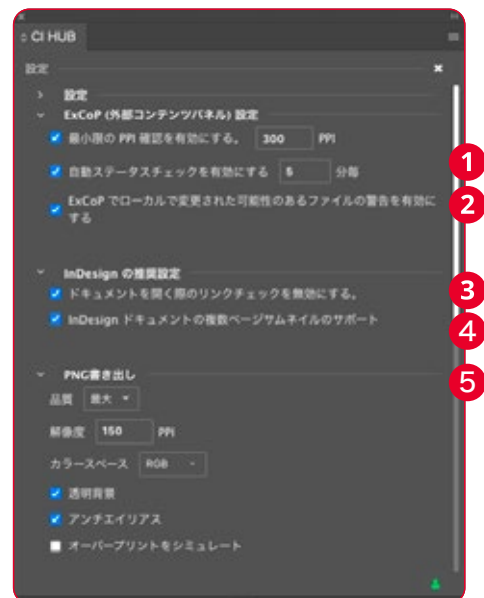
このオプションを有効にするとCI HUB コネクタのタイル表示で、矢印キーを使用してInDesignドキュメント内を移動することができます。ソースシステムがこの機能をサポートしている場合に限りです。

## PNG書き出し

ここでは、CI HUB コネクタからのPNG書き出しがどのように動作するかを設定できます。⑤

画像の品質、解像度、カラースペースを選択できます。RGBとグレイから選択できます。「透明背景」オプションは、白い背景を白ではなく透明にします。「アンチエイリアス」は、グラフィックをピクセル化したように見せる視覚的なアーチファクトを軽減し、「オーバープリントをシミュレート」は、InDesignの「オーバープリントプレビュー」機能に似ていますが、選択したどの色空間にも適用できます。

CI HUB コネクタが書き出すJPEGファイルは、スポットカラーを印刷色に変換することで、様々な中性濃度値を持つスポットインクの印刷効果をシミュレートします。



▲ 感嘆符付きの黄色い三角形は、アセットがローカルで変更されたことを示します。

## フォーマット方法

プログレッシブは、WebブラウザにダウンロードされるJPEG画像をより詳細に表示します。

ベースラインは、完全にダウンロードされた後のJPEG画像を表示します。

## モディファイドアセットとは何か？

モディファイドアセットとは、アセットが配置された後、またはソースシステムから開かれた後に変更されたアセットです。つまり、ローカルバージョンはDAMやクラウドストレージのものより新しいということです。例えば、DAMからInDesignファイルを開き、そのInDesignファイルで作業して変更を加え、「command+S」（保存）を行ったとします。このバージョンは、DAMシステムのものよりも新しくなっています。そのため、「変更されたファイル」は、新しいバージョンをDAMに保存したかどうかを確認することを思い出させます！

## JPEG書き出し

JPEGオプションでは、PNGと同様の設定が可能です。JPEGの場合、背景を透明にすることはできませんが、カラースペースで「CMYK」と画像にカラープロファイルを含め込むかどうかを選択できます。このオプションを選択すると、書き出されたJPEGファイルにドキュメントのカラープロファイルが埋め込まれます。

## キャッシュフォルダ

制作の目的の為に、Adobeはリンクされたアセットを物理的に利用できるようにする必要があります。この為、CI HUB コネクタは自動的にハードディスク上にフォルダを作成します。

CI HUB コネクタからドキュメントにアセットを配置すると、すぐにハードディスク上にアセットが一時的に作成されます。ここでフォルダを選択できます。①



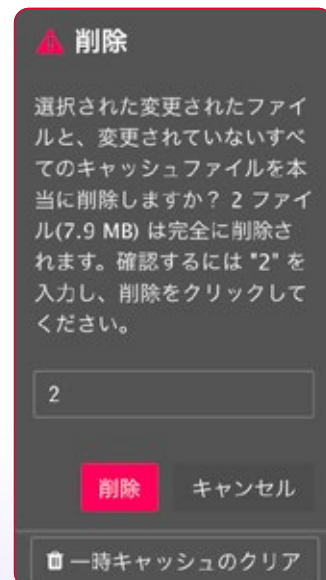
## キャッシュのクリア

キャッシュファイルを管理するには、右上のオプションメニューから「設定」を選択します。ここに「キャッシュフォルダをクリア」という機能があります。このすぐ上に、CI HUB コネクタがキャッシュフォルダを作成したパスが表示されています。②

パネルの下部には、どのローカルアセットがいつ変更されたかが表示されます。また、フォルダ内にあるアセットの数と、それらが必要とする容量も確認できます。表示を更新したい場合は、「キャッシュフォルダの更新」ボタン ③ をクリックしてください。「キャッシュのクリア」 ④ をクリックすると、フォルダのコンテンツが削除されます。

誤ってコンテンツを削除しないよう追加のセキュリティダイアログを確認する必要があります。

CI HUB コネクタ経由でアセットを配置すると、サイドカーファイルが自動的に作成され、いくつかのメタデータが含まれます。アセットがキャッシュクリア機能で削除されると、自動的に削除されます。



誤ってキャッシュフォルダを削除しないように、追加のセキュリティレベルが組み込まれています。

## チャプター 8

# Adobe Expressの設定



# Adobe Express での作業

## Adobe Expressとは？

Adobe Expressは、Adobe社が提供するオールインワンデザインツールです。チラシ、TikToks、レジューメ、リールなど、様々なタイプのコンテンツ制作を容易にします。

Adobe Expressは、Adobe FireflyによるジェネレーティブAIを搭載しており、ユーザーによる優れたアートワークの作成を容易にします。

ドラッグ&ドロップ機能により、ビデオクリップ、アートワーク、アニメーション、音楽をシームレスに統合できるなど、様々な機能を備えています。また、テンプレート、エフェクト、フォント、Adobe Stockフォトコレクションへのアクセスも可能です。

Adobe Expressには、無料版と機能やコンテンツが追加されたプレミアム版があります。

全てのテンプレート、プレミアム機能、Adobe Stockフォトコレクションへのアクセスを利用するには、有料メンバーシップが必要です。



Adobe Expressに直接アセットを取り込むには、Adobe Express用のCI HUB コネクタを使えば簡単です。

## Adobe ExpressにCI HUB コネクタをインストールする方法

Adobe Expressは、Webブラウザで直接実行することもPC上でプロダクティブウェブアプリとして実行することもできます。Adobe Expressは、Creative Cloudアプリケーション内から起動できます。



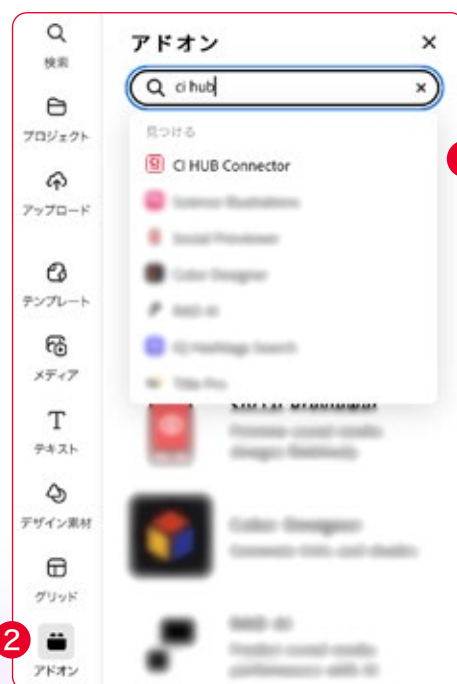
CI HUB コネクタのインストールは、まず左上にあるプラス「+」ボタンをクリックして空のドキュメントを作成し、正方形を作成するのが最適です。①

左サイドバーに「アドオン」ボタンが表示されます。②

検索バーを使用してCI HUB Connectorを検索します。③

コネクタを選択すると、簡単な概要ページが表示されます。

「追加ボタン」④をクリックして、CI HUBコネクタをAdobe Expressインスタンスに追加します。



## CI HUB コネクタにログインする

インストール後、CI HUB コネクタが直接開きます。CI HUB IDで登録またはログインすることができます。**①**

ログイン手順は、通常通りブラウザ経由で行われます。

## Adobe ExpressでのCI HUB コネクタの操作

ログイン後、サービス概要にリダイレクトされます。ここで、必要なサービスを選択することができます。

すでにCI HUB コネクタを使用しており、パスワードでサービスを保護している場合は、通常どおりAdobe Express用のCI HUB コネクタに直接読み込むこともできます。**②**

右上の「x」でサービスリストを閉じると、「プロフィールを読み込む」ボタンが表示されます。**③**

The image illustrates the process of logging into the CI HUB Connector and connecting it to Adobe Express. It shows three main components:

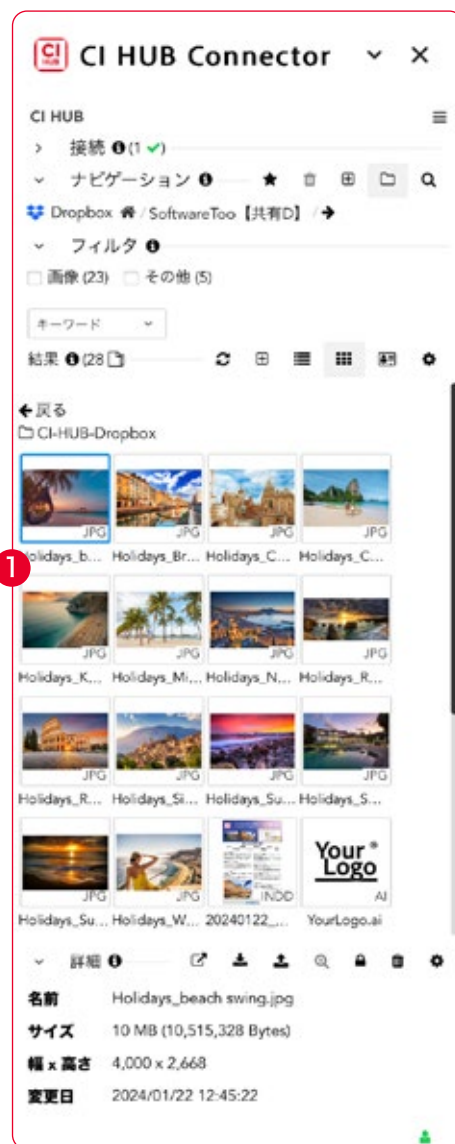
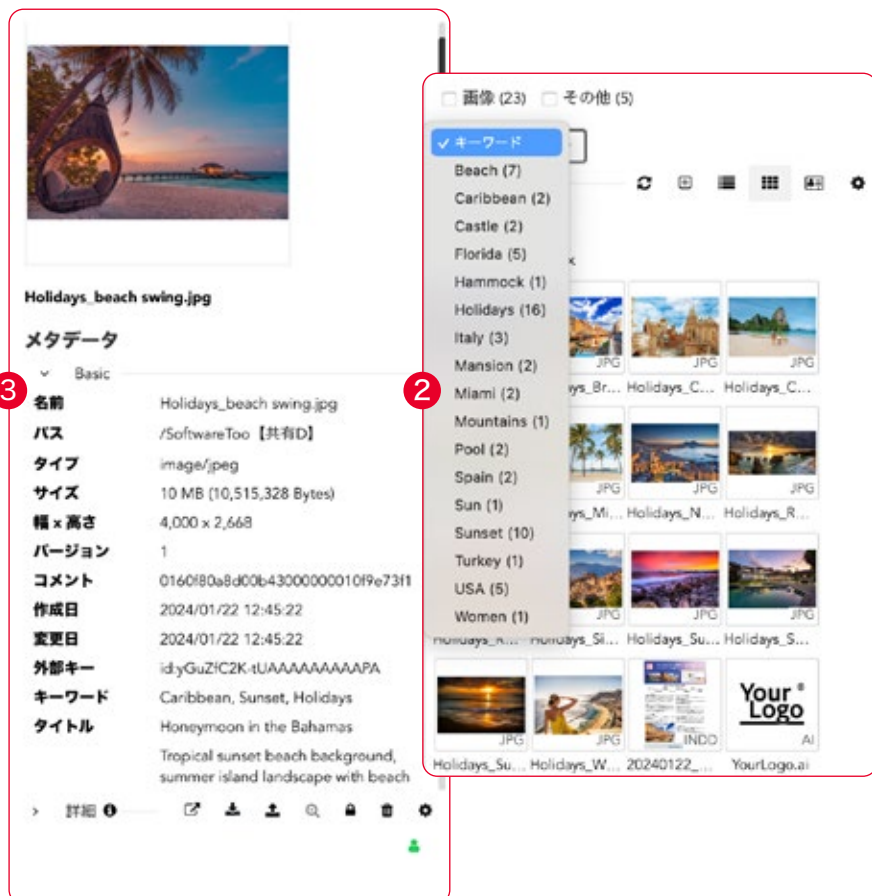
- CI HUB Connector Login Screen:** A purple-themed interface with the CI HUB logo and a 'ログイン' (Login) button. It includes instructions for logging in with a CI HUB ID and password.
- Adobe Express Interface:** A screenshot of the Adobe Express interface showing the 'プロフィールを読み込む' (Load Profile) button, which is highlighted with a red circle and a red arrow pointing towards the login screen.
- CI HUB Connector Integration Screen:** A screenshot of the CI HUB Connector interface showing the '接続' (Connect) button, which is highlighted with a red circle and a red arrow pointing towards the login screen.

これで準備が整いました。CI HUB コネクタを今まで通りお使いいただけます。

全てのアセットに直接アクセスできます。①

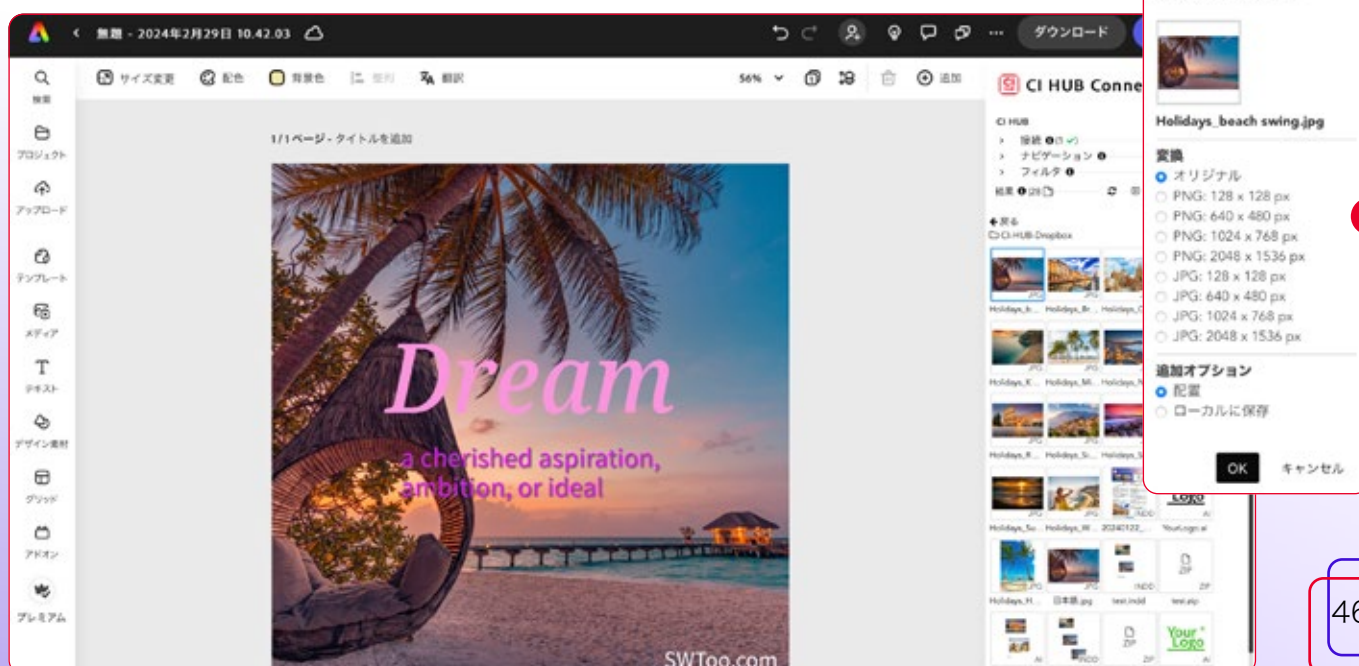
キーワードでフィルタリングできます。②

アセットに取り込まれた全てのメタデータを一目で確認することができます。③



Adobe Express用のCI HUB コネクタを使えば、画像だけでなくベクターグラフィックも挿入できます。

レンディション機能④を利用することで、JPEGまたはPNGとしてキャンバスに配置されます。

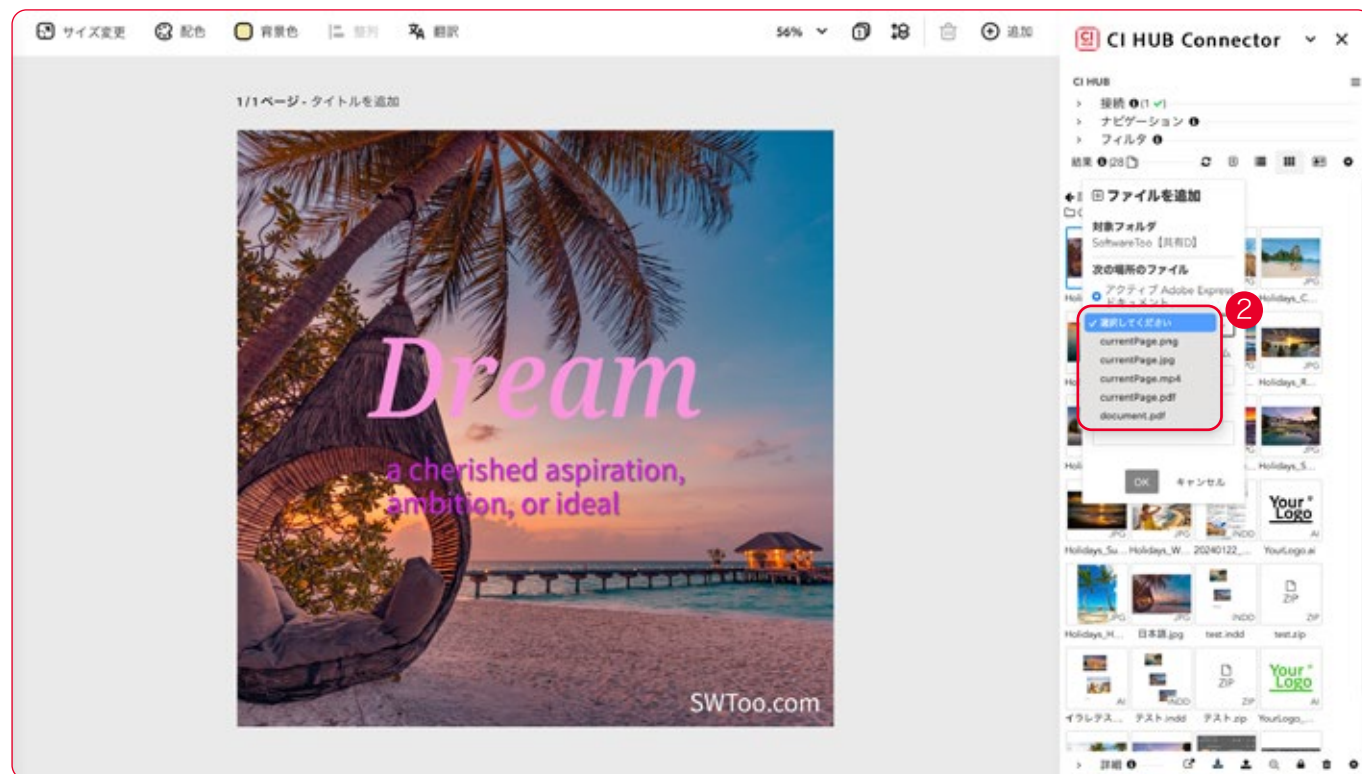




Adobe Expressからソースシステムにファイルを追加することもできます。結果メニューの右側にある「+」ボタンを押すだけです。①  
PNGやJPEGなどの画像形式でアニメーションをアップロードすることができます。また、動画ファイルとして追加することも可能です。②

結果 ① (28) ファイルを追加 ①

Adobe Express用のCI HUB コネクタを使えば、いつでもすべてのアセットにアクセスできます。



## CHAPTER 9

# FigmaとSketchの設定






# FigmaとSketchの 操作

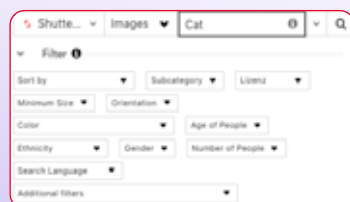
Figmaは、主にWebベースのベクターグラフィックエディター及びプロトタイピングツールですが、macOSおよびWindows用のデスクトップアプリケーションによって、オフライン機能が追加されています。プラグインのダウンロードとインストール方法は、7ページで説明しました。プラグインをインストールしたら、左上のFigmaロゴからプラグイン / CI HUB Connector にアクセスできます。CI HUB コネクタパネルもFigmaの既知の外観で表示されます。

## サービスの復旧

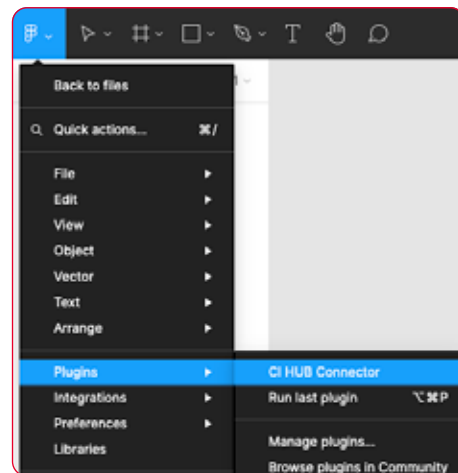
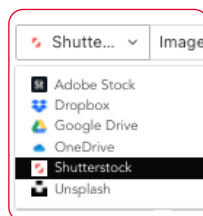
既に他のアプリケーションでCI HUB コネクタを使用し、サービスを保存している場合は、プロフィールを読み込むアイコン  をクリックし、適切なパスワードを入力することで、Figmaで簡単に設定することができます。サービスの保存と復元方法については、12ページで説明しています。保存したサービスは、Figmaで再接続されます。さらにサービスを追加したい場合は、接続の右側にある「+」アイコンをクリックしてください。「新規接続を追加」ボタンをクリックすると、さらに多くのサービスを見つけることができます。現在、約50のサービスが利用可能です。

## CI HUB コネクタの操作方法

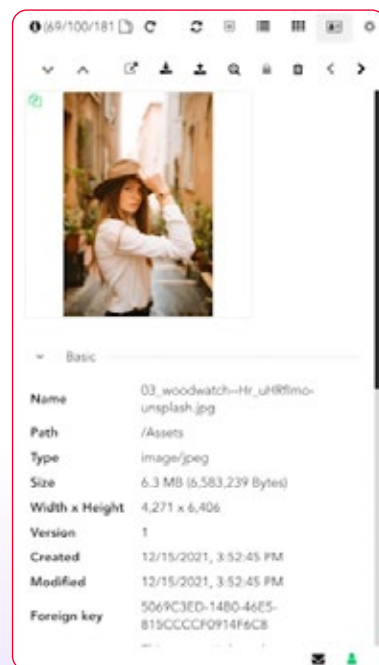
他のアプリケーションと同様に、ナビゲーションの下にあるドロップダウンリストからそれぞれのサービスを選択することで、リンクされたサービスを簡単に切り替えることができます。CI HUB コネクタは、常にサービスによって利用可能にされたもので動作します。例えば、Shutterstockに接続した場合、アセットを検索するための幅広いフィルタオプションを得ることができます。Dropboxに切り替えると、それらは完全に消えてしまいます。これは、Shutterstockがこれらのフィルタを提供しているのに対し、Dropboxは提供していないためです。検索結果は表示されます。メタデータを表示するには、アセットをダブルクリックします。CI HUB コネクタは、リスト表示、タイル表示、詳細表示を提供します。



◀ Shutterstockは、アセットを検索するために多くのフィルタオプションを提供しています。



▲ プラグインメニューからCI HUB Connectorを選択します。

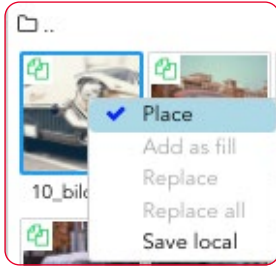


▲ 画像をダブルクリックするとメタデータが表示されます。

アカデミー



## Figmaでの画像配置




▲  
アセットをレイアウトに自由に配置します。

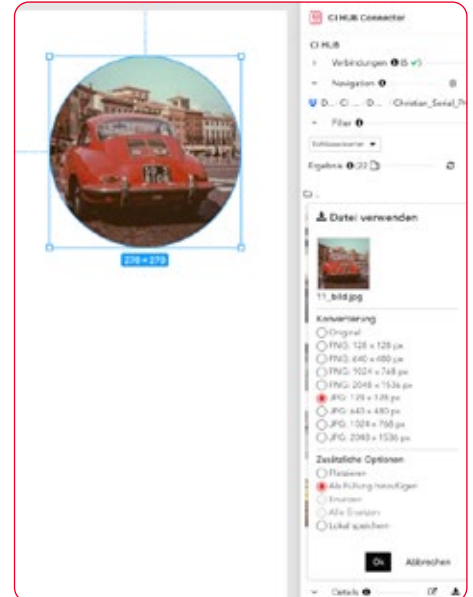
CI HUB コネクタを使用するとFigmaで画像を扱うのが非常に簡単になり、アセットを配置するためのいくつかのオプションが提供されます。画像を右クリックすると、画像を配置するためのコンテキストメニューが表示されます。

例えば、キャンバス上で要素を選択していない場合、配置コマンドの横にチェックマーク

が表示されます。ワークスペース上でフレームを選択して右クリックすると、画像を塗りつぶしとして追加するオプションがあります。DAMシステムから画像を入手した場合、そのほとんどは印刷用に最適化されています。これは、画像の解像度とデータ量が非常に大きいことを意味します。しかし、Figmaでプロトタイプを作成する場合、このような大きな画像ファイルは不利であり、必要ありません。

CI HUB コネクタは、解像度とそれに伴うデータ量を削減する簡単な方法を提供します。パネルで画像を選択し、アセットプレビューの下にある「ファイルを使用」ボタンで配置すると、変換、つまり寸法を定義することができます。このようにして、低解像度の画像を挿入することができます。オプションでPNGまたはJPEGにすることもできます。

画像の左上にある緑色のアイコン  は、画像に変換があることを示しています。このアイコンにカーソルを合わせると、現在選択されている変換を確認できます。すでに配置されている画像を選択した場合は、その画像を右クリックして、同じメニューを使って別の画像に置き換えることができます。画像がドキュメント内に複数存在する場合、CI HUB コネクタはそれらを検出し、新しい画像に置き換えます。




▲  
画像を変換して配置します。

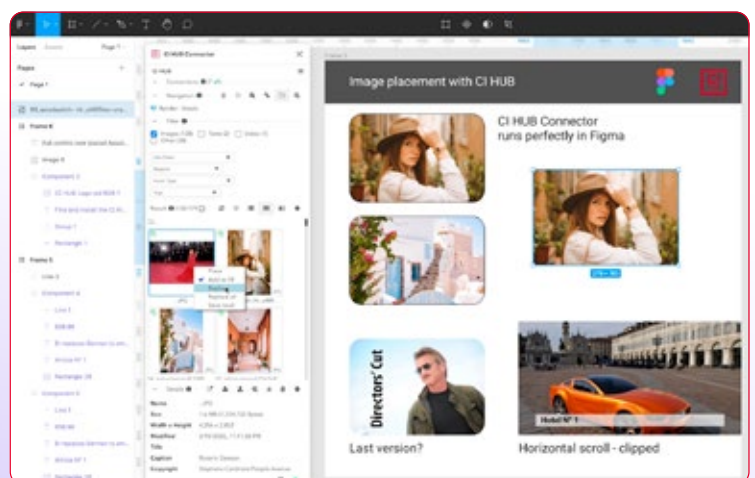


▲  
緑色のドキュメントアイコンにカーソルを合わせると、現在の変換結果が表示されます。

## 画像のバージョン管理

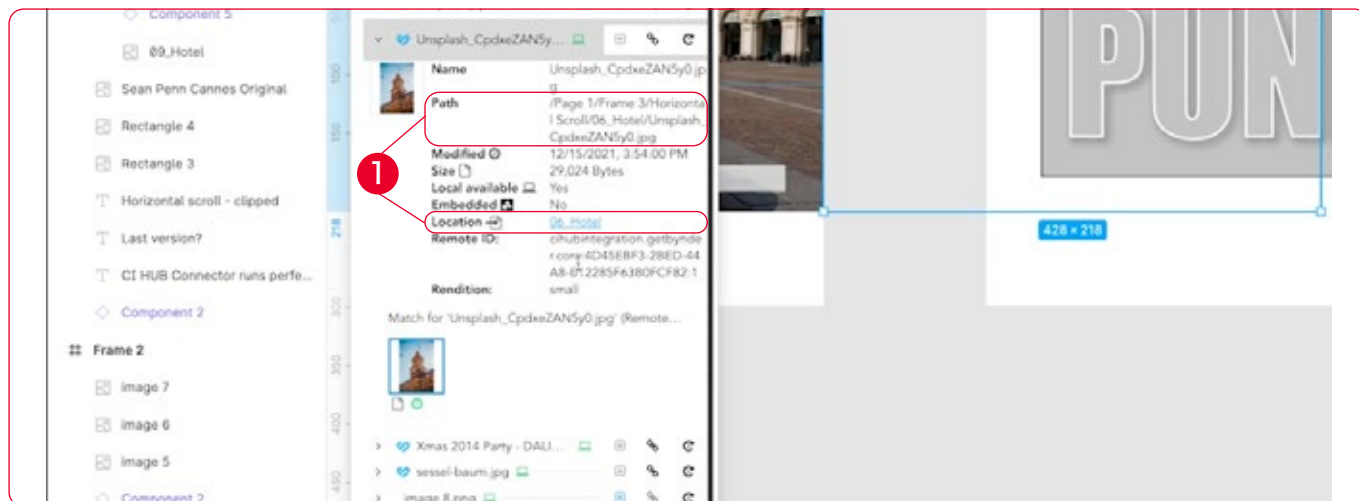
画像データベースやDAMシステム、Googleドライブのようなクラウドストレージは、何かが変更されるとアセットのバージョンを作成します。CI HUB コネクタは、リンクパネル  でアセットをチェックし、新しいバージョンの画像を表示することができます。

右クリックでも画像を置き換えることができます。▶







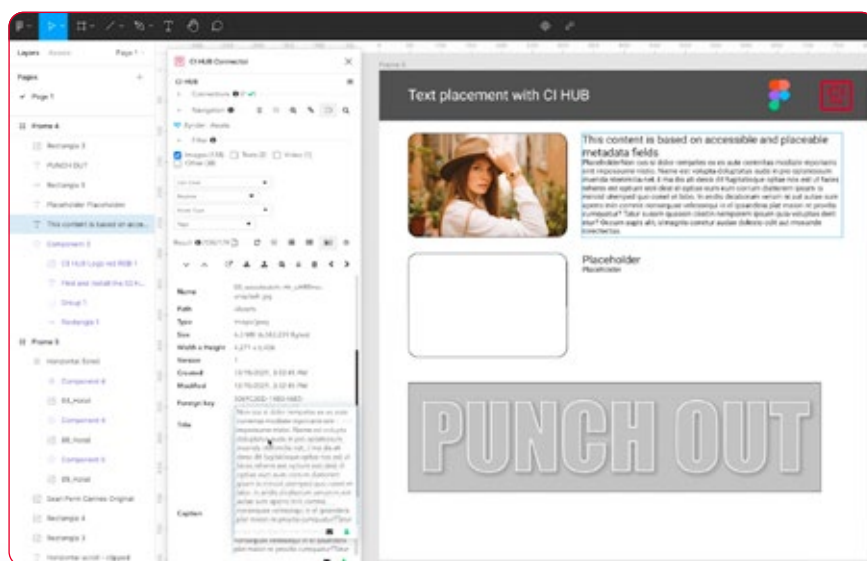


## テキストで画像を塗りつぶす

CI HUB コネクタは、常にアプリケーションの機能を使用します。画像フレームを塗りつぶすことができるように、テキストを画像で塗りつぶすこともできます。

これを行うには、対応するテキストを選択しCI HUB コネクタを介して配置したい画像を右クリックします。「塗りつぶしとして追加」オプションを使用して、それに応じて画像を配置します。

CI HUB コネクタは、表示されていない画像も検出し、ワンクリックでその画像に移動することができます。①  
これによりリンクされたアセットを完全にコントロールすることができます。



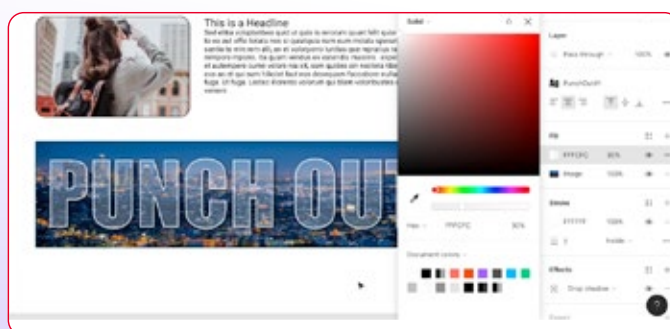
ドラッグ&ドロップを使用してメタデータを入力します。

CI HUB コネクタは、表示されていない画像も検出します。



## CI HUB コネクタとコンポーネントおよびカースタイル

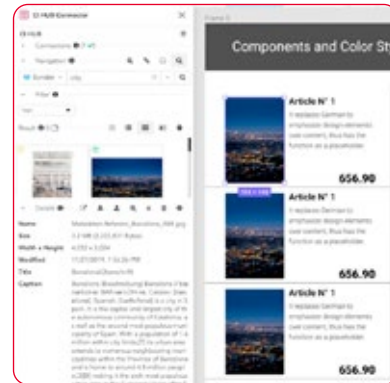
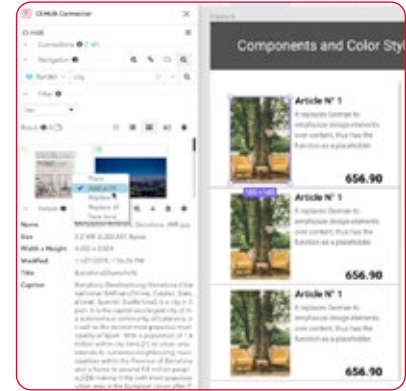
メインコンポーネントといくつかのインスタンスを作成した場合、メインコンポーネントの画像を置き換えると、インスタンスの画像も置き換わります。ここで重要なのは、「すべて置き換え」機能はインスタンスには影響しないということです。メインコンポーネントにのみ適用されます。



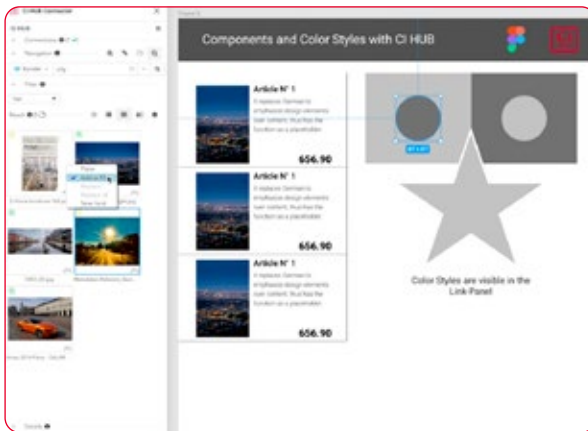


## CI HUB コネクタでカースタイルを使用する

CI HUB コネクタは、カースタイルを扱う新しいアプローチを提供します。カースタイルを定義し、フレームを割り当てると、ワンクリックで画像で塗りつぶすことができます。配置オプションとして「塗りつぶしとして追加」を使用すると、同じカラーが同じ画像で塗りつぶされます。カースタイルはチェックパネルの「場所」に表示されます。このようにして、そのようなカースタイルがどこに配置されるかを常に完全にコントロールすることができます。



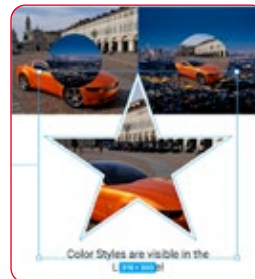
▲  
インスタンス内の画像もメインコンポーネントで置き換えます。



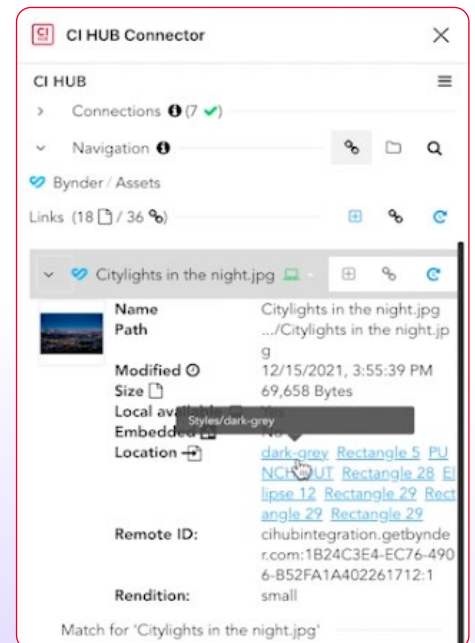
▲  
インスタンス内の画像もメインコンポーネントで置き換えます。



▲  
同じカースタイルで画像を塗りつぶします。



チェックパネルで約定を一目で確認できます。









## Sketchで作業する

最初に注意すべきことは、FigmaとSketchは、どちらもプロトタイピングツールである為、非常に似ているということです。このパートでは、また似ている部分をすべてカバーするのではなく、代わりに相違点を説明します。

Sketchで作業する場合、まずCI HUB コネクタをインストールする必要があります。その方法は、7ページに記載されています。プラグインをインストールしたら、メニューのPlugins / CI HUB Connectorで見つけることができます。

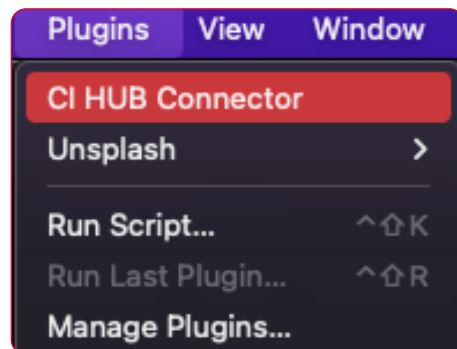
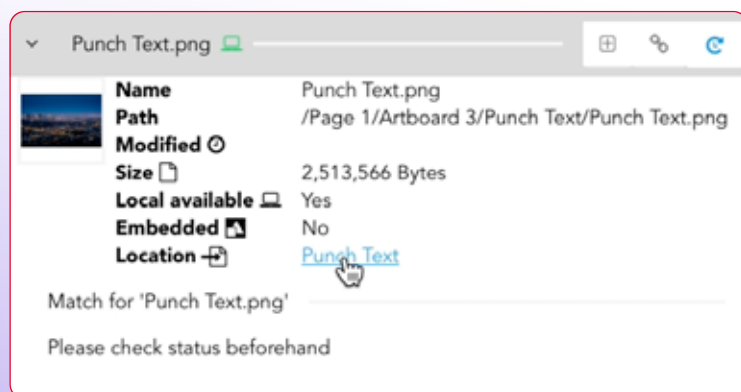
FigmaやCI HUB コネクタをサポートする他のアプリケーションと同様にSketchでも「プロファイルを読み込む」ボタン  をワンクリックするだけで、保存したサービスを有効にすることができます。これについては、12ページで詳しく説明しています。その後、サービスは再び接続されます。もちろん、「新規接続を追加」ボタンで新しいサービスを追加することもできます。 

CI HUB コネクタはフローティングパネルで、自由に動かすことができます。Sketchウィンドウの右か左に配置し、Sketchウィンドウを小さくドラッグするのがベストです。そうしないと、作業を始めるとすぐにCI HUB コネクタがSketchウィンドウの後ろに消えてしまいます。

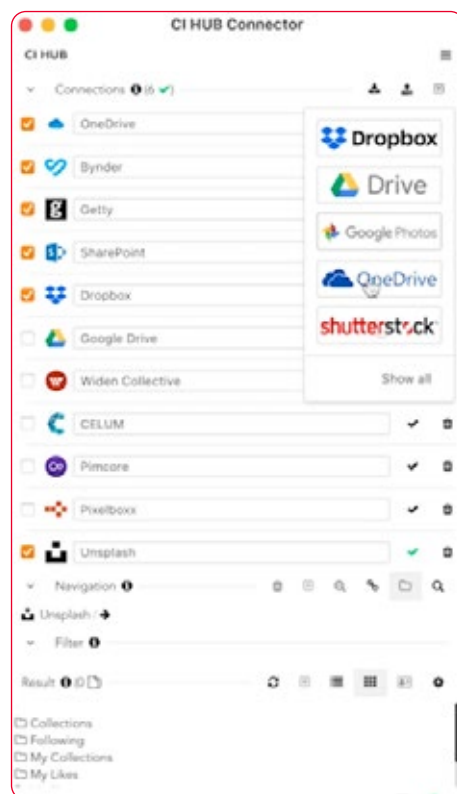
## 画像にスタイル名を使用する

Sketchでは、Figmaと同様に、テキストに画像を割り当てることができます。この外観はテキストスタイルとして保存できます。Figmaのカラースタイルと同様に、テキストスタイルは画像のメタデータに表示されます。これにより、どの画像がどのスタイルに割り当てられているかが一目でわかります。

CI HUB コネクタは、各画像について、それがどのテキストスタイルに割り当てられているかを表示します。



メニューバーからプラグインを見つけます。



CI HUB コネクタでサービスを有効にします。



テキストスタイルで画像を使用します。

## CHAPTER 10

# WordPressの設定



# あなたのアセットを WordPressに

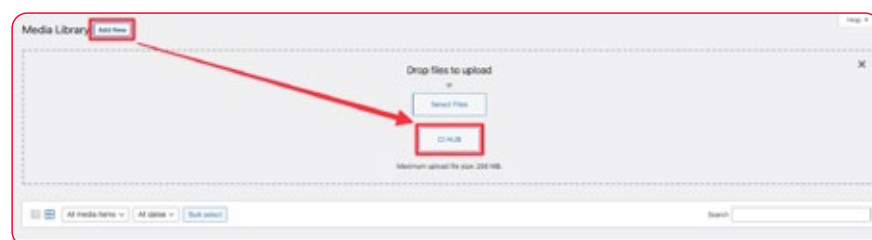
現在、Webサイトを作成する上で、WordPressを避けては通れません。しかし、コンテンツ管理システム (CMS) が提供するものは、単なるWebサイト管理ではありません。少しの知識と努力で、コンテンツファースト戦略のハブとしても機能します。AdobeやOfficeのプログラムで既に使用しているDAM、PIM、ストック、クラウドストレージのアセットを、WordPressのメディアライブラリに直接ロードできたら便利だと思いませんか？

CI HUB コネクタを使えば、まさにそれが可能です！

## WordPressでCI HUB コネクタを使用する

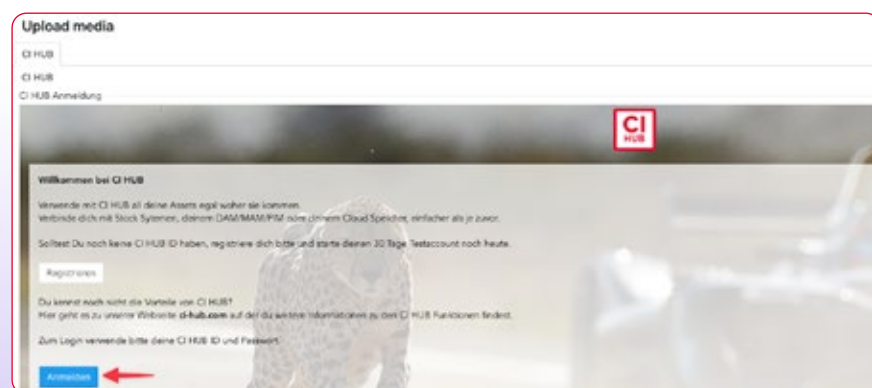
プラグインをインストールしたら、メディアライブラリに追加されます。これは左側のメニューにあります。 

「新規追加」をクリックすると、メディアをアップロードするウィンドウが表示されます。CI HUB コネクタのプラグインが有効な場合、2番目のボタンが表示されます。これをクリックするとCI HUB コネクタが起動します。



CI HUB コネクタがインストールされると、メディアライブラリに対応するボタンが表示されます。

通常通りログインするか、新規アカウントを登録してください。



◀ 今すぐ登録するか、通常どおりログインしてください。

ログイン後、12ページで説明した保存した接続を読み込むことも、新しい接続を設定することもできます。

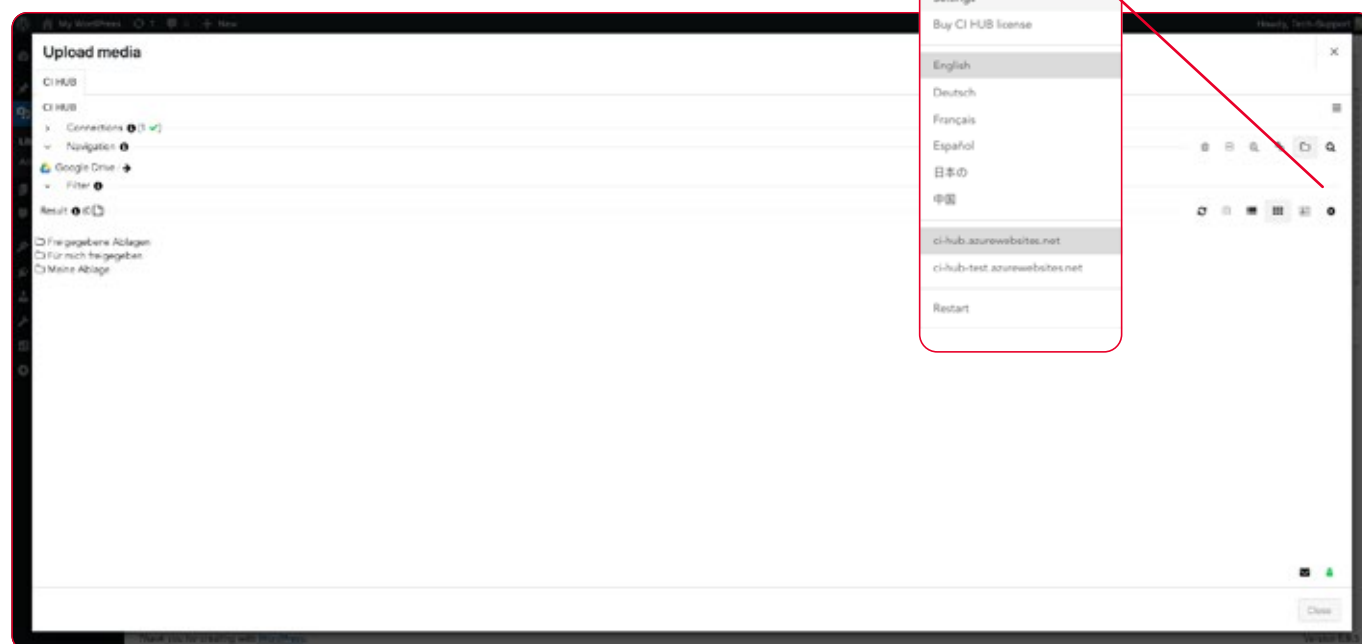
既にCI HUB コネクタに慣れ親しんでいる方であれば、WordPress用のコネクタの使い方を見つけるのに問題はないでしょう。

## CI HUB コネクタを追加する


左側のメニューにある「プラグイン」をクリックし、「新規追加」をクリックします。右側の検索フィールドで「CI HUB」と検索してください。検索結果にプラグインが表示されるので、インストールして有効化します。



唯一の違いは、パネルが常に全面に引き伸ばされることです。これはWordPressの制限です。



## CI HUB コネクタの設定

右上のハンバーガーメニュー  をクリックすると、様々な機能にアクセスできます。パネル情報、サポートリンク、ライセンス購入リンク、言語変更、コネクタの再起動があります。「設定」メニューでは、インターフェイスの拡大・縮小を調整することもできます。

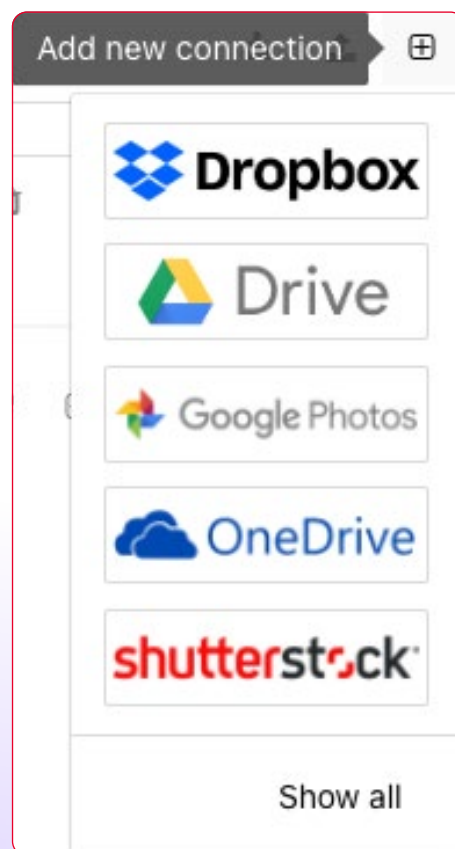
▲  
右上には様々な設定へのアクセスがあります。

## 新しい接続を追加する

新しい接続を追加したい場合は、CI HUB コネクタで既に慣れているのと同じ方法で行うことができます。一度接続を設定すると、それらはCI HUB コネクタに表示され、完全にアクセスできるようになります。

## WordPress用のCI HUB コネクタに移動する

CI HUB コネクタの優れた点は、どのアプリでも同じユーザーインターフェイスでアセットを利用できることです。例えば、AdobeプログラムでCI HUB コネクタの使い方を知っていれば、WordPressでの使い方も知っていることになります。



CI HUB コネクタで接続を設定します。▶

最初のトグルは「接続」です。①

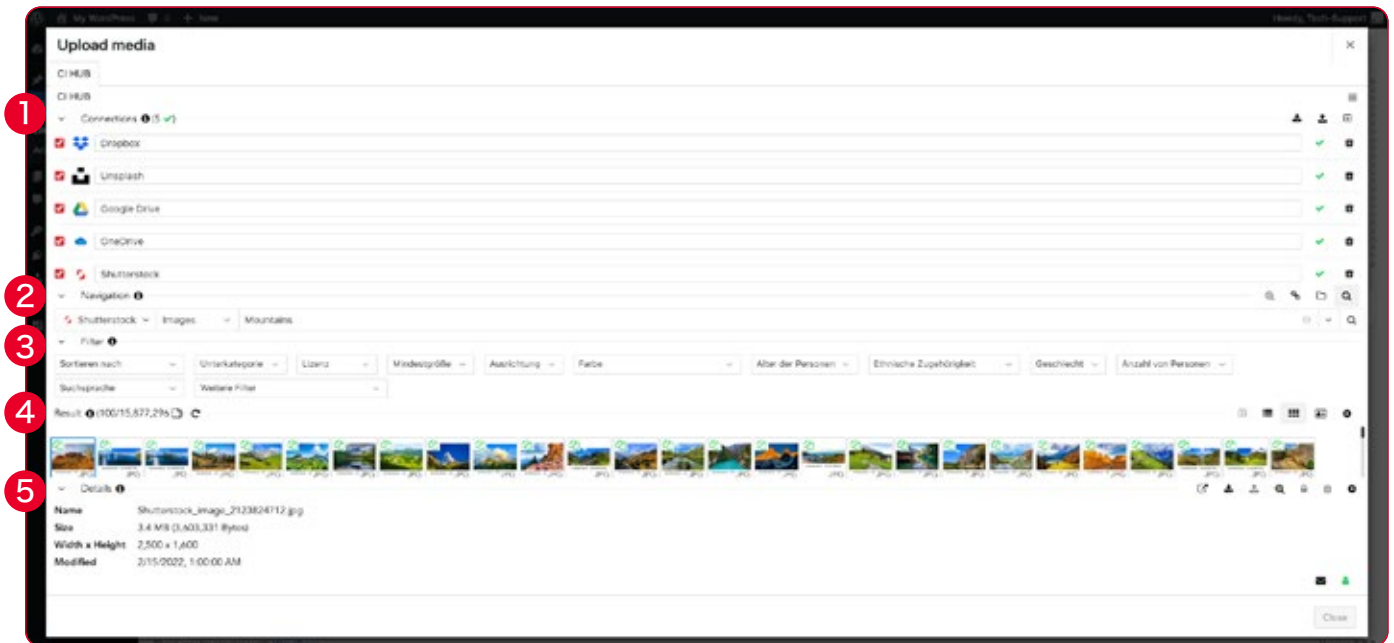
ここには、接続されているすべてのシステムとクラウドストレージの概要が表示されます。その下には「ナビゲーション」②があり、サービスの構造を移動することができます。

次のトグルは「フィルタ」です。③

ここには、接続が提供するすべてのフィルタオプションが表示されます。何も表示されない場合は、フィルタが提供されていない可能性があります。アセットを検索すると、検索結果が次のセクション（結果）に表示されます。④

その下に「詳細」があります。⑤

詳細には、サムネイルと保存されたメタデータが表示されます。



CI HUB コネクタは、さらなる機能性を提供します。ナビゲーションの右（左から右）にあるアイコンを使って、以下のオプションをご利用いただけます：

WordPress用

CI HUB コネクタの概要



**フォルダを削除：**現在入っているフォルダを削除します。これはフォルダが空の場合のみ機能します。

**フォルダを追加：**ディレクトリに新しいフォルダを作成します。

**類似検索：**接続されているストックシステム（Adobe Stockなど）で、選択したアセットに類似した内容の画像を検索します。

**リンク：**ここでは、ドキュメントにリンクされているすべてのアセットの概要と現在のステータスを確認できます。

**フォルダナビゲーション：**フォルダナビゲーションが表示されない場合は、このボタンでいつでも戻ることができます。

**検索：**強力なCI HUB コネクタの検索は、あなたのアセットを検索したり、UnsplashやAdobe Stockのようなストックイメージプロバイダの特定の画像を検索するのに役立ちます。



詳細エリアの右側にあるナビゲーションには、以下のオプションがあります（左から右へ）：



**フォルダを再読み込み**：フォルダを再読み込みします。

**ファイルを追加**：サービスに新しいアセットを追加します。

**リスト表示**：アセットをリスト表示します。

**タイル表示**：アセットをタイル表示します。

**詳細表示**：アセットを詳細表示します。

**設定**：設定で様々な調整ができます。概要のフォルダを非表示にすることができます。①

これは、構造内に非常に多くのフォルダやアセットがある場合に役立ちます。タイル表示では、アセット名を非表示にしたり、表示される名前のソースをカスタマイズしたりするオプションがあります。②

コンバージョンノートは、アセットのサムネイルの左上にある小さな緑色のドキュメントアイコンです。このアイコンにカーソルを合わせると、アセットが配置されたピクセル比率が表示されます。これが何に役立つかは後で説明します。ここで、表示と非表示を切り替えることができます。③

プレビューサイズでは、アセットプレビューのサムネイルサイズを変更できます。④

アセットを選択して詳細表示を有効にします。メタデータに加えて、その右側に別のメニューが表示されます。



**ブラウザで開く**：システムメーカーが提供するWebビューでアセットを開きます。

**ファイルを使用**：選択したアセットをレイアウトで使用します。

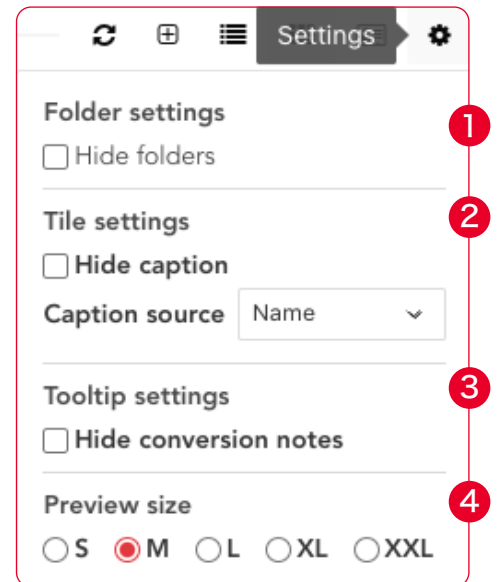
**ファイルを更新**：アセットを接続されたシステムに再度アップロードします。

**類似検索**：アクティブなデータベース内の類似アセットを検索します。これを行うには、CI HUB コネクタで目的のアセットを選択し、検索を開始します。

**アセットをロック**：選択したアセットをロックします。ロックされたアセットの取り扱いは、接続されたシステムの仕様に基づいています。そのため、接続しているシステムのドキュメントを参照してください。

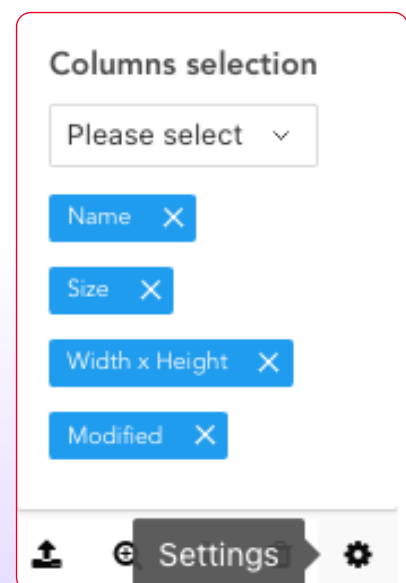
**アセットの削除**：選択したアセットを削除します。

**設定**：ここでは、表示カテゴリーを追加したり、削除したりすることができます。



詳細ウィンドウの設定

カラムの追加と削除。



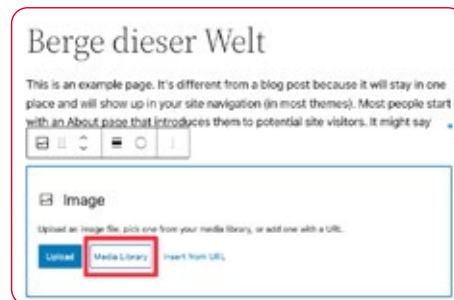
# WordPressでアセットを使用する

WordPress用のCI HUB コネクタの概要をご理解いただいたところで、次に使い方を説明します。

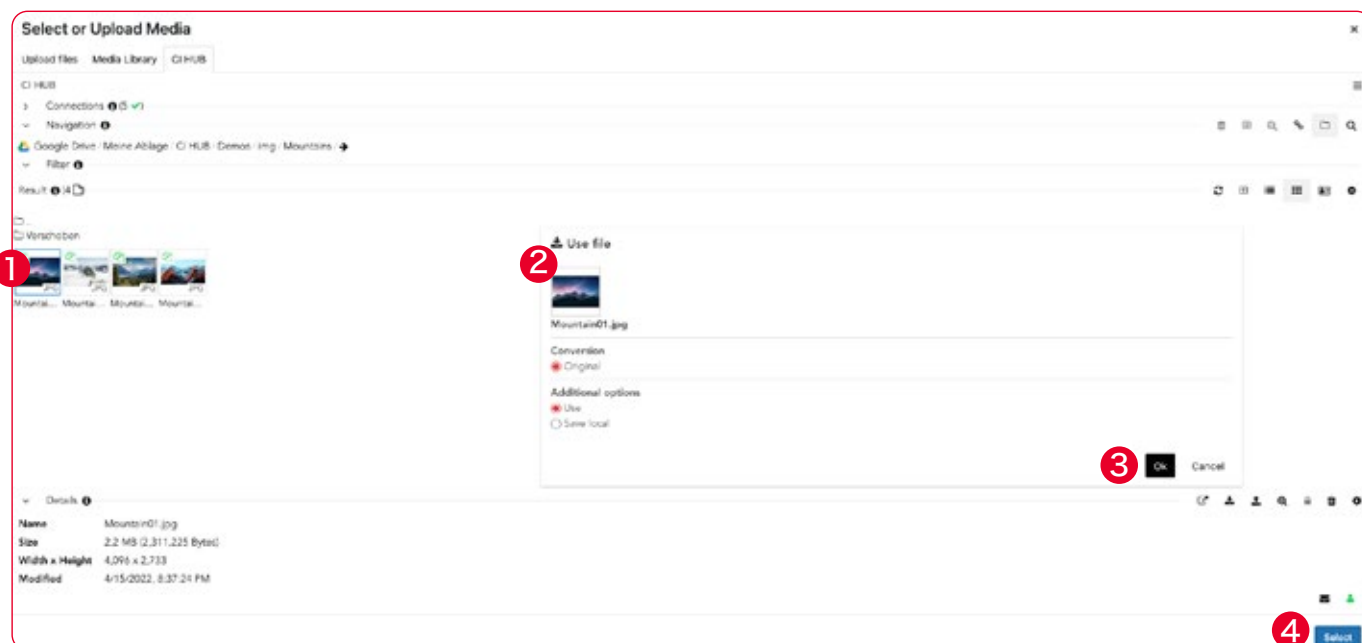
## WordPressにアセットを追加する

WordPressで作業する場合、ローカルにホストし、メディアライブラリ経由でサイトで使用したいすべてのアセットをロードする必要があることを知っています。CI HUB コネクタはこれを変更しません。

例えば、Google DriveやDropbox、Unsplashにあるアセットにメディアライブラリ経由で直接アクセスすることができます。これにより、印刷物やマーケティング文書で使用しているのと同じアセットにアクセスすることができます。

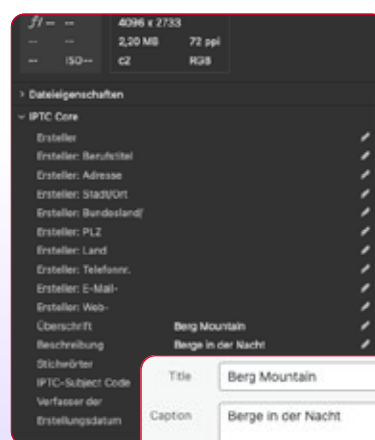


▲ CI HUB コネクタを使えば、WordPressにアセットを追加するのも簡単です。  
▼



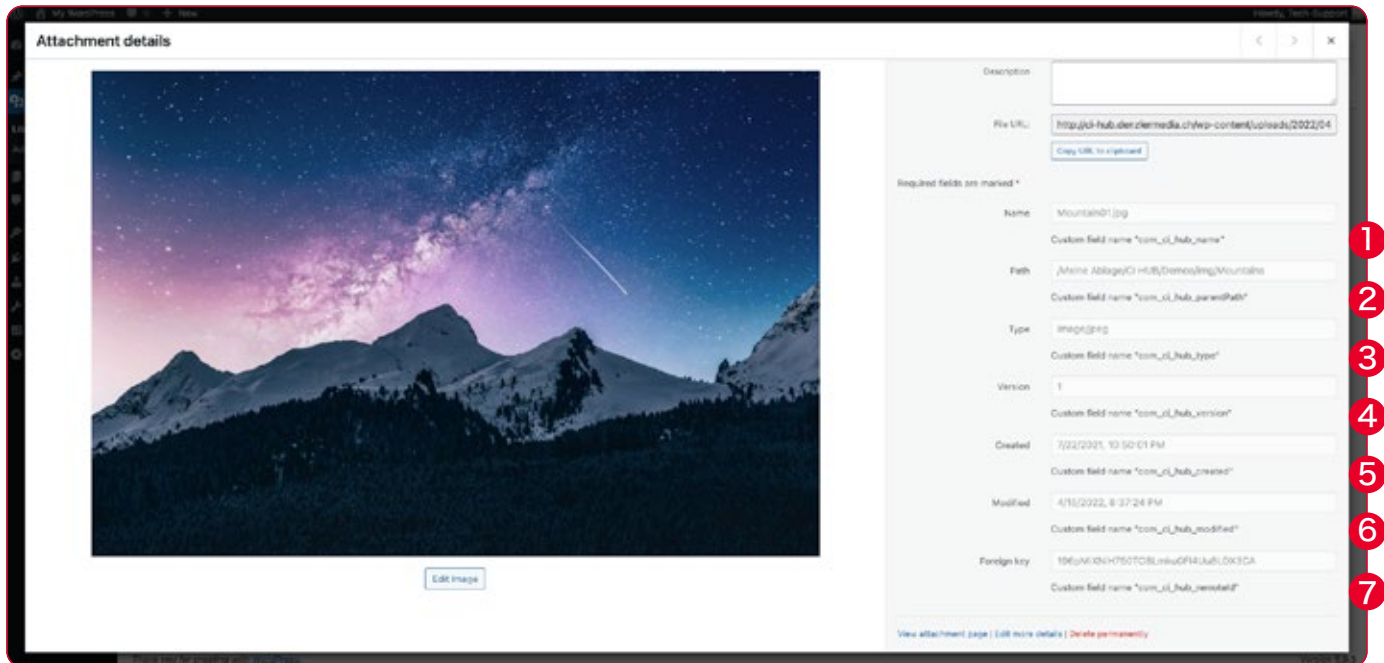
アセットをWordPressのページに挿入したい場合は、メディアライブラリをクリックし、CI HUB コネクタ経由でアセットを検索します。アセットを選択し ①、「ファイルを使用」をクリックします。② 開いたダイアログで、変換を入力し、「使用」を選択します。

「OK」 ③ で確認し、「選択」 ④ をクリックしてアセットをページに挿入します。これでアセットがメディアライブラリに読み込まれ、ページまたは投稿に配置されます。アセットに記入されたメタデータがある場合、これも同時に含まれます。例えばタイトルや説明文などです。CI HUB コネクタは、メディアライブラリに素敵な追加情報を追加します。ライブラリのアセットをクリックすると、右側にカスタムフィールドが表示されます。



▲ メタデータも即座に適用されます。  
▼

CI HUB コネクタは、WordPressに  
素敵な顧客フィールドを追加します。



- ① 有効なイメージ名、② アセットをダウンロードしたサービス上のパス、③ イメージタイプ、④ バージョン、⑤ 作成日と⑥ 変更日、⑦ Foreignキー が表示されます。

メタデータはターゲットシステムに依存するため、カスタムフィールドは多かれ少なかれ存在します。

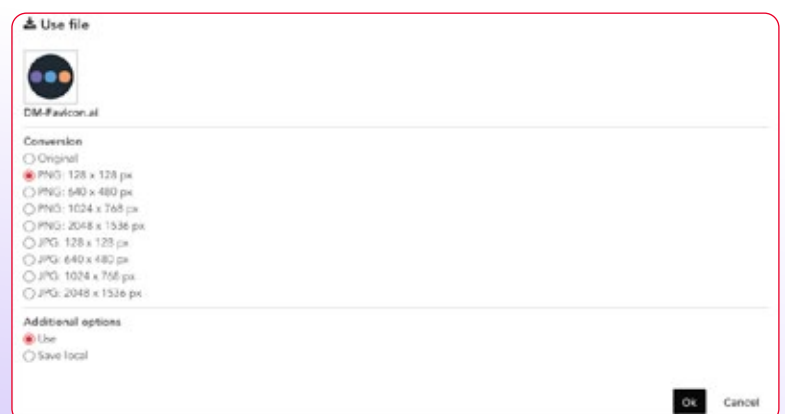
### 「外部キー」とは？

これは、Dropboxなどターゲットシステムでアセットを一意的に識別するIDです。

## WordPressにベクターデータを追加する

CI HUB コネクタのもう一つの利点は、Adobe IllustratorやEPSファイル等のベクターデータをJPEGやPNGとして個別に保存する必要がないことです。CI HUB コネクタはアセットを「変換」として配置するオプションを提供します。変換は、異なるピクセルアスペクト比のPNGまたはJPEGとしてアセットを表示する可能性を提供します（Dropboxなどのシステムによって機能が提供されている場合）。この方法で、中間ステップなしにWordPressで直接ベクターグラフィックスをマッピングすることができます。これは非常に便利で時間の節約になり、データを重複して保存する必要がありません。

ベクターファイルをWordPressに直接配置するには、変換を使用します。



# WordPressの チェックパネル

Adobe Creative CloudのCI HUB コネクタをお使いの方は、チェックパネルの利点と可能性はすべてご存知でしょう。CI HUB コネクタは、この機能を可能な限りWordPressにもたらしめます。

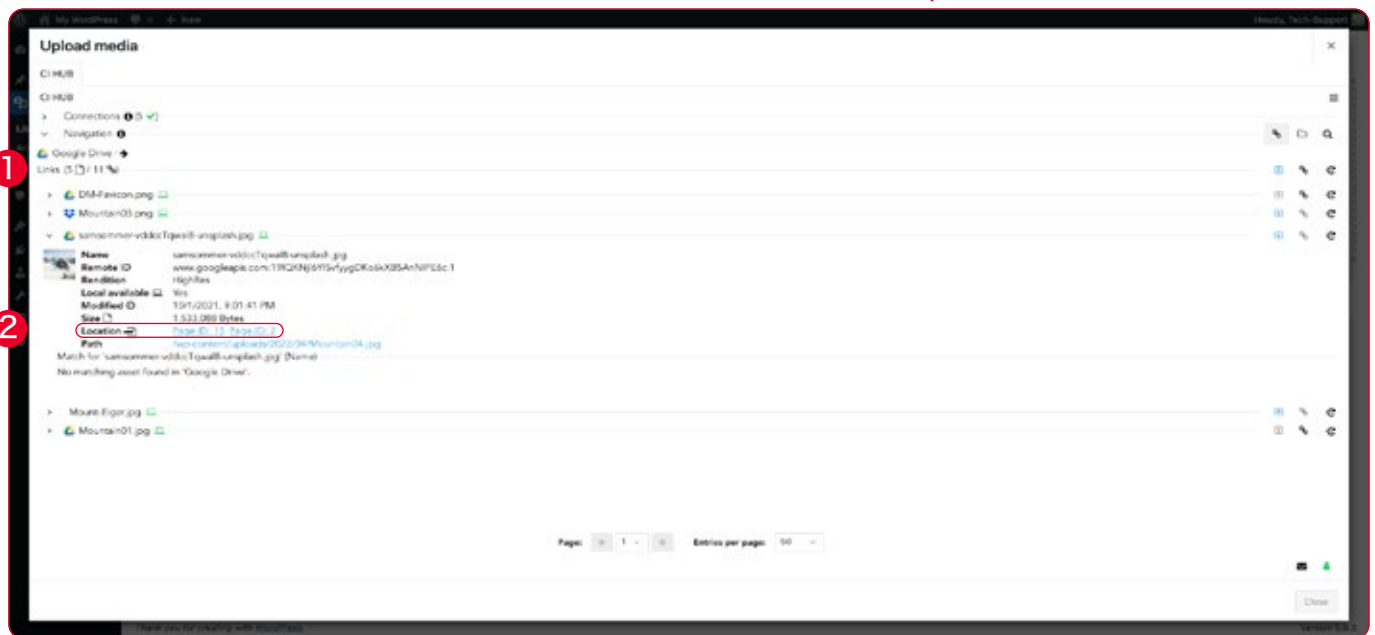
チェックパネルを使用するには、メディアライブラリをクリックし、「新規追加」をクリックします。

ここにCI HUB コネクタのボタンがあります。

次に、リンクアイコンをクリックしてチェックパネルに移動します。

ここで、CI HUB コネクタの有無にかかわらず、WordPressに配置したすべてのアセットのリストが表示されます。①

チェックパネルは、アセット名の後ろにあるアイコンを使って、アセットがどのシステムから配置されたかを表示します。



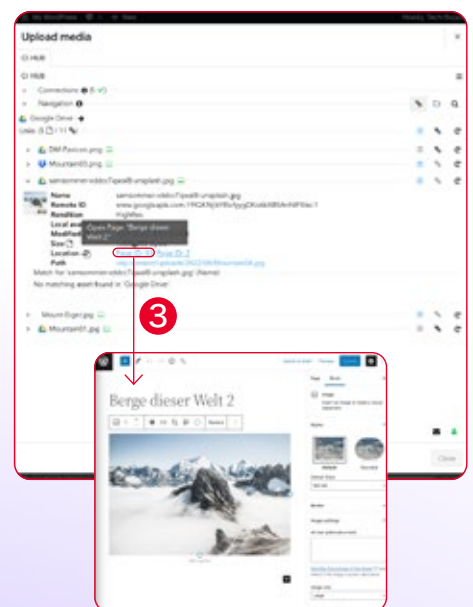
アセット名の後ろにあるアイコンは、どのシステムから配置されたかを示しています。ライブラリに定期的に読み込まれているメディアオブジェクトには、名前の前にアイコンはありません。

Adobeプログラムのチェックパネルと同様に、現在のシステムに不足しているアセットをアップロードすることができます。

## ワンクリックでアセットを検索

WordPress用のCI HUB コネクタの非常に優れた機能は、チェックパネルで、あなたのアセットが、どのページや投稿に配置されているか、また、それらが使用される頻度まで確認できることです。②

「場所」の項目にカーソルを合わせるだけで、そのアセットがリンクされている場所が表示されます。リンクをクリックすると、その投稿やページに直接ジャンプします。③

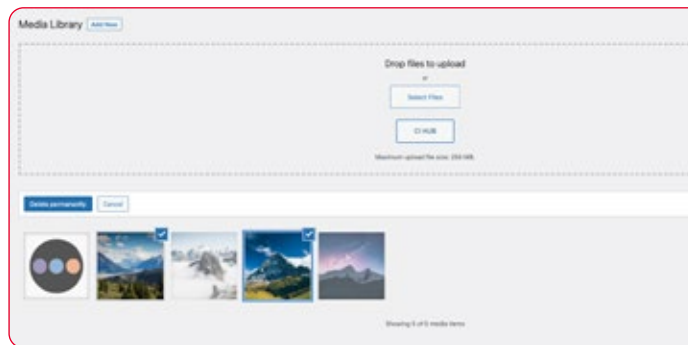




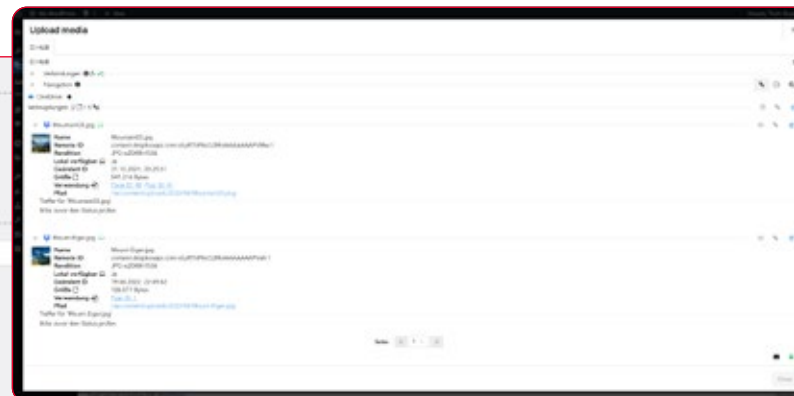
チェックパネルには、WordPressにはないアセットの詳細も表示されます。アセット名、リモートID、レンディション（変換）を見ることができます。

更新日、アセットサイズ、どの投稿にアセットがあるか、WordPress内にアセットがあるパスも確認できます。

チェックパネルの特徴は、プラグインで配置されたすべてのアセットを表示できるだけでなく、選択したアセットだけを表示できることです。メディアライブラリでアセットを事前に選択し、チェックパネルに表示するアセットをコントロールすることができます。これで、事前に選択したアセットだけが表示されます。



チェックパネルでは、アセット情報を完全にコントロールすることができます。



## ショートコードを使ってメタデータを配置する

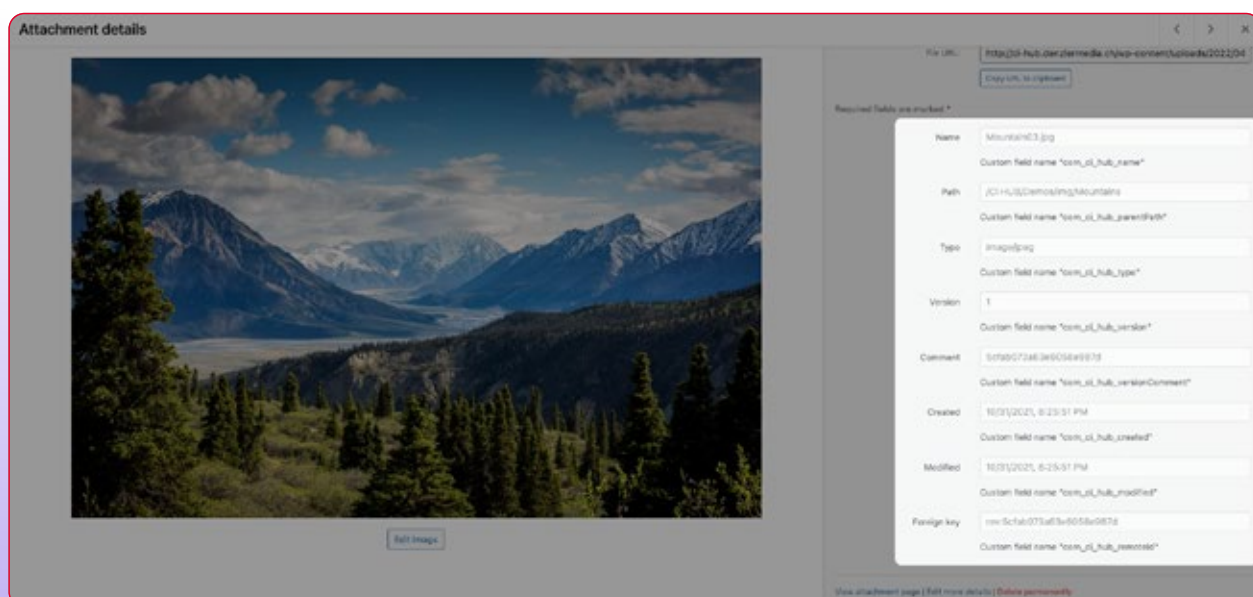
CI HUB コネクタは、CI HUB メタデータショートコードを使用してメタデータにアクセスし、表示する可能性を提供します。

これは、WordPress用のCI HUB コネクタでも動作します。

必要なのは添付ファイルのIDだけで、あとは任意のメタデータフィールドを扱うことができます。

カスタムフィールド名はメディアライブラリの添付ファイルの詳細表示で確認できます。

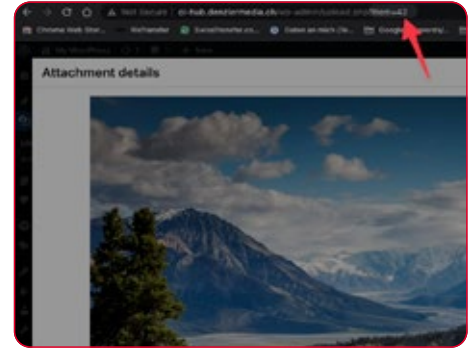
アセットカスタムフィールドはメディアライブラリで確認できます。





## ポストIDの見つけ方

アセットの投稿IDを取得するには、メディアライブラリに移動し、詳細表示に切り替えます。すると、アセットのURLにIDが表示されます。ここから、投稿IDを読み取ることができます。最も重要な情報が揃ったら、ショートコードを作成します。以下の例では、ライブプレビューが可能なElementor SiteBuilderを使用しました。必要であれば、Elementor SiteBuilderをインストールし、チュートリアルをフォローアップするWordPressページを作成してください。



投稿のURLから投稿IDを検索します。

## ショートコードの作成

アセットをページに配置しメタデータを表示したい場合、ショートコードを使用してこれを行うことができます。

ショートコードの名前は「cithub\_metadata」で、WordPressから使い慣れたように使用できます。あなたのニーズに応じて、囲むか自分で囲みます：

`[cithub_metadata ]`

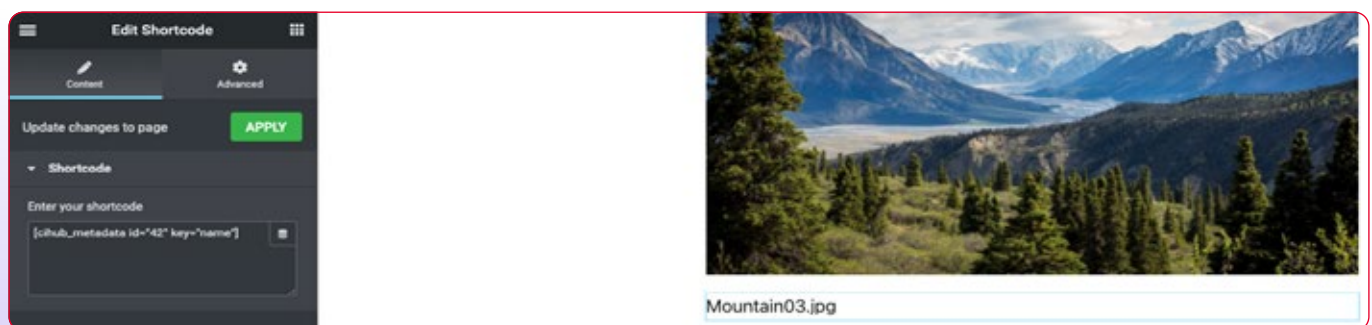
添付ファイルの投稿IDを入力します：

`[cithub_metadata id="42" ]`



これで、Elementorからメタデータフィールドの名前が必要であるという直接のフィードバックが届きます。この例では、画像名を使用します。次のように追加します：

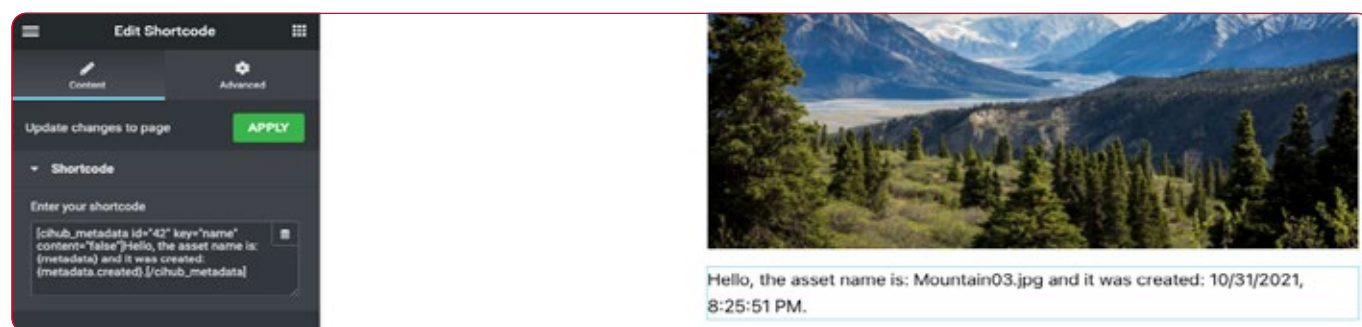
`[cithub_metadata id="42" key="name"]`



これで、名前が取り込まれたことがわかります。このショートコードでは、投稿IDとキーの値を、あなたのニーズに合わせて変更することができます。これは最もシンプルなショートコードです。

必要であれば、もっと難しいフォームを作成することもできます：

[cihub\_metadata id="42" key="name" content="false"]Hello, the asset name is: {metadata} and it was created: {metadata.created}[/cihub\_metadata]



ショートコードとアクションの使い方の詳細は、WordPressストアのプラグインページでご覧いただけます。

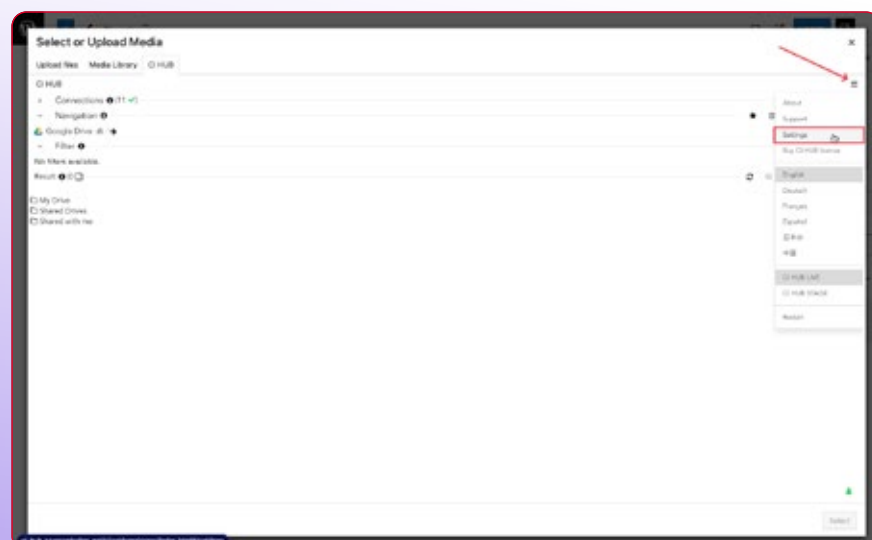
## Altテキストマッピング

インターネットにおけるアクセシビリティを考えるなら、不可欠な属性は代替記述テキストであることは注目に値します。このテキストはスクリーンリーダーで読みやすく、視覚障害者に画像コンテンツを音声で読ませることができます。優れたaltテキストは、編集チームによって事前に作成されるのがベストです。そうすれば、レイアウトやWeb用に画像を入手したときに、すでにテキストがアセットに割り当てられています。WordPressを使用している場合は、別のメタデータフィールドにaltテキストを入力することができます。

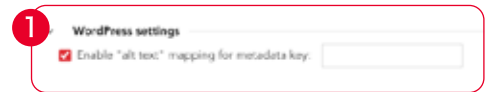
アセットの数にもよりますが、これはかなりの労力になります。そこで便利なのが、WordPress用のCI HUB コネクタの「Altテキストマッピング」機能です。これを使用して、システムのメタデータフィールドの内容をWordPressのaltテキストフィールドにマッピングします。

### Altテキストマッピングを有効にする

この機能を有効にするには、WordPressバックエンドの「メディア」タブに移動し、CI HUBコネクタにアクセスしてください。右上のハンバーガーメニューをクリックして設定を開きます。

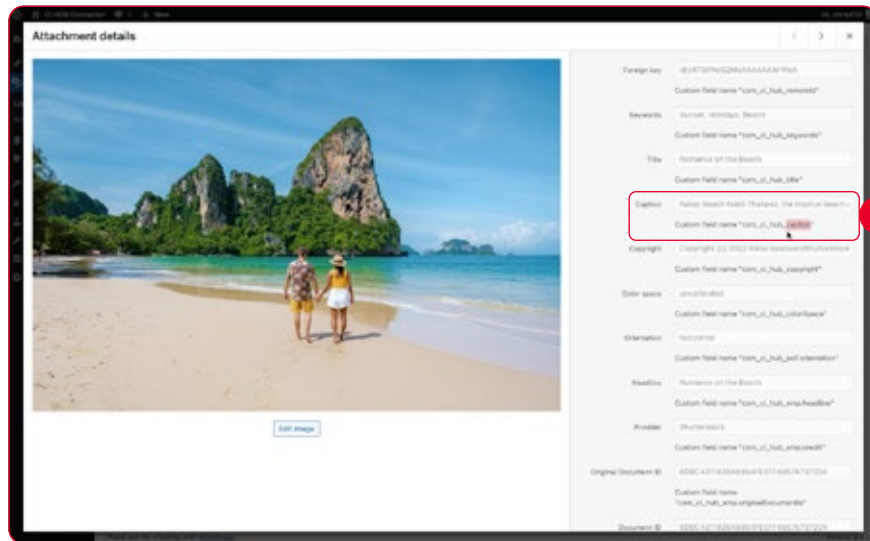


設定の中で、「Enable “alt text” mapping for the metadata key」というタイトルのチェックボックスがページの一番下にあります。有効化後、以下のテキストフィールドにカスタムフィールド名を入力してください。①



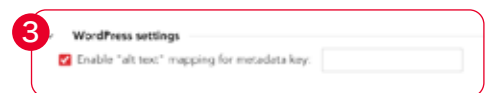
## メタデータキーのを見つけ方

ソースシステム内の情報を見るかWordPress用のCI HUB コネクタを使ってメディアライブラリに置いたファイルを見ることができます。画像をクリックすると、右側にその画像に関する情報が表示されます。少し下にスクロールすると、CI HUB コネクタのカスタムフィールドが表示されます。

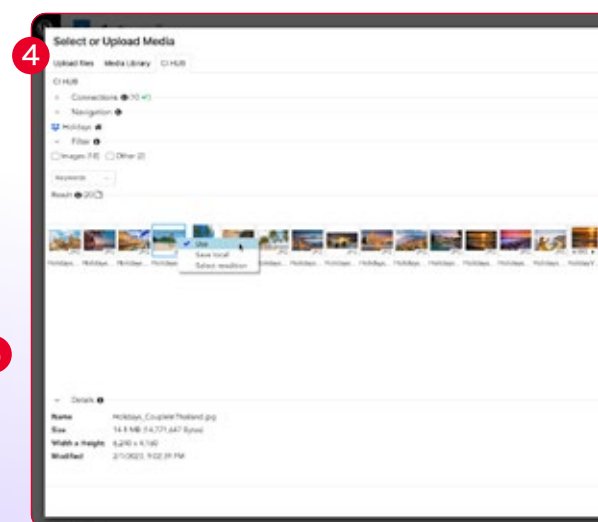


この例では、キャプションフィールドをWordPressのaltテキストフィールドにマッピングしたいと考えています。

これを行うには、カスタムフィールドの名前が必要です。キャプションボックスのすぐ下にあります。「com\_ci\_hub\_」の後の部分「caption」のみが必要です。② この部分がセッティングに入ります。③



CI HUB コネクタ ④ を介してWordPressのページにアセットを配置すると、キャプションのメタデータフィールドのテキストがWordPressのaltテキストフィールドに自動的にマッピングされます。⑤



## チャプター 11

# SharePointの設定



# SharePointに アセットを取り込む

Microsoft SharePointは、企業が情報やデータを安全に共有するための中心的なハブです。Webサイトを作成し、チームやワークグループのコラボレーションを組織することができます。

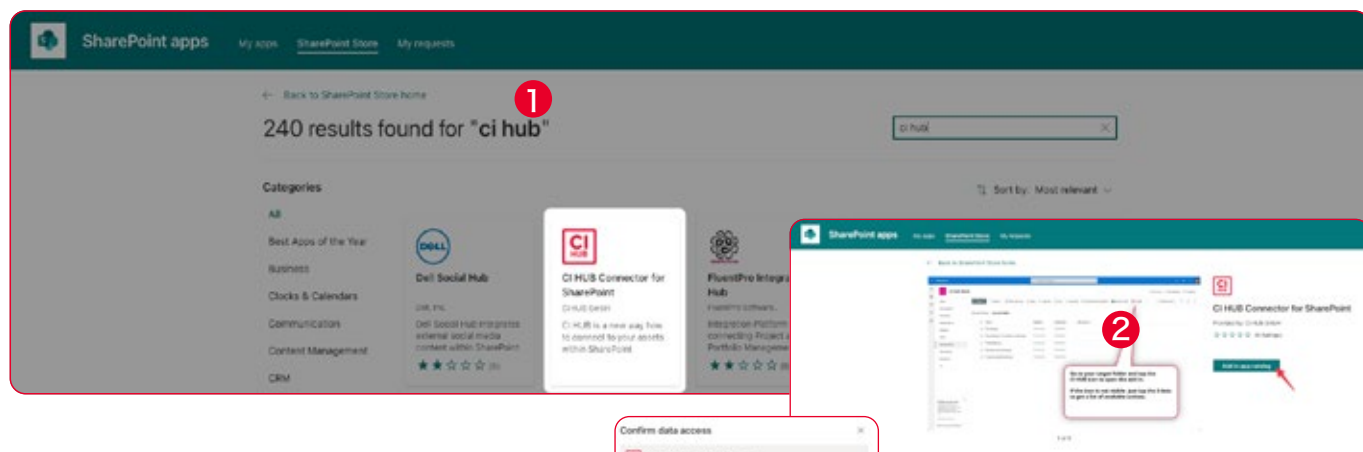
SharePoint用のCI HUB コネクタのおかげで、すべてのアセットをサイトに直接読み込むことができます。CI HUB コネクタは、個々のサイトまたはテナント全体にインストールすることができます。

## SharePoint用のCI HUB コネクタのインストール

SharePointでは、SharePoint Store経由で様々なアプリをインストールし、社内で利用できるようにするオプションがあります。

SharePoint用のCI HUB コネクタもそこにあり「CI HUB」<sup>①</sup>を検索し、コネクタをインストールします。<sup>②</sup>

SharePoint AppStoreで  
Connectorを検索して  
インストールします。



CI HUB コネクタを追加してデータアクセスを許可すると、アプリの下にコネクタが表示されます。



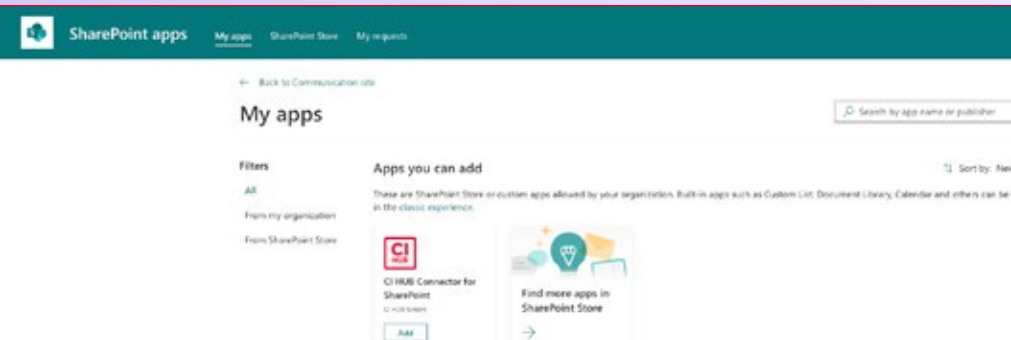
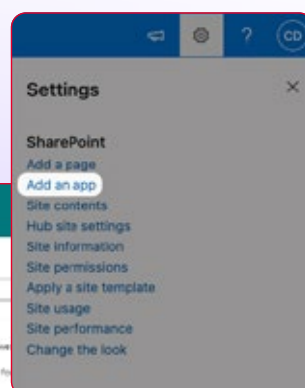
CI HUB コネクタを実行するには、  
データアクセスを確認する必要があります。

## Add CI HUB コネクタ to a SharePoint Webサイト

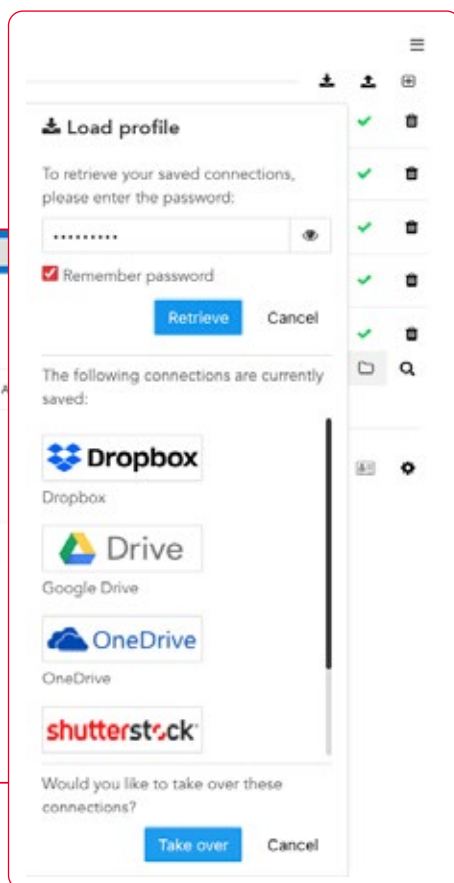
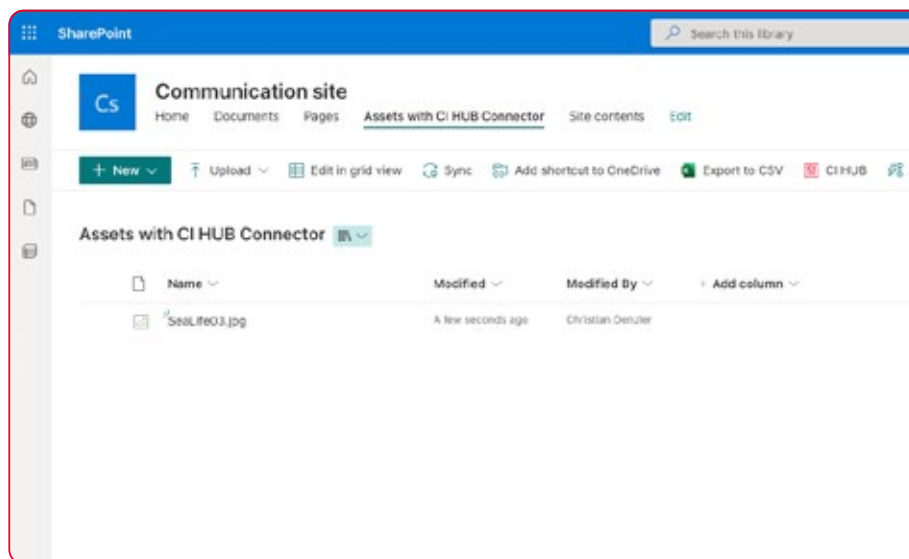
これでSharePointテナントにCI HUB コネクタがインストールされました。SharePointのWebサイトでコネクタを使用したい場合は、そのWebサイト用にコネクタを追加する必要があります。

これを行うには、ページ右上にある歯車をクリックし、「Add an app」を選択します。その後、CI HUB コネクタを選択し、サイトに追加することができます。

CI HUB コネクタをSharePointの  
Webサイトに追加します。



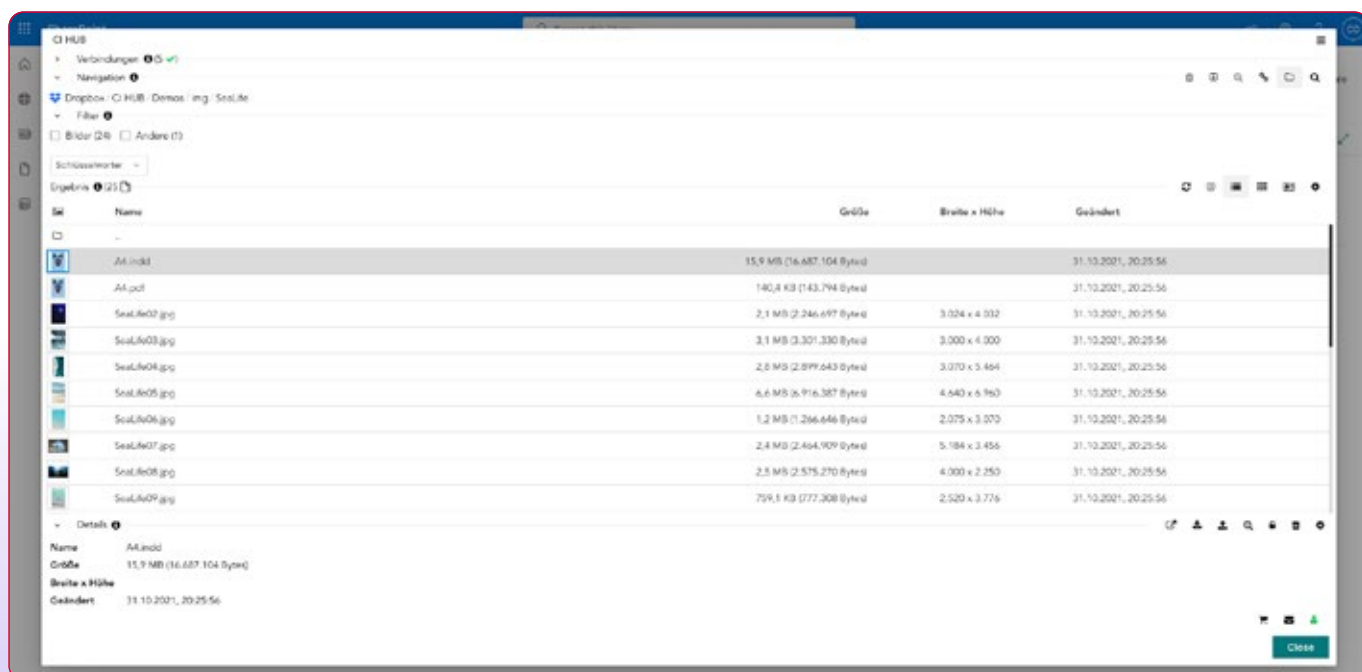
このプラグインは、SharePoint の1つのWebサイトまたは、すべてのサイトに対して有効化することができます。サイトのドキュメントライブラリに切り替えると、メニューに新しい項目が表示されます。それをクリックするとSharePoint用のCI HUB コネクタが起動します。



## CI HUB コネクタを使用する

CI HUB コネクタを起動し最初に行うことは、「Load profile」を介して優先接続を再度接続することです。パスワードで保護されたすべての接続が自動的にインポートされます。

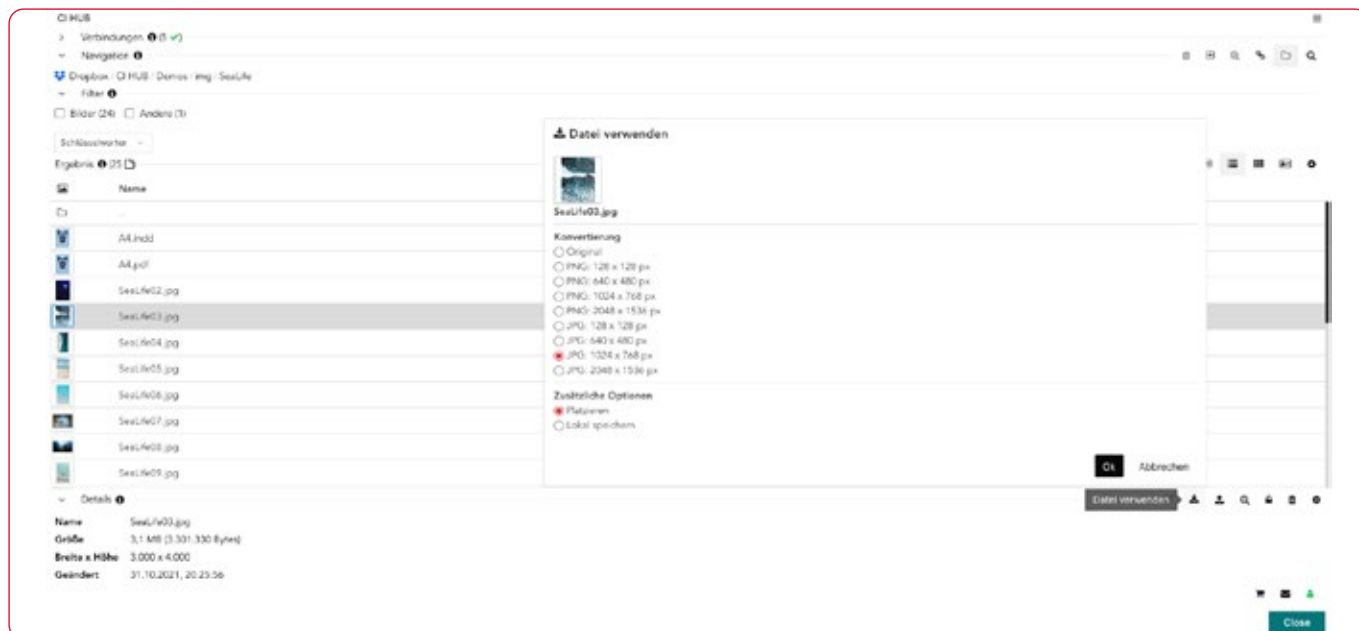
▲ 以前に保存したすべての接続を読み込みます。



## 知っておくべき重要なこと

WordPress、SharePointのCI HUB コネクタは、起動するたびに常に完全にリロードされます。これはシステムへの接続も再構築されることを意味します。


接続数により時間がかかるかもしれません。しかし、CI HUBは解決策に取り組んでいます。



## SharePointでCI HUB コネクタを使用する

接続の読み込みが完了するとCI HUB コネクタを使い始めることができます。このコネクタは、WordPress用と同様に見えますが、機能は多くありません。

## ドキュメントライブラリへのアセットの追加

現在、コネクタはドキュメントライブラリにアセットをロードできるように制限されています。これを行うには、システムから必要なアセットを選択し、「ファイルを使用」をクリックします。 



▲アセットがドキュメントライブラリに表示されます。

これで、ドキュメントライブラリでアセットを見つけることができます。

## SharePointのチェックパネル

朗報は、チェックパネルがSharePointでも利用できることです。その為、アセットのステータスをチェックしたり、SharePointでのみ利用可能なアセットをターゲットシステムにアップロードしたり、アセットの新しいバージョンが利用可能になったときに確認して再リンクしたりすることができます。

チェックパネルが参照するのは、現在置かれているドキュメントライブラリのパスのみであることを知っておくことが重要です。

SharePointのWebサイトに配置したすべてのアセットが表示されるわけではなく、ドキュメントライブラリの現在の場所にあるものだけが表示されます。

## チャプター 12

# CI HUB コネクタの ワークスイート比較



# 他のワークスイートとの関連で CI HUB コネクタを使用する

これまで、我々は主にAdobe InDesignの文脈でCI HUB コネクタを見てきました。InDesignは標準的なパブリッシングツールであり、ほとんどの機能がInDesignで非常にうまく表示できるため、これは原理的には理にかなっています。

しかし、CI HUB コネクタが非常に強力なのは、ほとんどすべてのワークスイートへのシームレスな統合であり、CI HUB コネクタのほとんどの機能はどのソフトウェアでも同じように動作しますが、ベンダーに依存する違いがいくつかあります。

次にMicrosoft Office 365とGoogle Workspace Marketplace、そしてFigmaのCI HUB コネクタを見てみましょう。

## Office製品にはチェックパネルがありません

パネルの基本構造は、すべてのプラットフォームで同じです。

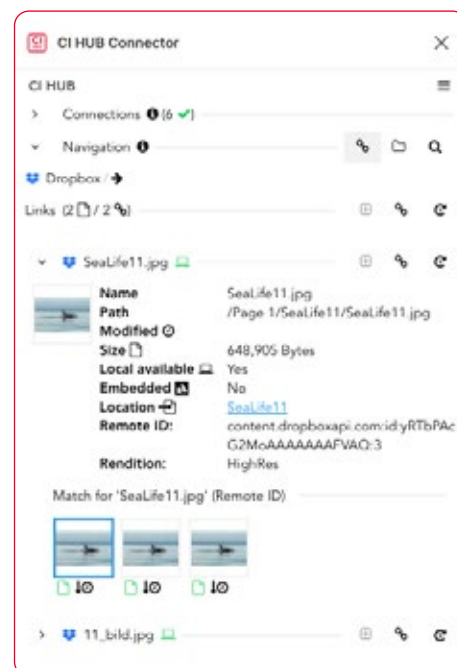
ただし、Microsoft Office 365とGoogle Workspace用のコネクタは、チェックパネルがありません。

これらの機能は、今のところAdobe InDesign、Sketch、Figmaでのみ利用可能です。

## CSVエクスポート

InDesignのデータ結合機能により、アセットのメタデータをCSVファイルに出力できることがわかります。MicrosoftやGoogleのOfficeプログラム、Figmaや他のAdobeアプリケーションには、データ結合機能がありません。

MS Wordにはメールマージ機能がありますが、Wordは本当の意味での制作ツールではないため、CSVエクスポートは意味を成しません。



▲  
FigmaのチェックパネルはInDesignと同じように機能します。

## CI HUB コネクタを介して開くことのできるファイル形式は？

以下のファイル形式は、CI HUB コネクタを使用して問題なく開くことができます。

**Word :** \*.docx, \*.dotx und \*.odt

**PowerPoint :** \*.pptx

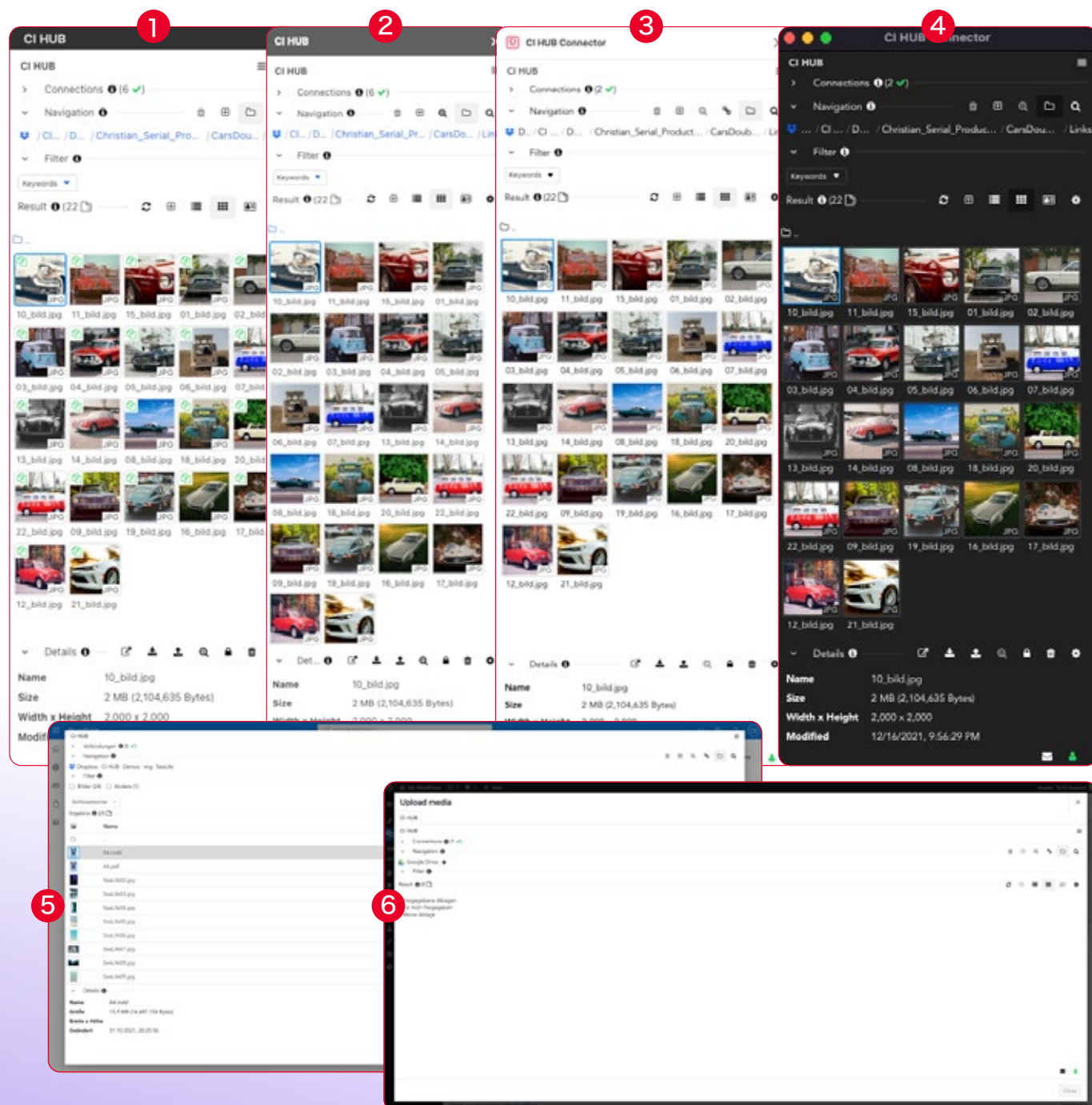
**Excel :** \*.xlsx, \*.xltx und \*.ods

# パネルの比較

異なるパネルを並べてみると、基本的によく似ていることが分かります。違いがあるとすれば、それはソフトウェアのプロバイダーやアセットの扱い方によるものです。

WordPressとSharePointのパネルは少し違って見えます。それは、これらのシステムの制限である全幅で常に表示されるからです。

- ① Microsoft Office
- ② Google Workplace
- ③ Figma
- ④ Sketch
- ⑤ SharePoint
- ⑥ WordPress



チャプター 13

# CI HUB コネクタ Pro Microsoft PowerPoint



Windows  
のみ

すべてのアセットがDAMで整理され、きちんと構造化されていることは、おそらくご存じでしょう。DAMにある様々なアセットを使ってプレゼンテーションを作成する際、ほとんどの場合、Microsoft PowerPointで作業することでしょう。では、これはワークフローにとって何を意味するのでしょうか？



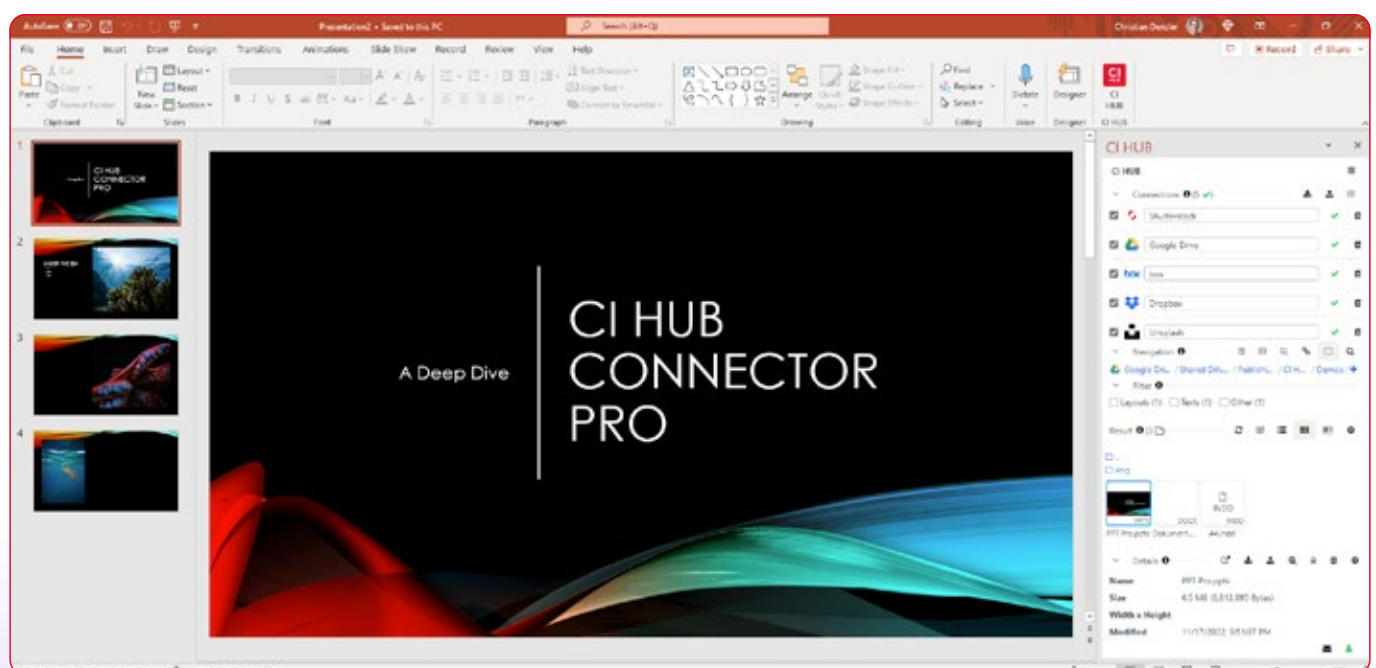
## 時間の浪費その1:アセットの収集

DAMを起動し、データを検索、並べ替え、ダウンロードし、ローカルまたは仕事用のサーバーでアセットを整理します。次に、PowerPointを起動し、必要なテンプレートを選択して、プレゼンテーションの作成を開始します。完成したら、それに応じてすべてをDAMに再入力する必要があります。

## CI HUB コネクタのパワーをPowerPointでフルに発揮

PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proは、Google Drive、Dropbox、Box、One Driveだけでなく、様々なDAMシステムなど、すべてのソースシステムを1つのパネルに統合するのに役立ちます。

すべてのソースシステムに一度に接続します。



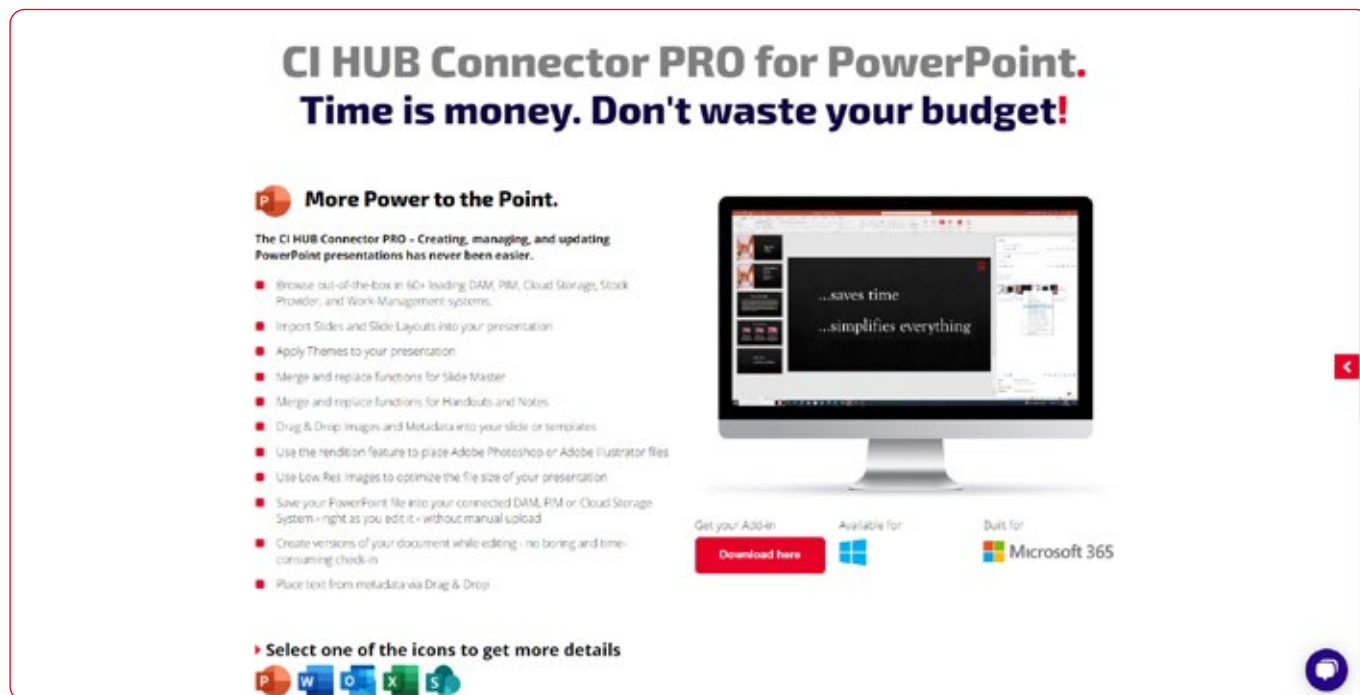
これにより、アセットを探し続けることなく、プレゼンテーションの作成に集中することができます。

PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proは、CI HUB コネクタのフルパワーをプレゼンテーションツールにもたらし、以前のコネクタを置き換えます。



CI HUB コネクタは、Microsoft Plugin Store経由でインストールします。CI HUB コネクタ Proは、この方法ではインストールできません。しかし、Webサイトから直接インストーラをダウンロードすることができます。

Webサイトからコネクタをダウンロードします。



ダウンロード後、setup.exeをダブルクリックし、指示に従ってください。インストールに成功すると、PowerPointにCI HUBのアイコンが表示されます。12ページの手順で、CI HUBをソースシステムに接続してください。

## お馴染みの機能をすべて搭載

PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proは、InDesign用のCI HUB コネクタ (42ページまで解説) で、すでにご存知の「類似検索」や「チェックパネル」などの機能をすべて備えています。

さらに、幅広いファイル形式をサポートしています。



コネクタをダウンロードしてインストールします。



## 対応ファイル形式

ドキュメント: pptx, pptm, ppt, potx, potm, pot, ppsx, ppsm, pps, odp

画像: emf, wmf, jpg, jpeg, jfif, jpe, png, bmp, dib, rle, gif, emz, wmz, tif, tiff, svg, ico, webp

オーディオ: adts, adt, aac, aif, aifc, aiff, au, snd, flac, mid, midi, rmi, mka, mp3, mp2, m3u, m4a, wav, wma, wax, amr, asf

ビデオ: asf, asx, wpl, wm, wmx, wmd, wmz, dvr-ms, avi, mk3d, mkv, mov, mp4, m4v, mp4v, 3gp, 3gpp, 3g2, 3gp2, mpeg, mpg, mpe, m1v, m2v, mod, mpv2, mp2v, mpa, m2ts, m2t, mts, ts, tts, wmv, wvx, aac, adt, adts, dat, ivf, m4a

テキスト: txt

## CI HUB コネクタ Proがインストールできない

管理されたコンピュータまたは、Microsoft Defenderなどセキュリティが強化されたデバイスで作業している場合、「setup.exe」をインストールできないことがあります。代わりに、次のようなメッセージが表示されます。



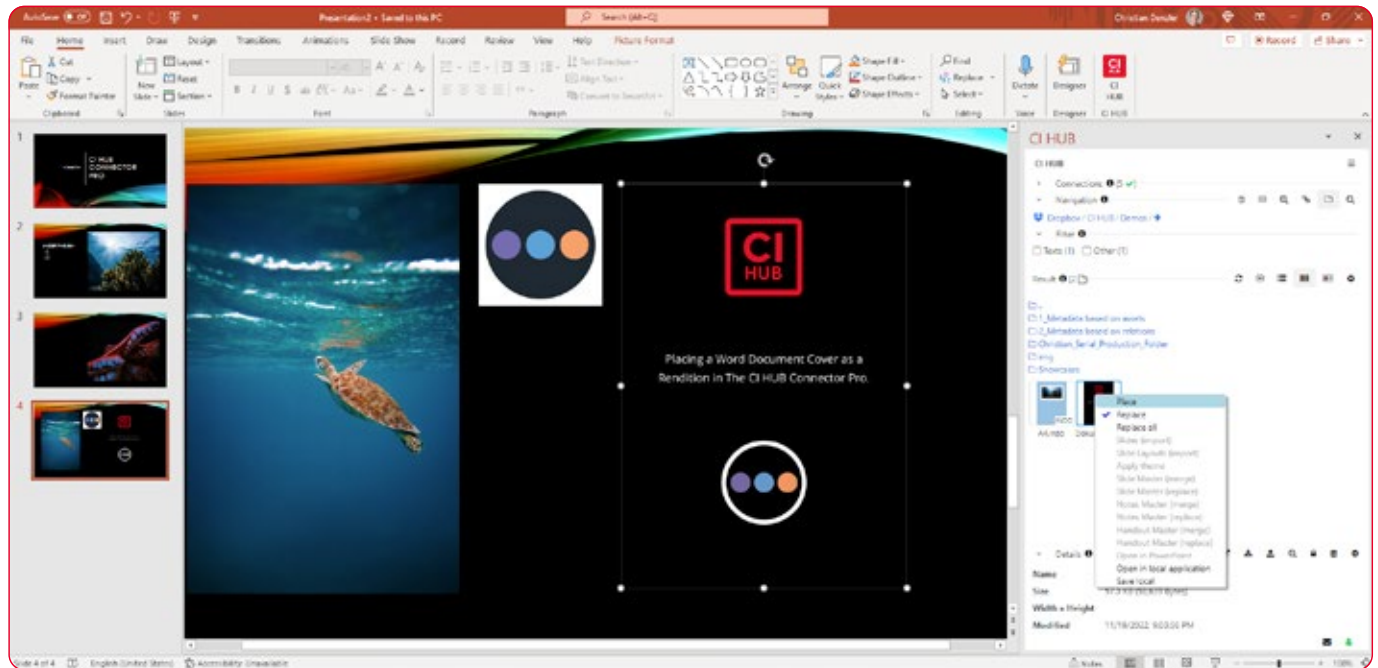
◀ セキュリティ設定が強すぎると、次のようなメッセージが表示されることがあります。  
「コンピュータはWindowsによって保護されています。」

CI HUB コネクタをインストールするには、「More information」**①**をクリックし、「Run anyway」を選択します。  
さて、PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proの概要を簡単に説明したところで、機能を詳しく見ていきましょう。

## アセットを配置し、様々なレンディションを選択する

CI HUB コネクタ Proは、高解像度の画像やベクターグラフィックスを低解像度のPNGやJPEGファイルとして配置することができます。これにより、ワークフローをスピードアップし、PowerPointのデータ量を削減します。

「配置」機能を使用して、PowerPointを埋めます。



## CI HUB コネクタのチェックパネル

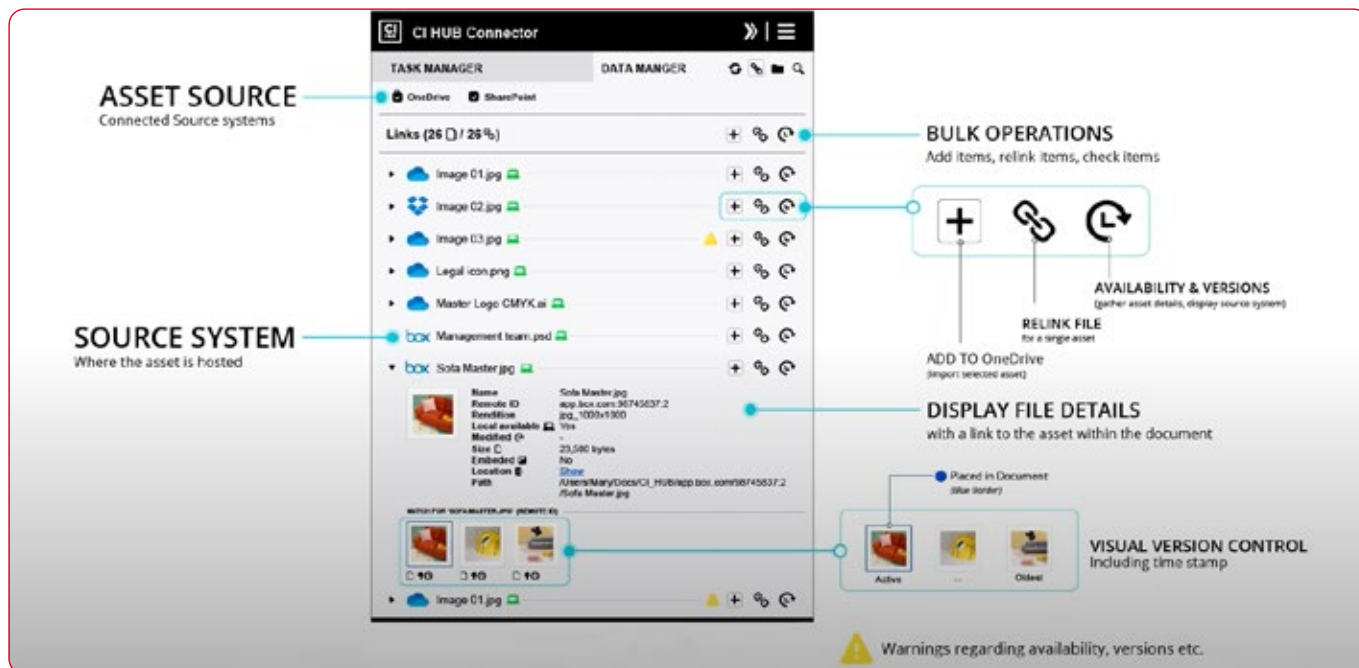
InDesign用のCI HUB コネクタで最も強力な機能のひとつに「チェックパネル」機能があります。この機能がPowerPointにも搭載されました。つまり、PowerPoint上ですべてのアセットとそのステータスの完全なサマリーが得られるようになったのです。これにより、すべてのアセットを完全にコントロールできるようになります。

この機能は、PowerPointでのアセット処理において非常に役立ちます。**各画像はソースシステムにリンクされたままです。**これは、以下の場合に通知されることを意味します。



- ソースシステム内のイメージが変更されました。
- ソースシステムにイメージが存在なくなりました。
- ソースシステムに同じイメージの複数のバージョンがあります。

PowerPointに既にある古い画像を配置した場合、その画像も表示され、以下のオプションがあります。

- ソースシステムで該当する画像の検索を開始し、最新バージョンに置き換えます。
- PowerPointからソースシステムに画像をアップロードし、パワーポイントプレゼンテーションに再度リンクする完全自動化プロセスをトリガーします。



## チェックパネルがどのように機能するかを簡単に試してみましょう。

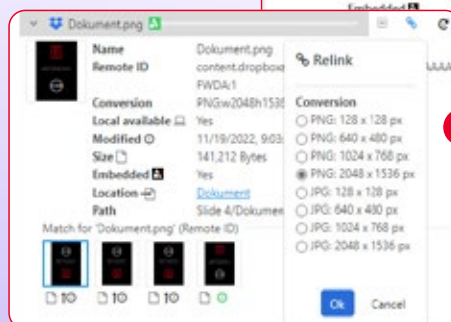
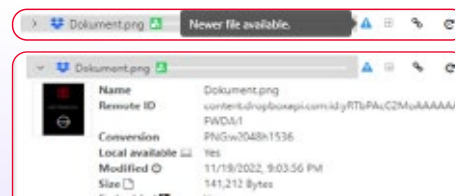
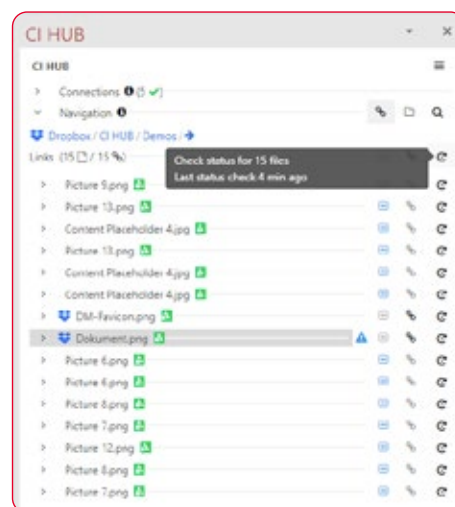
メニュー上部のリンクアイコン  をクリックして、チェックパネルを開きます。次に一括オプション  をクリックし、すべてのリンクされたアセットを更新します。PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proは、ソースシステム内のアセットの実在性、バージョンニングなどをチェックします。その後、アセットが保存されているシステムから更新された情報を取得します。これらのアセットの1つをクリックすると、詳細が表示されます。ここでは、名前だけでなく、例えばアセットがPowerPointのどこに配置されているかも見ることができます。ツールチップは、新しいバージョンがソースシステムで利用可能であることを示し、このバージョンのプレビューを見ることができます。①

サムネイルでは、アセットの古いバージョン (青) とソースシステムの新しいバージョン (緑) があることがわかります。再リンクするには、現在のアセットを選択し、リンクアイコンをクリックします。次にアセットを配置するために使用するレンディションを選択します。チェックパネル機能により、すべてのアセットがチェックされ、ドキュメント全体を通して最新のアセットに更新されます。このようにリンクを簡単にチェックし必要に応じて更新することができます。

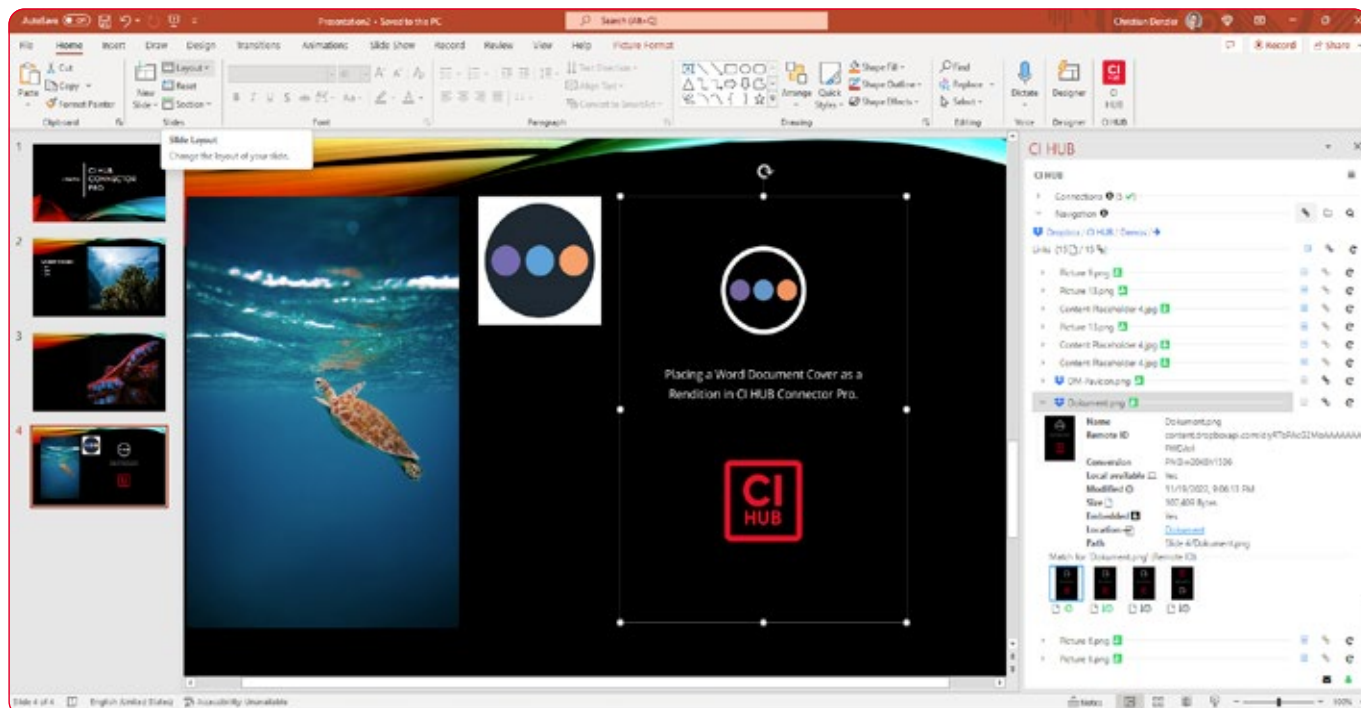
チェックパネルについては、第5章24ページ以降で詳しく説明しています。

## CI HUB コネクタ Proのスマートライキング機能の概要

CI HUB コネクタの経験豊富なユーザーは、このパネルをよく知っています。







## CI HUB コネクタ Proで デッキを操作する方法

新しいアセットがPowerPointにロードされ、対応する各インスタンスが更新されます。

CI HUB コネクタは、アセットを管理し、整理する為の完璧なツールです。PowerPoint用のCI HUB コネクタ Proは、この力をフルに発揮します。このパートでは、CI HUB コネクタとクラウドストレージを使用して、PowerPointのデッキ、スライド、マスターファイルのリポジトリを構築する方法を学びます。

PowerPointから直接ソースシステムにデッキを保存するには、「ファイルを追加」ボタンをクリックするだけです。

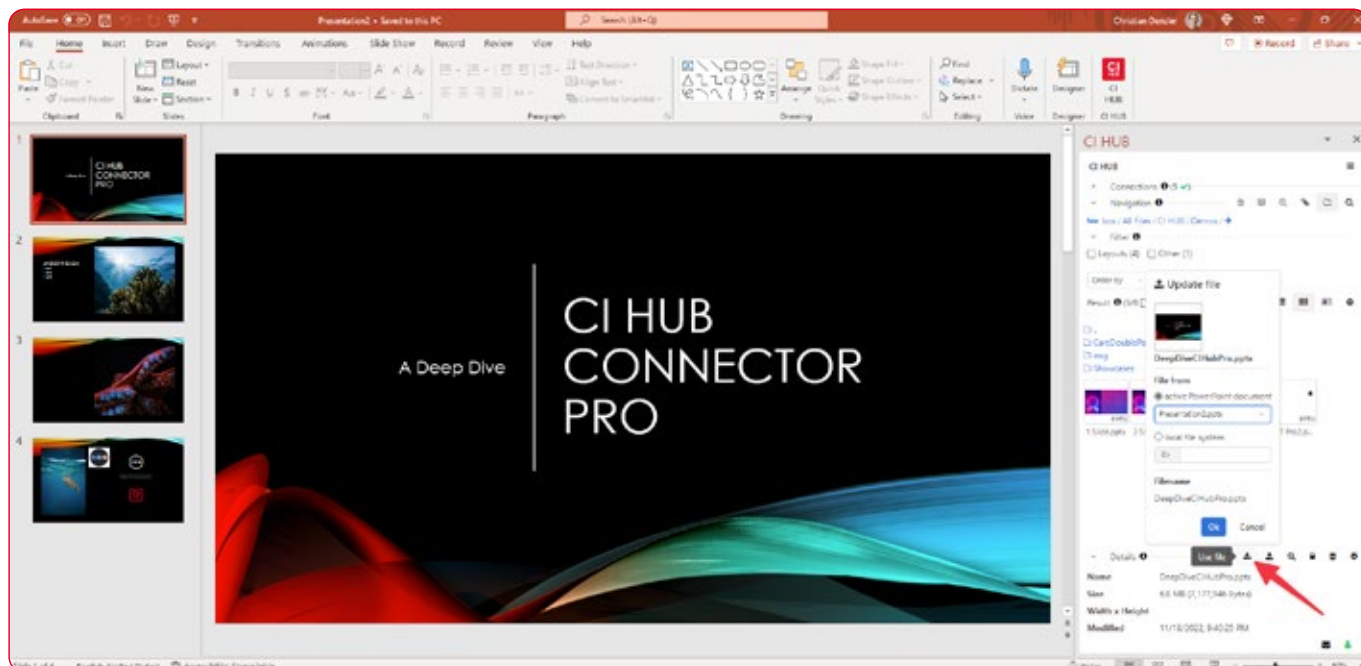


次のダイアログで、「ファイルの保存元」の下にあるオプション「アクティブなPowerPointドキュメント」を選択し、ドロップダウンウィンドウで現在開いているドキュメントの名前を選択します。必要であれば、新しい名前を付けることもできます。「ファイル名」フィールドを使用してください。

### 既存のドキュメントにスライドを追加する方法

既に作業中の既存のプレゼンテーションがあり、いくつかの追加スライドを挿入したい場合も、CI HUB コネクタ Proがあれば問題ありません。あとでPowerPointドキュメントとして使用するために個々のスライドを保存したフォルダに移動し、必要なファイルを選択して右クリックするだけです。

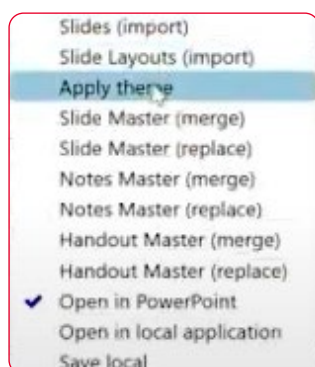
次に「スライド (インポート)」機能を選択し、スライドが現在のドキュメントに追加されるまで待ちます。



この方法で、好きなだけスライドを追加することができます。ドキュメントに複数のスライドがある場合、それらは全てCI HUB コネクタ Proによってドキュメントに追加されます。

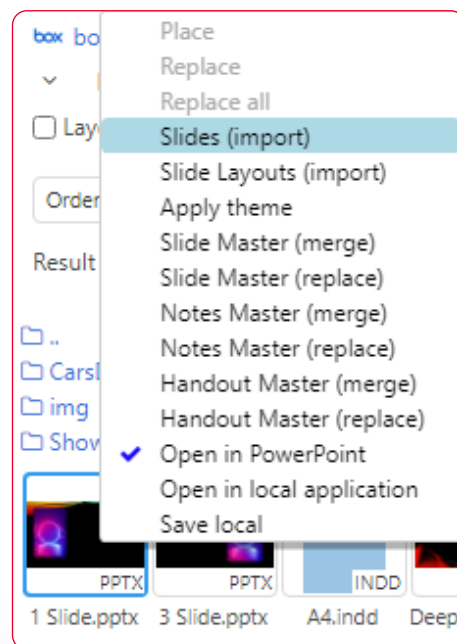
▲ CI HUB コネクタ Proを使用し PowerPointテンプレートをソースシステムに直接アップロードします。

## PowerPointにテーマを割り当てる方法



空のPowerPointドキュメントを開いて、すでに作成したドキュメントの外観にしたい場合も、非常に簡単に行うことができます。CI HUB コネクタ Proで対応するPowerPointを選択し、右クリックしてコンテキストメニューから「テーマの適用」を選択するだけです。

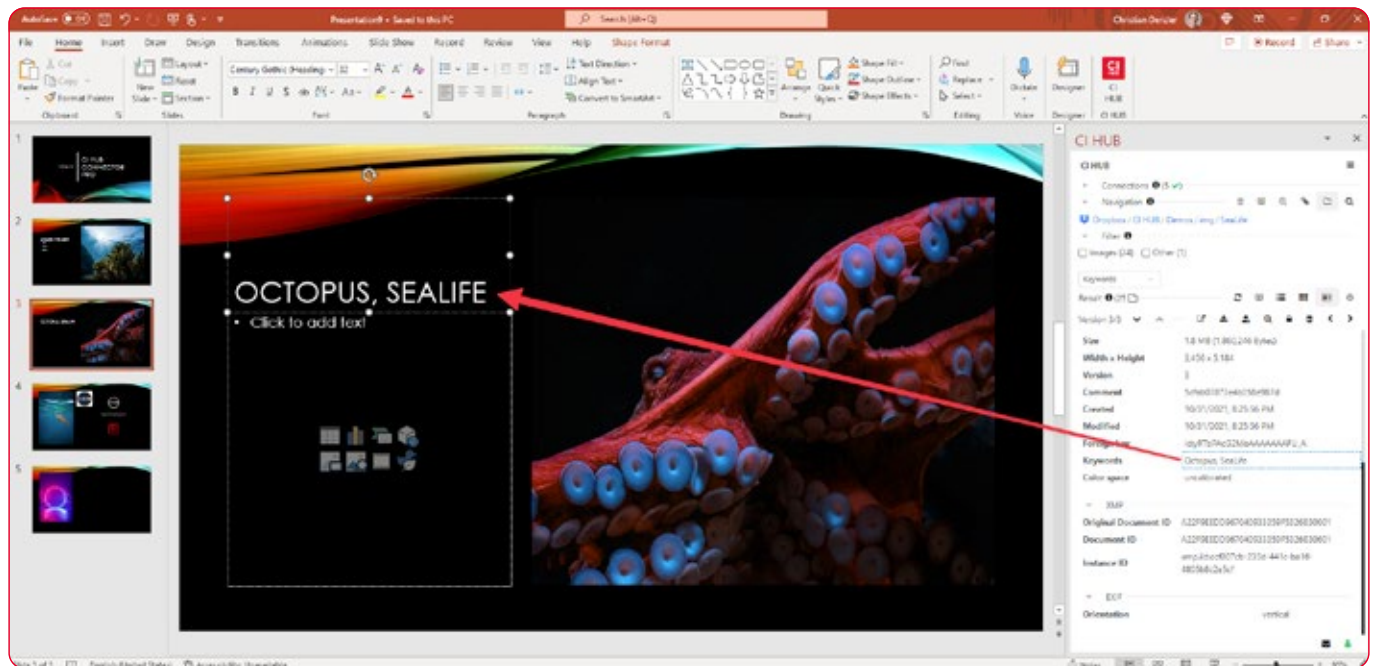
同じ方法で、空のマスタースライドを既存のマスタースライドに合わせることもできますし、2つのマスタースライドを結合することもできます。ここで重要なことは、両方のファイルに同じ要素がある場合、それらは結合されたドキュメントにも複製されるということです。



▲ 数回クリックするだけで、PowerPointに個々のスライドを追加できます。

# メタデータとCI HUB コネクタ Proの操作

CI HUB コネクタ Pro ではメタデータの操作が簡単です。  
XMP、IPTC、EXIFなどの幅広いメタデータ形式を使用できます。

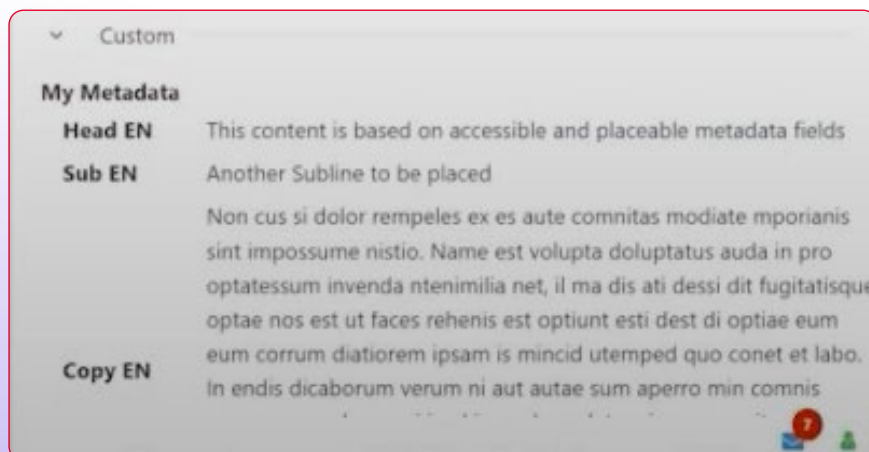


これは、著作権テキストや製品情報を対応する画像に直接「添付」するのに便利で、必要な情報を対応するテキストフレームまたはスライドに直接ドラッグ&ドロップするだけです。

CI HUB コネクタ Proは、カスタムおよび多言語のメタデータフィールドもサポートしています。

メタデータの管理方法と作業方法については、32ページ以降で説明しています。

▲ DAMシステムからメタデータにアクセスします。



◀ CI HUB コネクタ Proは、カスタムメタデータもサポートしています。



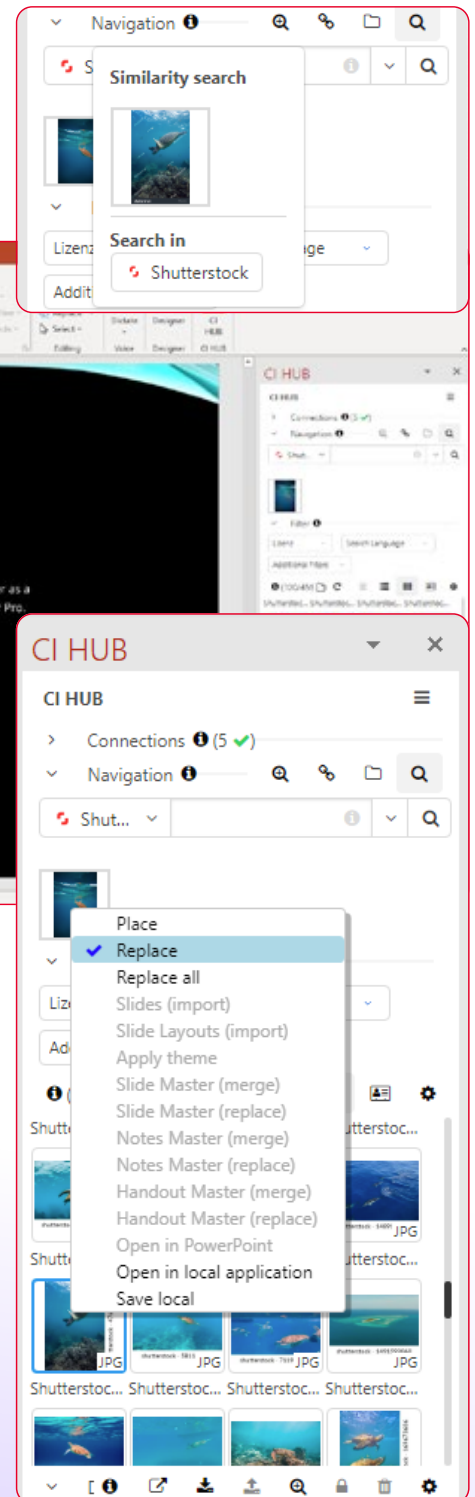
## ストックプロバイダとの連携と類似検索

CI HUB コネクタ Proは、様々なストックイメージプロバイダに簡単に接続することもできます。

例えば、Unsplash、Shutterstock、Adobe Stock、iStockなどです。これにより、膨大な画像ライブラリにアクセスすることができます。

「類似検索」は、PowerPointで既に追加された画像を選択する際に、ストックプロバイダから類似の主題を検索することができます。このようにして、CI HUB コネクタ Proは、あなたが交換することができる代替画像を提供します。プロバイダがこの機能をサポートしていることが前提です。

様々なストックプロバイダーから類似画像を探することができます。





## チャプター 14

# CI HUB ドライブ

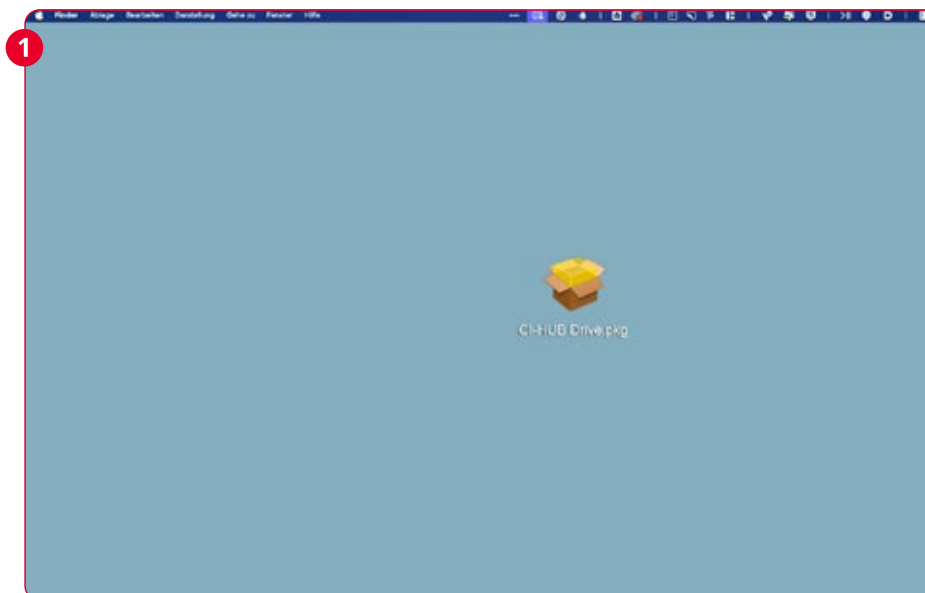
v1.26

CI HUB コネクタは、使用するシステム内のすべてのアセットに直接かつ迅速にアクセスできます。これは多くの時間を節約します。

数回クリックするだけで、あなたのシステムからアセットの追加や削除するのは簡単です。

しかし、Google DriveやDropboxのような様々なクラウドサービスと同様に、Finder (Mac) やExplorer (Windows) で直接アセットを管理できれば、さらに簡単です。そこでCI HUB ドライブの出番です。

## CI HUB ドライブのインストール方法



WebサイトからmacOS用のインストーラーを入手し、ダブルクリックしてCI HUB ドライブのインストールを開始してください。 ①

Mac上でインストールプロセスが開始されます。インストールソフトウェアがインストールプロセスを案内します。 ②

管理者でない場合は、権限を与える必要があります。 ③

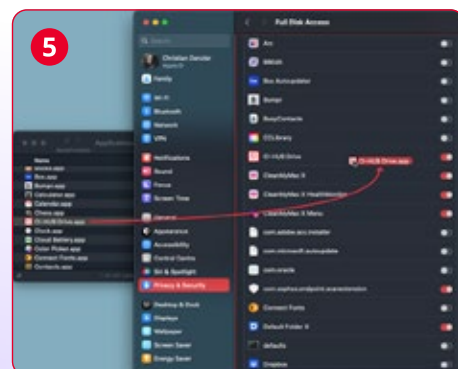
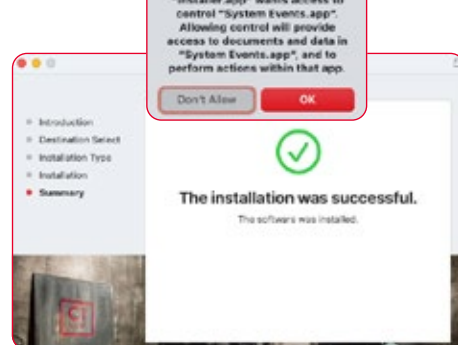
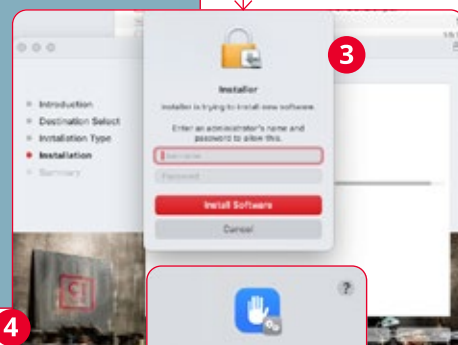
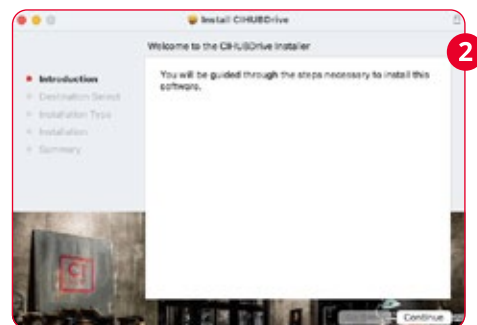
macOSのバージョンにより、アクセス権に関するセキュリティ警告が表示される場合があります。 ④

これを確認してインストールを完了します。

## フルディスクアクセス ⑤

CI HUB ドライブの適切な機能を保証する為に、ハードディスクへのフルアクセスを許可することをお勧めします。

これは、アプリケーションフォルダから「フルディスク アクセス」にアプリケーションをドラッグすることで実現できます。また、管理者としてログインする必要があります。フルディスク アクセスは、システム環境設定の「プライバシーとセキュリティ」で確認できます。



## CI HUB ドライブの使用方法

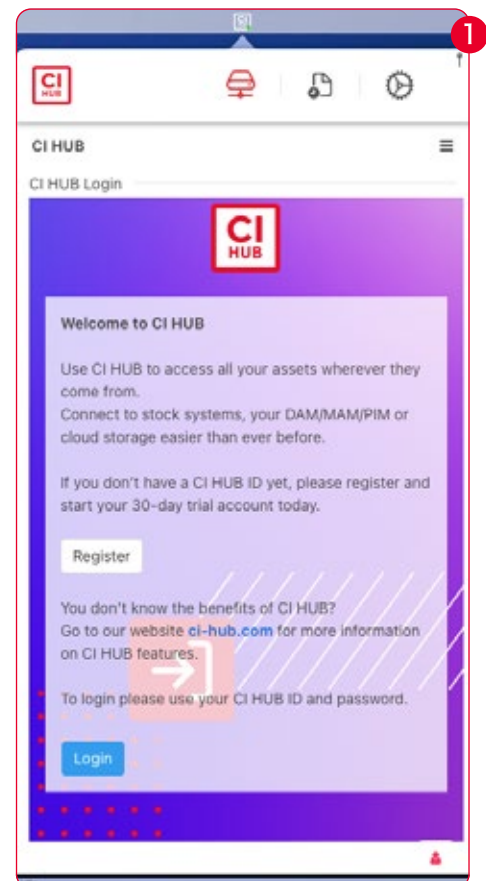
CI HUB ドライブは最先端のクラウドサービスのように機能します。  
インストールするとアプリケーションの中にドライブが表示されます。



ドライブをクリックして開くことができます。

メニューバーに表示されます。①

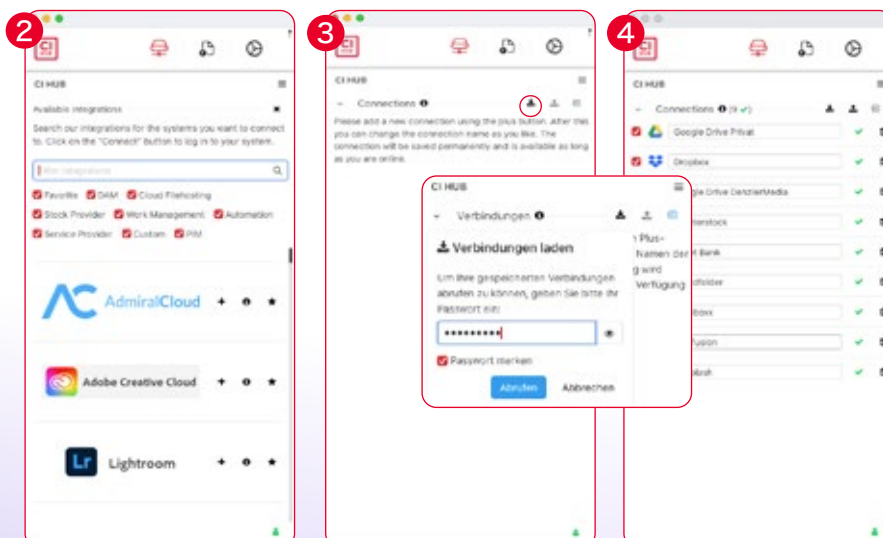
まず、CI HUB IDでサインインするか、新規ユーザーの場合は登録してください。



ログインすると、使い慣れたCI HUB コネクタ環境が表示されます。


新しいサービスを追加 ② や既にパスワードで保護されているサービスを読み込むことができます。③


接続されているサービスの概要が表示されます。④



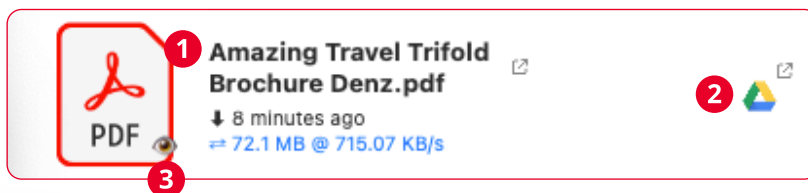
## 各種タブの説明


CI HUB ドライブアプリには、「CI HUB」、「アクティビティ」、「設定」という4つのタブがあります。

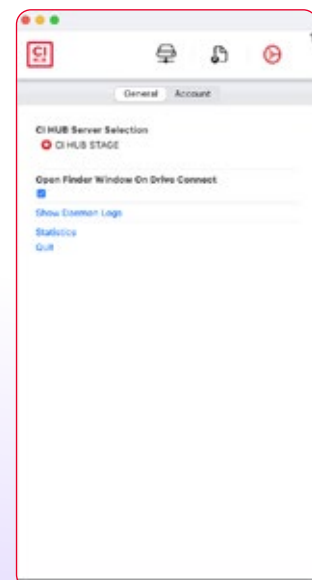
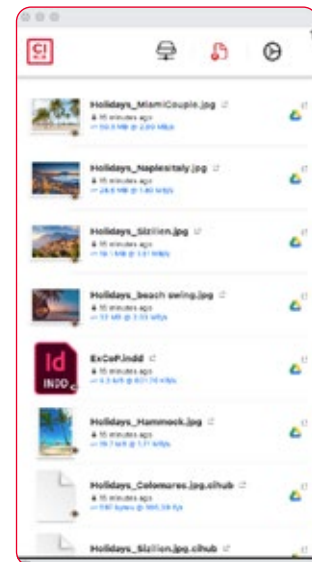
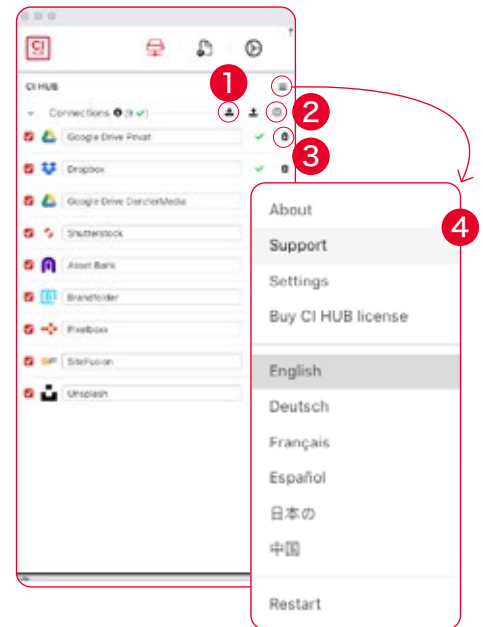
 **ドライブ:**ドライブタブには、すでに作成した接続が表示されます。プロフィールを読み込む **①**、新規接続を追加 **②**、既存の接続の削除 **③** にアクセスできます。  
また、ハンバーガーメニューで「サポート」、「設定」、「言語」などの追加オプション **④** を選択することもできます。  
必要であれば、ここでコネクタを再起動することもできます。この再起動は、CI HUB コネクタのみをリセットし、CI HUB ドライブはリセットしません。

 **アクティビティ:**アクティビティセクションは、リンクされたシステムで起こっているすべてのことを追跡します。アクティビティは、コピー、移動、変更などを監視します。これにより、システムで何が起きているか、どのアセットが使用されたかを確認することができます。アクティビティタブには、さらに多くの機能があります。  
コンピュータにセットアップした画像編集ソフトウェアでサムネイルをクリックすると、ファイルを開くことができます。

アセットの名前 **①** をクリックすると、対応するフォルダでFinderが開き、問題のアセットがハイライトされます。  
アセットの後ろにシステムのアイコンが表示されます。 **②**  
これをクリックすると、メインのDAMシステムなどのWebブラウザウィンドウでファイルが開きます。目のアイコン **③** をクリックすると、システムのデフォルトアプリでアセットが開きます。



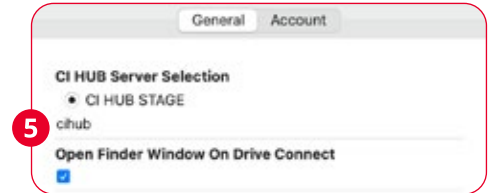
 **設定:**一般設定では、接続された統合をFinderでも読み込むかどうかを指定できます。2番目のタブについては後述します。





## 開発モードでのトラブルシューティング

CI HUB ドライブで問題が発生した場合は、設定セクションですべてのファイルプロバイダ拡張子をオフ/オンにすることができます **1**。デモンの強制再起動 **2** またはデモンログファイルの表示も可能です **3**。「終了」をクリックしCI HUB ドライブを閉じるか、「統計」をクリックし「アクティビティバーチャート」を開くことができます **4**。これらの機能を有効にするには、CI HUB Server Selectionの下にある不可視のテキストフィールドを使用します。開発者モードに切り替えるには、フィールドに「cihub」と入力してください。 **5** モードを終了するには、もう一度「cihub」と入力します。



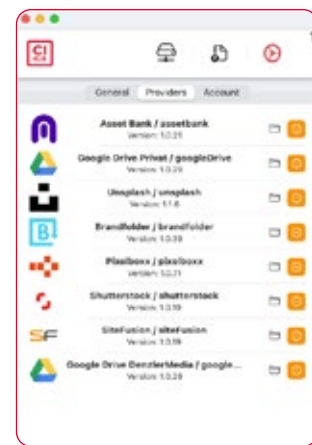
**!** ドライブウィンドウをメニューから切り離し、ピンで再度固定します。切り離れたウィンドウを閉じて、メニューアイコンで再び取り出せば、同じタブで再び開きます。

### 注意:

接続に問題がある場合は、ファイアウォールの設定を確認し、必要に応じてポートを調整してください。

## 統合 (開発モードのみ)

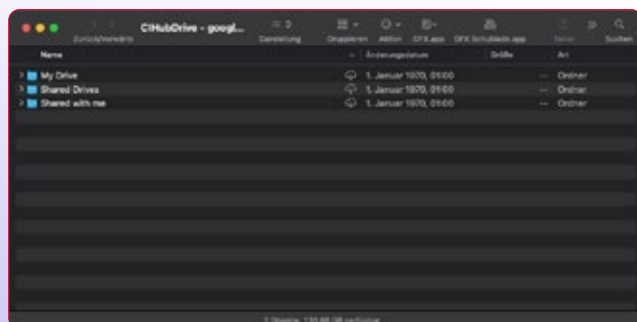
「統合」タブでは、接続されている全てのサービスの包括的なリストを見つけることができます。ここでは、接続しているすべての統合を見ることができます。各プロバイダの後ろに3つのアイコンがあります。これらのアイコンからいくつかのオプションを選択できます。



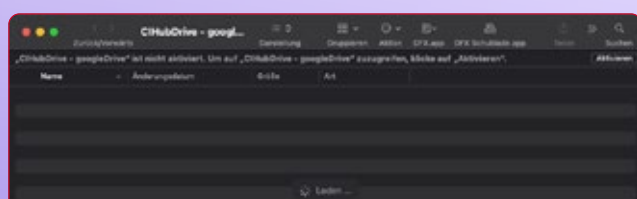
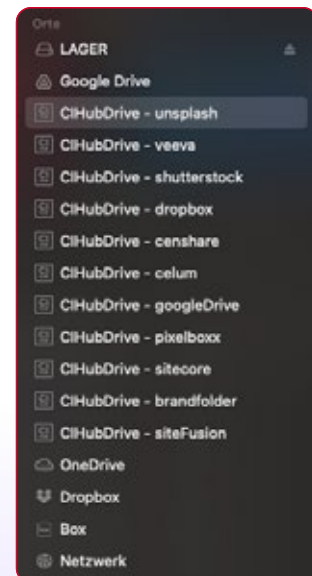
- プロバイダ構造をFinderで開く
- プロバイダの削除

## Finderで統合構造を開く

フォルダをクリックすると、Finderウィンドウが開き、各サービスプロバイダのフォルダ構造が表示されます。パソコンと同じように作業できます。



Finderを初めて開く際に、プロバイダを有効にするよう求められます。アクセスを許可するのは1回だけです。



これで、Finderの「場所」からすべてのサービスに直接アクセスできるようになりました。

## アカウント ①

「アカウント」タブでは、すべてのサブスクリプション情報が表示され、最新のドライブのバージョンも確認できます。

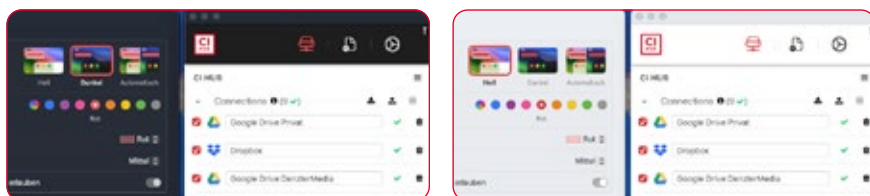
## アクティビティバー ②

CI HUB ドライブウィンドウの下にあるバーには、ステータスが表示されます。これは、サービス上で何かが起こっている時、常に見ることができることを意味します。

例：クラウドから画像を読み込むと、このように表示されます。バーをダブルクリックすることで、ウィンドウの大きさを調整することができます。もう一回ダブルクリックすると再び拡大表示され、3回目のダブルクリックでバーを最小化できます。

## ライトまたはダークモード

システム設定は、自動的にCI HUB ドライブの外観を調整します。ダークモードで作業している場合、ドライブも暗く読み込まれます。ライトモードでも同様です。

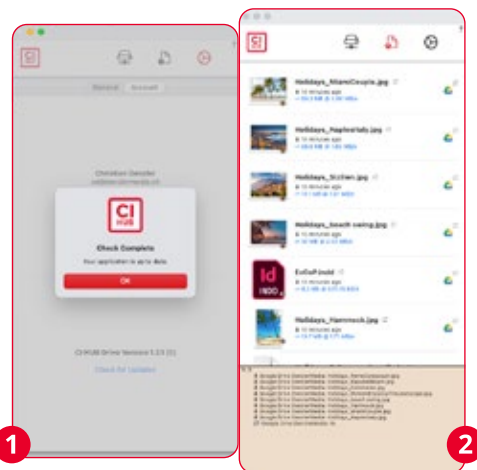


## プロのヒント

CI HUB ドライブを使えば、同じDAMやクラウドシステムの複数のインスタンスを読み込むことができます。例えば、複数のGoogleドライブに同時にアクセスすることができます。③

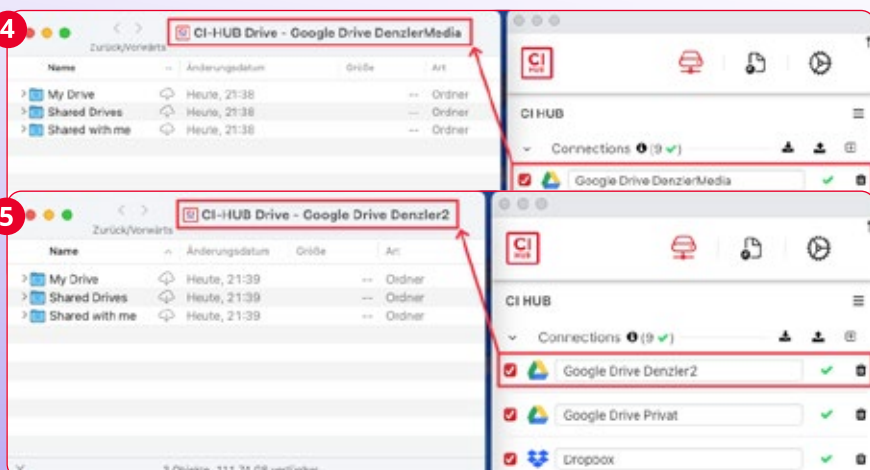
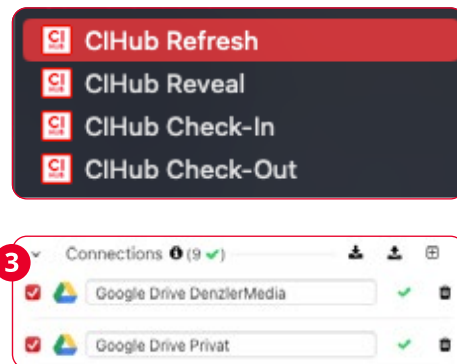
左側のチェックマークを選択して接続を解除し、その後、再度有効にするとFinderまたはエクスプローラーが同時にマウントされます。④

CI HUB ドライブタブで、接続名を変更できます。Google Driveの場合は、次に接続したときFinderまたはエクスプローラーに新しい名前が表示されます。⑤



## エキサイティング

Finderまたはエクスプローラーでアセットを右クリックすると、さらに多くのオプションが表示されます。





info@ci-hub.com  
24.10